

愛蘭代表ハ左ノ如キ宣言ヲ爲シ英國加奈陀代表共ニ右ト同様ノ宣言ヲナスヘキ旨陳述セリ

The Delegation of the Irish Free State wish formally to place on record the following declaration of their interpretation of Articles 2, 7 (2), Protocol Ad 8, 10 (3 and 4), 16 (7), 17 of the Convention :

“ Nothing in the said Articles shall prevent the grant of privileges by the Irish Free State, a Member of the British Commonwealth of Nations, to British subjects, protected persons or companies belonging to any other member of the British Commonwealth of Nations, whether the Convention has or has not been ratified or acceded to on behalf of such other Member, without thereby creating any obligation to extend these privileges to nationals of any other High Contracting Party ”.

支那代表ハ同國ハ目下二國間條約商議中ニシテ本條約作成ニ至ルト雖モ之ニ署名セサルヘキ訓令ヲ受ケタル旨ヲ述ヘ

羅馬尼代表ハ原案第十一條ニ關スル同國ノ態度ヲ更ニ聲明セリ斯テ各代表ハ十二月五日前記會期終了議定書ニ署名シ以テ外國人待遇ニ關スル國際會議第一回會期ヲ終了セリ

五 関税引上げ休止會議

1 「関税引上休止ニ関スル國際會議議事經過報告書」

昭和五年六月

關稅引上休止ニ關スル國際會議議事經過報告書

(昭和五年二月十七日ヨリ二月二十四日ニ至ル)



通商局第一課

關稅引上休止ニ關スル國際會議議事經過報告書

目次

緒論、本會議開催ニ至ル迄ノ經過	一
第一章 總會ニ於ケル討議ノ總括的報告	四
第二章 委員會討議ノ經過並通商協約案	九
經濟協調ニ關スル將來ノ交渉ノ「プログラム」關係議定書案及最終議定書案ノ作成	九
第一節 第一委員會議事經過並通商協約案及最終議定書案ノ作成	九
第一款 休戰原案審議	九
第二款 佛國ノ條約基礎案ニ對スル代案ノ提出	一〇
第三款 通商協約案及最終議定書案ノ成立	一九
第四款 經濟委員會作成ニ係ル關稅引上休止條約案審議要領	三二
第一項 第一分科會議事經過	三二
第二項 第二分科會議事經過	三六
第三項 第三分科會議事經過	四一
第二節 第二委員會議事經過及經濟協調ニ關スル將來ノ交渉ノ「プログラム」關係議定書案ノ作成	四六
第一款 第二委員會本會議ニ於ケル一般討議	四七

第二款 第二委員會分科會議事經過	五〇
第一項 第一分科會議事經過	五一
第二項 第二分科會議事經過	五五
第三項 第三分科會議事經過	五八
第三款 經濟協調ノ爲ノ將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル議定書案ノ作成	六四
第一項 概 說	六四
第二項 議定書案ノ作成ニ至ル經過	六五
第三項 總會ニ於ケル議定書案審查	九一
第四款 議定書ノ署名	九二

關稅引上休止ニ關スル國際會議議事經過

緒論、本會議開催ニ至ル迄ノ經過

一九二九年九月ノ第十回聯盟總會ハ聯盟經濟機關ノ事業ニ關シ數個ノ決議ヲ採擇セルカ其ノ第一項ノ要旨左ノ如シ
總會ハ一九二七年國際經濟會議ノ勸告ヲ實現スル爲ニ一切ノ手段ヲ盡スノ肝要ナルヲ認メ

將來各國政府カ經濟諮問委員會及經濟委員會ノ成就シタル諸事業ヲ參考ニ供シツツ目下懸案タル諸問題ヲ研究スルニ非
サレハ有効ナル活動ヲ招來シ得スト思考ス

依ツテ總會ハ聯盟國及非聯盟國ニシテ準備アル諸國カ其ノ相互間ニ次ノ條件ニ於テ協同ノ措置ノ執ランコトヲ勸告ス
(一) 此ノ共同措置カ確實ナル基礎ト信賴ノ精神ノ裡ニ履行セラレンカ爲參加國カ其ノ保護關稅ヲ二年乃至三年間現在
率以上ニ増加セス新保護關稅ヲ賦課セス貿易ニ新ナル障害ヲ創設セサル旨ヲ協定センコトヲ勸告ス但シ右ハ諸國政府
カ國際經濟會議ノ勸告ニ從ヒ自發的又ハ双方の行爲ニ依リ最大限度迄其ノ關稅率ヲ經減セムト努力スル場合其ノ計畫
ヲ妨クルモノタル可ラス

(二) 聯盟國及非聯盟國ハ一九二九年十二月三十一日迄ニ聯盟事務總長ニ對シ政府代表ノ準備會議ニ參加シ前項所載ノ
協定ヲ締結シ且必要アラハ一切ノ實際的方法特ニ貿易ニ對スル障害ヲ遞減スル方法ニ依リ經濟的關係ヲ容易ナラシム
ヘキ一般協定締結ノ爲ヲ將來ノ交渉ノ「プログラム」ヲ決定スル用意アリヤ否ヤヲ通報スヘシ
又理事會カ經濟委員會ヲシテ其ノ次期會合ニ於テ會議ニ於ケル討議ノ基礎タル可キ準備草案ヲ起草セシメンコトヲ勸
告ス

理事會ハ前記ノ招請ニ對スル各國政府ノ回答ヲ基礎トシ贊成國ノ數及性質ヲ考慮シ前記外交會議ヲ開催ス可キヤ否ヤ

ヲ決定スヘシ

事務總長ハ此ノ準備會議ヲ一九三〇年一月末頃ニ開催スル爲必要ナル手段ヲ講センコトヲ望ム

(三) 關稅休戰締結後其ノ締結國同ニ於テ上掲(二)ノ第一項所載ノ將來ノ交渉開始セラレンコトヲ勸告ス而シテ締約國ハ其ノ協議ニ依リ右交渉參加ヲ希望スル何國ヲモ招請シ得可シ

(四) 最後ニ外交會議ヲ開催シ上記ノ交渉ノ結果ヲ了承シ必要事項ヲ補足ス可ク此ノ會議ニハ總テノ國ノ政府ヲ招請ス客年九月二十九日聯盟理事會ハ前記關稅休戰問題ニ關スル總會決議ノ實行方ヲ事務總長及經濟委員會ニ委囑シ經濟委員會ニ於テ本件國際會議ニ於ケル討議ノ基礎草案作成次第事務總長ヨリ之ヲ各國政府ニ送付ス可キ旨ヲ決議セリ聯盟事務總長ハ不敢取客年九月三十日附書翰ヲ以テ各國政府ニ前記總會決議ヲ通知シ十二月三十一日迄ニ回答提出ニ關シ注意ヲ喚起スル處アリキ

他方經濟委員會ハ客年十月二十四日ヨリ十一月一日迄開催ノ第三十回會議ニ於テ關稅引上休止基礎草案ヲ作成セルヲ以テ事務總長ハ前記理事會決議ニ基キ十一月七日附書翰ヲ以テ右草案ヲ各國政府ニ送付スルト共ニ會議參加ノ有無、若シ參加スルニ於テハ其ノ代表者氏名通知方催促シ來レリ

前記總會決議ニ依リ聯盟理事會ハ右各國政府ノ回答ヲ基礎トシ會議開催ノ可否ヲ決ス可キ處理理事會ハ本年一月十三日ヨリ開催セラレタルカ同日迄ニ回答ヲ寄セタル國ハ三十三ヶ國ニシテ(總會決議ニ依リ客年十二月三十一日迄ニ回答ス可キ處右期日ニ間ニ合ハス本年ニ入りテ回答セル國アリシヲ以テ茲ニハ理事會開催前ニ回答シタル國ヲ一括スルコト、セリ)其ノ中英、佛、獨、伊、白、澳、勃牙利、玖馬(後ニ「オブザーヴァー」派遣ニ變更)、丁抹、西班牙、「エストニア」、芬蘭、希臘、洪牙利、愛蘭、「ラトヴィア」、「ルクセンブルグ」、諾威、和蘭、波蘭、葡萄牙、羅馬尼、瑞典、智惠古、及「ユーゴスラヴィア」ノ二十六ヶ國ハ會議參加ノ旨伯刺西爾及「サンドミンゴ」兩國ハ「オブザーヴァー」ヲ派遣スヘキ旨並南阿聯邦、薩太利、埃及、印度及新西蘭ノ五國ハ會議ニ參加ノ旨ヲ通知セリ

右ニ依レハ殆ト凡テノ歐洲諸國ハ會議參加ヲ受諾シ居リ理事會ハ右ノ事態ニ鑑ミ本年一月十四日ノ會議ニ於テ經濟問題報告者獨逸理事ノ提案ニ依リ愈總會決議ニ基キ第一次國際會議開催ニ決定シ招集期日ヲ二月十七日トスルト共ニ會議々長トシテ丁抹前外務大臣「カール、モルトケ」伯(客年第十回聯盟總會第二委員會議長タリシ人)ヲ任命セリ

右理事會決定後日本、土耳其、祕魯、「コロンビア」及「リヌアニア」ノ諸國ハ會議正式參加ヲ申込ミ米國、支那、「メキシコ」波斯及玖馬(曩ニ正式參加ヲ通告セルモ後ニ至リテ「オブザーヴァー」ニ變更セリ)ノ諸國ハ「オブザーヴァー」列席方通告シ來レリ

斯クテ本件會議ハ本年二月十七日午前十一時壽府聯盟事務局ニ於テ三十ノ正式參加國代表者及七ヶ國ノ「オブザーヴァー」列席シ(C. P. A. E. C. 2 (1))「カール、モルトケ」伯議長ノ下ニ開會セラレタリ

本會議ニ對シテハ聯盟理事會ヨリ各國責任當局者ノ出席ヲ希望シタル關係モアリ且歐洲各國ハ本件會議ヲ重要視シタル事情モアリ旁關係當局大臣ヲ第一全權トスルモノ少ナカラス即チ英、佛、獨、伊、白、澳、丁抹、「エストニア」、「ラトヴィア」、波蘭、羅馬尼、瑞典、瑞西、「チエッコ、スロヴァキア」及「ユーゴスラヴィア」ノ十五ヶ國ハ何レモ現任大藏大臣又ハ商務大臣(白國ハ外務大臣)等ヲ出席セシメタルノミナラス其ノ他ノ諸國モ前大藏大臣又ハ商務大臣タリシ人物ヲ派遣スルモノ多ク往々此ノ種經濟問題關係會議カ所謂技術官會議ノ感ヲ與フルモノアルトハ大ニ體裁ヲ異ニセリ(前記諸國ノ關係當局大臣モ會議ノ全般ニ亘ル滯壽ヲ不可能トシ中途歸國セルモノ多數ナリキ)

本邦トシテハ吉田駐土大使、伊藤大使館參事官ヲ代表トシ日高秋山兩書記官及門脇官補ヲ隨員トシ之ニ列席セシメタリ

第一章 總會ニ於ケル討議ノ總括的報告

本會議ハ二月十七日ヨリ二月二十日ニ至ル迄之ヲ一般討議ニ宛テ前後八回各國代表ノ意見ノ開陳アリタルカ十七日ノ開會ニ際シ議長ハ本件會議成立ニ至ル迄ノ經過並各國經濟關係特ニ歐洲諸國間ニ於ケル經濟關係ノ改善及安定ノ緊急ナルコトヲ説明シ歐洲外諸國ノ本件會議ニ參加セルヲ謝シ本件會議ハ右改善及安定ニ至ル第一歩トシテ不敢取關稅引上休止並將來各國經濟協調ノ爲ノ「プログラム」ヲ作成セムトスル豫備會議ニシテ將來ノ關稅引下ケ其ノ他國際協調達成ノ道程ヲシメントスルニアリト述ヘ現在ノ經濟關係安定ノ爲ニ特ニ concerted action ノ必要ナルコトヲ力説シタリ

同日午後ヨリ各國代表ノ意見發表及討議ニ移リタルカ何レモ現在ノ經濟關係特ニ歐洲諸國間ニ於ケル經濟關係ノ不健全ナルヲ説キ過剰生産、市場ノ欠乏、失業、生活標準ノ低下、購買力ノ減少、産業ノ不振等ハ各國ヲシテ關稅引上其ノ他各種ノ保護ニ基ク貿易ノ障害ヲ設定セシメ益々貿易ヲシテ不安定ナラシムルノ傾向アルヲ以テ此ノ際本件會議ノ如キ方法ニ依リ各國ノ協調ヲ以テ之カ安定改善ヲ期スルコト最モ大切ナリトテ各國ハ出來得ル限り本件會議ノ目的達成ノ爲ニ努力ヲ各マナル可キコトヲ力説シタルカ本件會議當面ノ目的タル第十回國際聯盟總會ノ決議ニ基ク關稅引上休止並將來經濟協調「プログラム」作成ニ關シテハ伊國ヲ除キ之ニ積極的ニ贊成スルモノト條件乃至留保ヲ附シテ贊成スルモノトニ分レ、英、蘭、白、獨、各代表ハ積極的ニ贊意ヲ表シ關稅引上休止ニ依リ關係國間ニ於ケル報復戰爭ヲ防止シ將來關稅引下ニ至ル基礎ヲ作リ以テ經濟關係ノ安定ヲ圖ルノ大切ナルヲ述ヘ特ニ英國商相ハ直ニ委員會ヲ作成シテ審議ヲ進ム可シト述ヘ諾威、奧國、丁抹、「エストニア」、「ルクサンブルグ」、瑞西及「ラトビア」等大體之ニ贊シタルカ「チェッコ」、スロヴァキア、「ルーマニア」、「西班牙」、「リビア」、「ユーゴスラヴィア」、「洪牙利、波蘭、葡萄牙及愛蘭等ハ關稅引上休止條約ノ締結ニ贊スルモ之カ原案（經濟委員會作成ノモノ）ノ各項ニ付キテハ種々希望ヲ述ヘ此等諸國ハ自國ノ現行關稅制度ハ既ニ國情ニ合スル穩當ナル稅率ヲ定メ居リ且ニ二ヶ國間通商條約ニ依ル協定稅率ヲ有シ既ニ相當固定シ居ル處最近諸外國中ニハ關稅引上ヲ行ヒタ

ルモノ多キ關係上今日休戰條約締結ニ際シテハ適當ナル保障ヲ要ス可ク其ノ關稅引上休止ニ依ル各國ノ犧牲ヲシテ公平均衡ナラシメ各國ノ貿易ニ均衡ヲ得セシムル様注意ス可キヲ説キ且本條約ト二ヶ國間通商條約ニ規定セラレ居ル最惠國條款トノ關係ヲ考慮シ本條約ノ利益ヲ第三國ニ均霑セシメサルコトトス可シ又第三國ノ貿易獎勵金補助金供與及「ダンピング」防止ニ對シテモ適當ナル對策ヲ考慮ス可キ旨ヲ主張シ特ニ洪牙利、波蘭及葡萄牙ハ農業國タル關係上農業ニ對スル救済ノ必要ヲ力説シ工業國ニ於テハ關稅ノ固定容易ニシテ關稅引上休止ニ依ル影響少ナキ處之等諸國ノ重要產物タル農作物ニ對スル關稅ハ餘リ固定スルコト困難ナルコト他方ニ於テ農作物ニ關スル關稅ハ各國ノ內政ノ對象トナリ易ク內政事情ニ依リ著シク影響セララルノミナラス關稅外ニ於テ運賃、諸稅金及其ノ他ノ貿易障害多キヲ以テ關稅引上休止ノミヲ以テ満足スルハ不充分ナルニ依リ其ノ他ノ協調方法ヲモ考慮スルノ要アルヲ主張シタリ

然ルニ伊國組合大臣ハ之ニ反シ經濟協調ニハ各國ノ犧牲ヲ詳細ニ測定スルヲ要スルヲ以テ伊國ハ二ヶ國間條約ニ依リ各國ノ要求ニ應ジ協調ヲ爲シ同國關稅ハ現在安定セル狀態ニアル處本件條約ノ如キ多數國間ノ條約ハ關係國間ノ利害測定困難ナルノミナラス之ニ依リ右安定セル國內經濟狀態ニ動搖ヲ與フルノ虞アリ又南北「アメリカ」諸國ノ不參加ハ其ノ效果ヲ僅少ナラシムヘク他方休戰條約原案ニ就テ見ルニ各條ニ於テ著シク技術的困難アルニ依リ現在ノ狀態ニ於テハ本條約締結ハ時期尙早ナリト述ヘタリ

右ノ外「コロンビア」代表ヨリ本件條約締結ノ如キ國際協調ハ之ヲ歐洲内ニ限ラス世界のトナス可シト述フル處アリタルカ以上ノ討議ノ結果二月二十日議長ヨリ第十回聯盟總會ノ決議ニ基ク（一）二三年間各國保護關稅引上休止並貿易ノ障害設定休止ニ關スル條約案ヲ審議ス可キ第一委員會及（二）各國ノ經濟關係ヲ改善シ貿易ニ對スル障害ヲ低下又ハ除去スル爲將來交渉ニ至ル可キ「プログラム」ノ作成ヲ審議ス可キ第二委員會ノ二箇ノ委員會ヲ設定スルノ議ヲ提出シ各代表之ニ贊シ右ノ結果第一委員會議長トシテ和蘭代表前總理大臣 M. H. Colijn 第二委員會議長トシテ「ルーマニア」代表大藏大臣 M. V. Madgearu ヲ舉ケタリ各委員會トモ別々ニ報告スルカ如ク二月二十一日ヨリ審議ヲ進ムルニ至リタリ

然ルニ佛國代表ハ本件會議ノ初メニ於テ其ノ内閣ノ更迭スル等ノ關係ヨリ第一全權タル商務大臣歸國スルニ至リ意見ヲ開示スル處ナカリシヲ以テ第一委員會及第二委員會トモ各其ノ審議ヲ進メ特ニ第一委員會ニ於テハ第二分科會及第三分科會ハ既ニ審議ヲ終了スルニ至リタル處同第一分科會ニ於テ同報告ニ示スカ如ク佛國代表「セルイス」ヨリ基礎案タル關稅引上休止條約案ニ反對スルノ態度ヲ示シ來リ更ニ伊國代表ヨリ別ニ説明スルカ如キ提案ヲ爲スニ至リタルヲ以テ本件會議ハ一時行キ惱ミノ狀態ニ立チ至ルニ至リタリ

然ルニ三月八日ニ至リ佛國新内閣ノ成立ト共ニ佛國商相再ヒ本件會議ニ參加シ得ルニ至リタルヲ以テ同日第九回本會議ヲ開キテ佛國ノ態度ヲ聽クコト、ナリタル處同商相ハ本件會議ノ目的ハ經濟協調ノ達成ニアアル處關稅引上休止條約原案ハ今日佛國ノ如ク七二%ノ協定關稅ヲ有スル國ニハ重要ナラス動の要素ヲ有スル關稅ヲ強イテ固定セムトセハ寧ロ紛擾ヲ來ス虞アリ故ニ此ノ際ハ既ニ佛國代表ノ提議スルカ如ク(第一分科會ニ於ケル佛國代表「セルイス」ノ所說參照)將又伊國提案ノ如ク(第一分科會ニ於ケル伊國提案參照)現行通商條約ノ效力ヲ來ル四月一日ヨリ一ケ年間延長シ協定稅率ナキ國ハ現行關稅ヲ据エ置キ各國其ノ經濟事情ニ適應スル爲關稅引上ヲ必要トスル場合ハ相當期間ヲ設ケテ利害關係國ト商議ヲ爲スコトニ宛テ商議不成立ノ曉關稅引上ヲ認ムルコト適當ナリ又第二委員會ノ事業タル經濟協調「プログラム」作成ニ關シテハ抑モ現在ニ於ケル印度ノ紡績ノ發達、波蘭ノ東方隣國ニ對スル輸出ノ激減、戰後歐洲各國カ債務國トナリタルコト及各國生産能力ノ増加等ノ經濟諸現象ハ決シテ單ナル關稅政策ニ起因スル處ニ非ス之カ解決ハ單ナル關稅問題ヨリ去リ第十回聯盟總會ニ於ケル「ブリアン」「ストレーゼマン」等ノ諸主張ヲ考慮シ此ノ主張ニ一定ノ計畫ヲ與フルニアリ從ツテ佛國トシテハ既ニ第二委員會ニ於テ各種ノ「プログラム」ノ意見ヲ提出セルカ(第二委員會第三分科會經過參照)各種ノ意見ヲ參照シテ將來協調ノ「リスト」ヲ作り之ニ基キ條約案ヲ作成シ進ンテ各國ノ所謂保護手段タル經濟的武裝ヲ制限シ廢止ニ至ラシム可ク又各國間經濟爭議ノ解決ノ爲常設經濟仲裁機關ヲ設定シ以テ經濟的平和ヲ招致シ度シト主張シ翌九日關稅引上休止條約基礎案ニシテ C. P. A. E. C/8 ヲ提示シタリ

右佛國商相ノ提議ニ對シテハ各委員會ニ於テ各國代表何レモ之ヲ討議ノ基礎トスルヤ否ヤニ付議論アリタルコト各委員會報告所說ノ通ナルカ大體右ヲ審議ノ基礎トシテ(特ニ第一委員會關係條約案 C. P. A. E. C/8 ニ付)會議ヲ進行シタリ他方ニ於テ英國商相ハ前記一般討議後一先ッ歸國シタルカ三月十四日再ヒ出席スルニ至リタルヲ以テ第十回本會議ヲ開キ佛國提案ニ對スル英國側ノ意見ヲ聽キタルカ同商相ハ本件會議ノ目的ハ何等關稅ノ固定ニ非スシテ將來引下ケノ基礎ヲ作ルニアアル處此ノ見地ヨリ見テ佛國提案 C. P. A. E. C/18 ハ原案ニ比シ多少不満足ナルモ關稅増徴ニ對スル保障ノ目的トスル故討議ノ基礎トスルニ差支ナシ尤モ自由主義關稅國タル英國トシテハ右佛國提案ノ第二條、第三條及第四條ノ規定ヲ嚴格ニシテ自由主義關稅國ニ充分ノ補償ヲ與ヘ第五條ノ例外品目ハ可成少クシテ出來得ル限り保護政策ヲ防壓スルニ努ムヘシ又經濟協調「プログラム」ニ關シテ第二委員會ニ於テ速ニ經濟協調ノ基礎ヲ作ルニ努力ス可ク之カ不成功ハ經濟界ニ不測ノ惡影響ヲ與フ可シト本會議ノ成功ニ努力ス可キヲ警告シタリ

爾來第一及第二委員會トモ別ニ説明スルカ如ク其ノ事業ヲ繼續シ結局三月二十二日ニ至リ何レモ其ノ審議ヲ終了シ第一委員會ヨリ C. P. A. E. C/18 (條約案) C. P. A. E. C/17 (最終議定書案)ヲ報告トシテ提出シ第二委員會ヨリ C. P. A. E. C/9(1) (經濟協調「プログラム」議定書)ヲ提出シ來リタルヲ以テ同日最後ノ本會議ヲ開キ(一)條約案ハ之ヲ Commercial Convention ト名付クルコトニ決シ別ニ述フルカ如ク第十三條ヲ變更シ(第一委員會第二讀會參照)(二)最終議定書案ニ訂正ヲ加ヘ(第一委員會第二讀會ノ終リ參照)(三)經濟協調「プログラム」議定書 (Protocol relating to the programme of subsequent negotiation) ニ多少ノ變更ヲ加ヘ(第二委員會經過參照)更ニ(一)(二)及(三)ノ署名ハ不敢取三月二十四日之ヲ行フモ四月十五日迄ニ署名スルモ差支ナキコトニ決定シ(條約案第十二條第二委員會報告參照)茲ニ別添 C. P. A. E. C/17(1); C. P. A. E. C/18(1); C. P. A. E. C/9(1) ノ三「ドキュメント」ノ成立ヲ見ルニ至レシ

右協約及經濟協調「プロトコール」最終議定書ニ對シテハ三月二十四日調印式ヲ行ヒタル處三者全部ニ調印セルハ英、獨、佛、伊、埃、白、蘭、「エストニア」、「フィンランド」、「ルクセンブルグ」及瑞西ノ十一ヶ國ニシテ經濟協調「プロトコ

ル」及最終議定書ノミニ調印セルハ「レトニア」、「リスアニア」、希臘及葡萄牙ノ四ヶ國、最終議定書ノミニ調印セルハ丁抹及瑞典ノ二ヶ國ナリキ右調印ニ引續キ議長ヨリ本會議終了ニ際シ各代表ノ努力ヲ感謝スルトノ閉會ノ辭アリテ茲ニ本件關稅會議ハ終了セリ

第二章 委員會討議ノ經過並通商協約案

經濟協調ニ關スル將來ノ交渉ノ「プログラム」關係議定書案及最終議定書案ノ作成

第一節 第一委員會議事經過並通商協約案及最終議定書案ノ作成

第一款 休戰原案審議

第一委員會ハ二月二十一日ヨリ開會シ議長ヨリ經濟委員會作成ノ關稅引上休止條約原案ノ細目審議ニ入ルニ先チ本案中關係各國ノ調印ニ付不適當又ハ修正ヲ要スト認メラル、諸點ニ關スル一般討議ヲ行ヒ度キ旨ヲ申述ヘ各國之ニ贊シタル後同日及二月二十四日午前ニ互リ三回ノ委員會々議ヲ行ヒ各國代表ヨリ各種ノ意見提出アリタルカ其ノ重大ナル諸點ハ左ノ通りナリ

- (一) 關稅引上休止ヲ行フヘキ標準期日(原案第一條及第二條)
- (二) 右關稅ノ引上休止ニ對スル例外品目(同第十一條)
- (三) 輸出入禁止制限條約ヲ本條約ニ挿入スルノ可否(同第七條)
- (四) 財政關稅ヲ保護關稅ヨリ區別シ之ヲ例外トシテ認ム可キヤ否ヤ(同第八條)
- (五) 緊急ノ場合ニ於テ休止關稅ヲ變更スルヲ許スヤ否ヤ(同第九條)
- (六) export bounty and dumping ニ對シ對抗手段トシテ關稅ノ變更ヲ許ス可キヤ
- (七) 第三國、最惠國條款ヲ有スル場合右條款ト本條約トノ關係如何
- (八) 本條約ニ參加スル國ヲ明ニスルヲ要ストスルモノ

(九) 將來關稅引下ヲ爲ス基礎ヲ定ム可キヤ否ヤ

以上ノ諸點ニ關シテ各國代表者間ニハ種々異レル意見ヲ有スルモノ多カリシカ特ニ(一)(二)(三)(四)(六)(七)ニ關シテハ意見分レタリ

吉田ハ各國カ總會以來何レモ自國ノ立場ヲ明ニセルアリ旁我方ノ立場ヲ明ナラシムル要アリト認メ(三月二十三日附壽聯本公第一二號參照)二月二十四日午前本委員會ニ於テ本件條約カ廣ク世界各國間少クモ歐洲國間ニ締結セラルルハ我方ノ歡迎スル處ナルカ帝國政府ハ日本カ條約參加ノ爲ニハ米、支、印度及濠洲ノ如キ隣國カ參加スルヲ必要ナリト思考ス從テ此ノ點ハ其ノ他ノ諸問題ト共ニ條約成立ヲ俟テ我方ニ於テ充分考慮セサル可カラサル處ナリト述ヘ置キタリ

依ツテ議長ヨリ以上ノ討議ニ基キ三箇ノ分科會ヲ構成シテ審議ヲ進メ度キ旨ヲ述ヘ各國ノ意見ヲ參酌シテ左ノ分科會ヲ構成シテ二十四日ヨリ何レモ其ノ審議ヲ開始シタリ

第一分科會ハ第一條乃至第四條、第八條乃至第十一條、第二十一條等關稅引上竝之カ例外タルヘキ事項ノ審查第二分科會ハ第五條、第七條、輸出獎勵金及補助金等關稅以外ノ貿易障害事項ノ審查第三分科會ハ第十四條、第十七條及第十九條ノ如キ第三國トノ關係並最惠國待遇條款トノ關係ニ關スル事項審查本分科會ハ後ニ至リ以上ノ外本條約實施ニ關スル批准效力發生加入及殖民地條項等ノ附屬條項ヲモ審查スルコトナレリ

第二款 佛國ノ條約基礎案ニ對スル代案ノ提出

以上各分科會ニ於ケル審議經過ハ別添各分科會報告ニ示ス通りナリ而シテ第二分科會及第三分科會ハ三月初メ迄ニ何レモ各其ノ報告書ヲ本委員會ニ提出スルニ至リタルカ(C. P. A. E. C/Com. 1/2(1)) 並 C. P. A. E. C/Com. 1/3(1)) 第一分科會ハ別添各分科會報告(第十一條及第九條討議參照)ニ示スカ如ク佛國代表ノ聲明並伊國提案アリタル爲原案タル關稅引上休止條約案ハ死文ニ歸スルニ至リ審議ヲ繼續スルニ由ナク一時中止トナルニ至レリ從ツテ之カ善後策トシテハ關係國間ノ協議ニ依リ佛伊ノ主張ヲ含メル妥協案代案ヲ作成シ第一委員會議長ヨリ各國主席全權ニ内示シタルハ本年三月五日機密

壽聯本公第六號ヲ以テ詳細申進シタル通ニシテ次ニ述フルカ如ク右妥協代案ハ三月八日佛國商相ノ來壽ニ依リ新提案(C. P. A. E. C/8)ノ提出ニ依リ問題トセラレサルニ至リタルモ右佛國商相新提案ハ本妥協代案ヲ基礎トセルコト明ニシテ聽テ今回ノ關稅引上休止會議ノ成果タル通商協約ヲ生ムニ至レル母體タルモノナリ

而シテ佛國商相カ三月八日本會議ニ於テ新ナル意見ヲ開陳シ引續キ關稅引上休止基礎案トシテ C. P. A. E. C/8ヲ提出シタルハ本會議ノ經過ニ述ヘタル通ナルカ(往電第三五號參照)第一委員會ハ右新提案ヲ得テ再ヒ審議ヲ開始スルコトナリ三月十日及十一日ニ互リ各國代表ノ一般の意見ヲ聞ク爲會議ヲ開催シタリ右兩日ノ會議ニ於テハ先ツ右佛國新提案ヲ討議ノ基礎トスルヤ否ヤニ付日本、西班牙、「コロンビア」及「ペルー」ヲ除キ其ノ他ノ諸國代表ヨリハ總テ意見ノ開陳アリタルカ何レモ本國政府ニ請訓中ナルヲ以テ自國政府ノ意見ヲ表示シ能ハス又自國政府モ最終條約案トナレルモノヲ見タル上ナラテハ的確ナル訓令ヲ與ヘ得サル可シト述ヘタル上右新提案ニ對スル各種ノ批判及質問ヲ行ヒタリ其ノ要領ヲ右新提案 C. P. A. E. C/8ニ就テ述フレハ左ノ如シ

右質問ノ主ナルモノハ(一)協定稅率ヲ有セサル國ハ保護關稅ノ關スル限り百%ノ據置トナリ協定稅率ヲ有スルモノト不公平ナル立場ニ置カルコト(特ニ英蘭ニ於テ之ヲ主張シタリ)(二)第三條及第四條ニ於ケル關稅ノ引上又ハ新設ノ場合ニ於ケル關稅ハ如何ナル關稅ヲ意味スルヤ(三)第五條ノ例外品目中ニハ財政關稅品目タルト保護關稅品目タルト問ハス何レモ之ヲ含マシムル意ナリヤ(四)第七條ノ財政關稅中ニハ協定稅率タルト非協定稅率タルト問ハス之ヲ含マシムル意ナリヤ(五)第九條ノ更改ニ於テハ第五條例外品目ニ關スル場合ヲモ之ヲ含マシムル意ナリヤ(六)第六條ノ稅率ヲ協定セサル國ノ中ニハ假令1%乃至5%等僅カノ協定稅率ヲ有スル國モ之ヲ含マシメサル意ナリヤ(協定及非協定兩國ノ區別點如何)(七)本案ニ謂フニケ國間條約中ニハ關稅協定ノ外各種ノ貿易安定規定(特ニ間接保護手段ニ對スル保障)ヲ含ム處右ハ本案ニ於テモ保障セントスル意ナリヤ(八)第七條ノ財政關稅ノ意義如何等ナルカ右ニ對シテハ佛國商相ヨリ説明ヲ加ヘ本案ハ通商條約特ニ協定稅率アルモノハ右ヲ一定期間延長シ協定稅率ナキ國ハ其ノ保護關稅ヲ措置セシメス協定

稅率國ノ非協定品目關稅及非協定國ノ財政關稅ニ就テハ第三條ニ基キ引上又ハ新設ヲ爲シ得ルコトセル趣旨ナリ又詳細ノ點ニツキテハ本案ハ單ニ大綱ヲ示シタルニ過サルヲ以テ後ニ述フヘシト述ヘ更ニ非協定稅率國ハ從來自由主義貿易國ト呼ハレ居タルニ拘ラス犧牲ノ公平ヲ云々シテ不平ヲ唱フルハ解シ得スト述ヘタルカ右質問ノ外休戰原案トノ關係ニ付テモ意見多ク(一)休戰原案ノ基礎タル思想ヲ動搖セシムルモノニ非サルカ(二)本案ハ原案ノ第一條及第二條ヲ變更セルモノニシテ其ノ他ノ條文ハ尙活用セントスル意ナリヤ(三)特ニ原案第五條、第七條、第九條、第十四條、第十七條及第十八條等ノ規定ハ本草案中ニモ含マシムル意ナリヤ右ニ對シテモ佛國ヨリハ本案ハ成ルヘク簡單ニ各國ノ意見アル處ヲ見テ作成セル故餘リ原案所定ノ事項ヲ追加スルヲ欲セサル旨ヲ述ヘタリ尙上記ノ外各國中ニハ本案ニ對スル參加國ヲ見且輸出禁止制限ニ關シテモ適當ノ保障ヲ爲シ第五條ノ具體的例外品目ヲ審議シ農產物ニ對シテハ充分ノ保障ヲ與ヘ間接保護手段ニ對スル保障ヲ規定スル等必要ナリト述ヘタルカ大體討論ノ基礎トスルコトニハ異存ナカリシヲ以テ結局議長側ヨリ的確ナル條約案トシテ然ル後ニ討議スルコト可然ト述ヘ右條約案作成ノ爲英佛伊「ブルガリア」諸國「エストニア」瑞西「ルーマニア」及白ノ九ヶ國代表並本委員會報告者「Langelove」ヲ舉ケテ起草委員トシ前記諸意見ヲ參考トシテ至急條約案ヲ作成スルコトトスヘシト述ヘ各國之ニ贊成シタリ尙議長ハ新條約案ニモ舊休戰原案ト等シク例外品目(第五條)ヲ規定スル要アルハ明ナルヲ以テ右例外品目ヲ求メタキモノハ會議ヲ進行ヲ計ル爲十二日迄ニ之ヲ提出セラレタシト述ヘタル

右條約案起草委員會ハ十二日ヨリ十四日ニ亙リ詳細討議ヲ重ネタルカ伊國委員ノ如キハ右條約案ニ興味ヲ有セサリシカ如ク十二日第一委員會議長「コライン」ノ吉田ニ内話スル處ニヨレハ同日伊國委員ハ起草委員會ニ出席セサリシ由ニテ又白國委員ノ吉田ニ内話スル處ニヨレハ伊國委員ハ初メヨリ本件會議ニ反對ナリシモ條約案成立セントシツツアルニ顧ミ多少當惑シ居ルナルヘシト語リタル趣ナリ尤モ其後伊國委員ノ出席モアリ起草委員會ハ三月十五日ニ至リテ C. P. A. E. C/Com. 1/5ノ如キ條約案ヲ起草委員會ノ命ヲ受ケタル聯盟事務局ヨリハ C. P. A. E. C/Com. 1/9ノ如キ效力發生加入等ニ關ス

ル追加條約案ヲ第一委員會ニ提出シ各國ヨリモ順次例外品目ニ關スル提案ヲ爲シ來レリ(特ニ C. P. A. E. C/Com. 1/29參照)

依リテ第一委員會ハ三月十五日ヨリ三月十八日夜半ニ亙リ右條約案ニ對スル第一讀會ニ逐條審議ヲ爲シタルカ討論ノ結果ハ大要左ノ通ナリ(條約案全體トシテハ第二讀會ノ場合詳説スヘシ)尤モ三月十五日議長ヨリ本件討議ニ先テ此ノ際本條約ノ全體殊ニ第一條ヲ承認スルヤ否ヤニ關シ各國代表大體ノ態度ヲ闡明セラレ度ク右原則ノ承認ハ討議進行ノ前提トシテ必要ナリト述ヘ各國別ニ意見ヲ求メタル處獨、白、英、丁扶、「エストニア」、佛、「ハンガリー」、伊、「リツアニア」、「ラトビア」、「ルクサンブルグ」、諸國、和蘭、瑞典、波蘭、葡萄牙、羅馬尼(同國ハ協定稅率アル通商條約無シト)ノ十七ヶ國ハ原則ヲ承認シタルモ埃太利ハ目下經濟復興ノ途上ニアリテ通商條約改訂商議進行中ニテ將來右改訂商議ノ結果如何ナル品目ニツキ關稅引上ヲ爲スヤ不明ニシテ例外品目モ提示スル能ハスサリトテ右改訂商議ノ自由ヲ拘束スル能ハス從テ第一條ノ承認ヲ留保セサルヲ得スト述ヘタルヲ以テ參加各代表ハ同國ノ地理上ノ地位ヨリ見テ甚タ當惑ノ色ヲ示シタルカ右ノ關係モアリ本條約參加國如何ニヨリ態度ヲ決定スヘシ又ハ第二條及第三條ノ規定如何ニヨリ承認スヘシトノ條件付承認ヲ爲スモノヲ生シタリ右條件付承認ヲ爲セルモノハ芬蘭、希臘、瑞西、「チェコスロヴァキア」及「ユーゴスラヴィア」等ニシテ尙未出席其他ノ理由ニテ意見ヲ表示セサリシモノ七ヶ國我方ハ曩ニ第一委員會ノ初頭ニ於ケル聲明ニ顧ミ「アブスタンション」土耳其ハ未定ノ態度ヲ探レリ

右埃太利ノ態度(所謂 Austrian difficulty)ニ對シテハ佛國商相ヨリ歐洲各國 solidarityニ顧ミ特ニ埃太利ノ熟考ヲ求ムル處アリタルカ結局第一讀會逐條審議ノ際同報告ニ述フルカ如ク第一條附屬「プロトコール」ニヨリテ解決スルニ至レリ尙波蘭代表ハ三月十七日ノ會議ニ於テ同國內閣更迭ト共ニ聲明ヲ發シ本條約ヲ調印スルヤ否ヤ未定ナルモ之カ加入ノ爲ニハ同國隣接國十ヶ國(内ニ埃國ヲ加フ)ノ條約加入ヲ要スヘク第六條ノ例外品目ヲ承認セスト爲シタルカ三月二十二日ノ會議ニ於テ右聲明ヲ撤回セリ

前記起草委員會ノ提出ニカカル條約案 (C. P. A. E. C/Com. 1/5) 並 C. P. A. E. C/Com. 1/9) ニ對スル第一讀會審議經過ヲ示セハ左ノ如シ

前文ニハ異議ナク第一條ニ關シテハ「チッコスロヴァキア」ノ提案 (C. P. A. E. C/Com. 1/8) アリタルモ討議ノ末同案ハ撤回セラレ第二條ニ關シテハ英國ヨリ末項ノ括弧削除方ヲ主張シ白耳義ヨリハ商議ヲ二ヶ月繼續シ商議有望ナリトモ二ヶ月ヲ經ハ廢棄手段ヲ執リ得ルコトスルハ可ナラスト述ヘタルモ別ニ條文ヲ改メストモ差支ナシトテ原案通トナレリ尤モ和蘭ヨリハ括弧内ノ one ノ意味不明ナリトテ C. P. A. E. C/Com. 1/14 ノ修正提案アリ之ヲ承認シ案文ハ起草委員會ニ附託セラル第三條ニ關シテハ第二案ヲ以テ各國ノ法制ニ適スルモノト認メ第二案ヲ採用ニ決ス

第四條及第五條ニ就キテハ別段異議ナク其ノ儘承認シ第六條ニ關シテハ第二案即本條ヲ削除スヘシト主張スルモノ丁抹、希臘、和蘭及英國等アリタルモ洪牙利、羅馬尼及佛國等之ニ反對シ第一案ノ採用ヲ主張シ特ニ佛國商相ハ佛國ノ法律中ニハ特定品目ニツキ第二條及第三條ノ適用ヲ許サス全然自由ノ立場ヲ要求スルモノアリ (loi de cadenas) 又第五條ニ於テ自由主義關稅國ニ對シテハ財政關稅ニツキ自由ノ立場ヲ與ヘ居ルニ願ミ右均衡上モ第一案ヲ存置セサルヲ得スト述ヘ結局第一案ヲ存置スルコトセルモ第六條ニ對スル各國例外品目ノ審議ヲ待チテ最後ノ決定ヲナスコトナレリ尙獨逸ヨリ第一條ヲ存置スル以上ハ第一項中ニ第三條モ適用セサル様規定スル必要アリト述ヘ第一項ニ III) ヲ加フルコトナリ又議長ノ申出ニヨリ第一項ニ第五條ヲ舉ルハ不必要ナリト述ヘ右 V) ハ第一項ヨリ削除スルコトナレリ

然ルニ三月十八日ノ會議ニ於テ各國ノ提出ニ係ル例外品目ニツキ逐一審議ヲ重ネタルカ (各國提示ノ例外品目ニツキテハ事務局作成ノ例外一覽表 C. P. A. E. C/Com. 1/29) ヲ配布シ右佛文ノ順ニ從ヒ例外品目ニツキ討議ヲ重ネタリ) 獨逸、白耳義、丁抹、芬蘭、佛國、洪牙利、「ルクセンブルグ」、挪威、波蘭、葡萄牙、羅馬尼、瑞典、瑞西、「チッコスロヴァキア」「ユーゴスラヴィア」及「エストニア」等ノ提出セル例外品目ヲ一應承認シタルモ此ノ討議ノ中途ニ於テ瑞西代表ヨリ例外ノ著シキハ本條約ヲシテ無價値ノモノタラシムヘク獨逸特ニ佛國ノ如キハ loi de cadenas ニ依ル自由ヲ許サルヲ以テ

(C. P. A. E. C/Com 1/6) 一見著シク多クノ品目ニツキ自由ヲ得タルカ如ク見ヘ事情ヲ知レルモノニハ其ノ一部例ヘハ「バター」ノ如キハ佛瑞通商條約ニヨリ協定シ居ル故多數ナリトモ見エサルモ此ノ事情ヲ知ラサル輿論殊ニ各國議會ニ於テハ各自國トノ均衡上到底本條約ヲ承認シ得サルノ立場ヲ執ルニ至ルヘキヲ以テ一度此ノ如キ例外ヲ許サハ他國モ又其ノ議會關係ノ爲又ハ補償ノ意味ニ於テ例外ヲ持出シ來ルヘシ現ニ前記表中ニハ右ノ例ト認メラルモノアリ故ニ各國カ例外ヲ少クセンコトヲ主張シ希臘「ラトビア」代表ヨリモ各國ニテ例外ヲ要求スルニ於テハ自國モ又提出セサルヲ得スト述ヘ更ニ葡萄牙ヨリハ例外品目中ニハ codfish ヲ追加シ度シ申出テ之ニ對シ挪威ハ右ヲ例外中ニ加入セハ同國議會ハ到底本條約ヲ承認セスト答ヘ論議盡キス依テ伊太利代表ヨリ何等カノ解決案ヲ考ヘサルヲ得サル處大勢右ノ如クナルニ於テハ第六條ヲ削除シ第二條及第三條ニ多少ノ修正ヲ加フルコトニ依リ例外品目ヲ無クスル外ナシト述ヘ右ヲ採擇センコトヲ主張シタリ而シテ和蘭英國其ノ他ヨリモ出來得ヘクシハ第六條並其ノ例外品目ヲ削除スルコトト致度シト述ヘ結局議長ヨリ之カ削除ノ可否ヲ問ヒタル處獨逸葡萄牙ハ削除ニ反對シタルモ十五ヶ國ハ賛成シ六ヶ國ハ第二條及第三條ノ修正如何ニ依ルト述ヘテ留保ヲナシ (我方ハ「アブスタンション」ヲ爲シ置キタリ) タルヲ以テ削除ノ趣旨ニ依リ第二條及第三條ニ對シ何等カノ修正解決案ヲ作成スルコトトシ議長外英、伊、佛、獨、瑞西、波蘭、白耳義ノ代表ヨリ成ル八ヶ國委員ヲシテ案文ヲ作成セシムルコトトセリ右案文ハ第二讀會説明ノ通り可決セラルルニ至レリ

次ニ第七條ニ就テハ佛國提案 (C. P. A. E. C/Com. 1/15) ヲ佛國側説明シテ採用スルコトトシ

第八條ニ關シテハ洪牙利代表ヨリ第一條ノ討議ニ於テ「チッコスロヴァキア」案 (C. P. A. E. C/Com. 1/8) ハ撤回セラレタルモ第八條 (C) ノ第一項ハ第一條ノ適用ヲ受クヘキモノナルカ故ニ (C) 第一項ニ右ハ第一條ノ適用ヲ受クナル字句ヲ追加スヘシト述ヘ白國之ニ贊シ右承認セラル

第九條ニ關シテハ瑞典、波蘭、「ラトビア」等ヨリ本條約署名國ヲ承認シ度シト述ヘタルカ右ハ追テ考慮スルコト可然トノコトニテ條約成立ノ時ニ問題トスルコトニナレリ次ニ伊國代表ヨリ第九條ニ依リ本條約ノ效力期間ヲ無制限トスルコトハ

不可ナリトテ C. P. A. E. C/Com. 1/24 ノ提案アリ右ニ對シテハ獨白ヨリ第二項ハ不要ナリト論シタルカ佛國ヨリ本條約ノ期間ニ付締約國ノ一方ヨリ通知アリタル時ハ會議ヲ開キテ條約ノ運命ヲ決セシムルコト可然ト述ヘ右ノ趣旨ニヨリ聯盟法律部ヲシテ條文ヲ作成セシメタル處法律部ヨリハ C. P. A. E. C/Com. 1/26 ノ如キ提案ヲ爲セリ右ニ對シテハ白國側ヨリ右ハ本條約ニ基テ破壞ノ場合ノミニ善後策ナリ伊國提案ノ趣旨ハ一ヶ年半以上ノ實施後諸經濟事情等ニ顧ミ本條約ノ運命ヲ決セントスルニ在ルヲ以テ再ヒ書換ヘノ要アリト述ヘ伊、蘭之ニ贊シ結局起草委員會ヲシテ條文ヲ作成セシムルコトトス

第十條

希臘代表ヨリ同國ト或ル國トノ通商條約ニハ希臘ノ特產品(例ヘハ煙草)ニ付相手國カ特別制度(例ヘハ專賣)ノ如キヲ執リ特產品ノ貿易阻害セラルルニ至ル時ハ直ニ希臘ハ條約ヲ自動的ニ廢棄スル權利ヲ有スル處本條ニ依レハ右權利ヲ拘束スル虞アリトテ C. P. A. E. C/Com. 1/11 ノ如キ修正案ヲ提出ス右ニ對シ獨逸ハ反對シ佛國モ本條約ニ新シキ要素ヲ有スル問題ヲ加フルヲ欲セスト述ヘタルモ「ルクセンブルグ」葡萄牙及伊太利等希臘案ニ贊シ關稅ノミナラス一般ニ經濟上ノ equilibrium ヲ破ルコトアル場合ハ contingency ノ場合トシテ對應案ヲ考フル必要アリト述ヘ起草委員會ニ附託スルコトナレリ

右ニ關聯シ伊國側ヨリ第十條ノ規定ハ明白ナル範圍ヲ定メサルヲ以テ之ヲ具體的ト爲スコト必要ナリ殊ニ輸出入禁止制限ニ關スルモノハ本條ニ依リ規定スヘキモノナリト述ヘ C. P. A. E. C/Com. 1/22 ヲ提出シ本條ニ代ハラシムルヲ要求シタルカ和、佛、獨、英ハ之ニ反對シ本條ハ所謂 gentleman's agreement ニシテ本條約案ノ中心ナレハ之カ削除ハ不可ナリト述ヘ佛國ノ意見ニヨリ本條ノ次ニ伊國案ヲ in particular ナル文字ヲ加ヘテ追加スルコトニ決ス(尤モ之ヲ附加スル場合伊國案ノ後段ニ付テハ「チェッコ、スロヴァキア」ノ反對アリ)

附屬「プロトコール」

第一條及第二條ニ關スルモノハ困難ナル事項ヲ含ムニ依リ後廻シトシ

第三條ニ關スルモノ 伊國提案 (C. P. A. E. C/Com. 1/14) ハ異議ナク可決

第四條ニ關スルモノ 英國、和蘭、諾威、丁抹及葡萄牙ハ第四條ノ適用セラルヘキ國タルコトヲ承認ス

第五條ニ關スルモノ

英國代表ヨリ英國ハ忠實ニ本條約ヲ遵守セントスルモノナルカ「マツケン」絹關稅ノ如キハ引上サル旨ヲ述ヘタル
 “in addition to this fiscal character” ナル文字アル時ハ英國力衷心財政關稅ト看做シ居ル煙草、煙草製造品及石油ニ對スル關稅ヲ上クル場合誤解ヲ與フル虞アルヲ以テ之カ削除ヲ主張スト述ヘタルカ (提案ハ C. P. A. E. C/Com. 1/10) 右説明ニヨリ獨、佛、伊ノ贊成アリ英國案可決セラル

第一條ニ關スルモノ

伊國ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/20 ヲ提案シ場合ニヨリテハ第一條本文ノ treaties, agreements, arrangements, etc. ト意味ヲ廣クシ *modus vivendi* ヲモ入ル様書キ改ムヘシト主張シタルカ右ハ前記第十條ニ關スル希臘提案ノ如クニケ國條約ニ關スルモノ故起草委員會ニテ考慮スルコトトセリ

第二條ニ關スルモノ

一、右ニ關シテハ三月十八日午後八時半ノ會議ニ於テ先ツ同一趣旨ノ修正案タリシ獨逸案 (C. P. A. E. C/Com. 1/21) 及伊國案 (C. P. A. E. C/Com. 1/23) ヲ議題トシタルカ獨逸側ヨリ獨逸案ハ第三國トノ通商條約ヲ第三國ノミヨリ破壞シ得ルカ伊國案ハ締約國ノ一方竝ニ第三國ノ何レヨリモ破壞シ得ルコトナリ居ル處多少文字ノ修正ニテ伊國案ヲ認メテ差支ナシト述ヘタルカ白、和等ヨリハ締約國ノ一方ヨリ破壞シ得サル様致度ク特ニ休戰條約原案第十條ノ(4)ヲ考慮セラレタシト主張シタルカ然レトモ伊國、佛國及「ラトビア」等ヨリ右ハ締約國ニトリ不公平ナリト述ヘ伊案ヲ大體承認スルコトナレリ尤モ佛國ノ要求ニヨリ修正案中「國定稅率」ナル文字ノ代リニ「非協定稅率」ト改ムルコ

トトシテ起草委員會ニ附託スルコトナレリ

二、次ニ佛國修正案 (C. P. A. E. C/Com. 1/7) 及洪牙利修正案 (C. P. A. E. C/Com. 1/18) ニ關シ佛國ヨリ佛國通商條約中ニハ關稅ニ關シ從價稅ヲ從量稅ニ變更スルコトヲ得ル場合 (自動車肥料等) ヲ規定シタルモノアル故ヲ認メラレ度キ旨申出アリ右ハ洪牙利案ト共ニ異議ナク承認セラル尤モ「三月十二日」ナル文句ニ付テハ瑞西側ヨリ多少困難アル故右ヲ變更シテ signed before this day's date トスルコトトス案文作成ハ起草委員會ニ附託スルコトセリ

第一條ニ關スルモノ

前記埃國代表ニ於テ第一條ノ原則承認ニ關スル聲明 (所謂 Austrian difficulty) ハ各國代表ヲ驚カシタル處爾來二月十八日迄ニ於テ關係國側ニ於テ右難關解決努力シタル結果同日夕刻迄ニ C. P. A. E. C/Com. 1/28 ヲ妥協案トシテ協定スルコトニ成功シタルヲ以テ十八日午後八時半ヨリ會議ニ於テ之ヲ討議スルコトナレリ然ルニ伊國代表ハ同妥協案第五項ニ關シ一締約國ハ他ノ締約國ノ一部ニ對シテモ本條約ヲ破棄シ得ル様改ムヘシト述ヘタルヲ以テ洪牙利代表ハ右ノ如ク修正スルニ於テハ目下ノ洪牙利ノ立場ハ關係通商條約ノ改訂中ナルカ右ニ際シ或ル對抗案ヲ講スル場合洪牙利カ關稅ヲ引上クルニ於テハ埃「チニコ、スロヴァキア」ノ外ノ諸國ヨリ對價ヲ要求シ來ルヘク若シ之ヲ拒絕スル時ハ洪牙利ノミニ對シ本條約ヲ破棄シ來ルヘク到底本條約ニ依ル利益ヲ享有シ得サルニ至ルヲ以テ之ニ贊成スル能ハスト述ヘ各國代表共洪牙利ノ爲ニ伊國ノ協調ヲ望ミ結局十分間休會シテ善後策ヲ講スルコトトシ右ノ結果本條約ノ適用除外ヲ求メタル國ニ對シ廢棄シ得ルトスル左ノ如キ妥協案ノ成立ヲ見各國之ニ贊成スルニ至レリ尤モ波蘭ハ前記ノ理由ニヨリ其ノ立場ヲ留保セリ

Il est convenu que chacune des hautes parties contractantes aura le droit de dénoncer la présente convention à l'égard d'une ou des autres parties qui ont demandé de pouvoir exclure de l'application de la convention les traités ci-dessus mentionnés ou à l'égard de toutes les autres parties contractantes.

以上討議ノ外第一讀會ハ條約補足規定ニ關スル條約案ノ逐條審議 (C. P. A. E. C/Com. 1/9) ヲ引續キ行ヒ二月十九日午前二時ニ及ヒタリ同案批准事項タル (A) 項ニ付テハ別ニ異議ナク (B) 項即効力發生事項ニ付テハ五月十五日迄ニハ各自議會開催期ノ關係ヨリ批准ヲ困難トスルモノ多ク希臘、瑞西、瑞典及芬蘭ハ之カ延期ヲ主張シ議長ヨリモ批准ノ日ヲ延長スルモ實施ノ際其ノ内容カ本條約ニ適合スル以上差支ナカルヘシト述ヘ各國議會開催期ヲ考慮シ批准期ハ十一月一日迄トナスコトニ決定セリ尤モ英國ヨリハ休戰原案ニ見ルカ如キ最低批准國數ヲ定メテ之ニヨリ効力ヲ發生セシムルコトトスヘシト述ヘタルカ本條約ノ批准ハ接壤國トノ關係ニ係ルコト大ナルヲ以テ大體別添第一委員會第三分科會ノ報告ヲ考慮シ起草委員會ニテ成案ヲ作成スルコトナレリ次ニ (C) 項タル加入條項ニ關シテハ右ハ同シク第一委員會第三分科會ノ報告ヲ採用セルモノナルカ大體之ヲ承認シ (D) 項タル殖民地規定ニ關シテハ伊國代表ヨリ本條約案第一條ノ通商條約ノ中ニハ殖民地ノ加入ヲ規定シ且殖民地ニ其ノ効力ヲ及ホシ居ルモノアルニ付多少變更ヲ要スト述ヘ英國ヨリハ然ラハ括弧ヲ削除セハ如何ト述ヘ起草委員會ヲシテ議ヲ練ラシムルコトニ決定シ特別「プロトコール」ニ付テハ別段ノ異議ナク可決セリ

以上ヲ以テ第一讀會ハ終了シタルカ其ノ討議ノ結果ハ各條トモ何レモ起草委員會ヲシテ成案ヲ作成スルコト必要ト認メ議長ヨリ洪牙利、瑞西、丁抹、白耳義ノ代表ヲ指名シテ小起草委員會ヲ作成シ條約全體ノ案文ヲ作ラシムルコトナレリ且又第六條ニ於テ述ヘタル如ク本條削除ニ基ク第二條及第三條修正ニ關スル八ヶ國委員會ト協同シテ條約案ヲ提出セシムルコトニ決定セリ

第三款 通商協約案及最終議定書案ノ成立

上記第一讀會討議ノ結果ハ前述ノ通り起草委員會及八ヶ國委員會ニ附託セラレタルカ右兩委員會ハ三月十九日ヨリ二十一日迄研究ヲ重ネタル後三月二十一日ニ至リ第一委員會ニ對シ C. P. A. E. C/Com. 1/33 ノ如キ案文ヲ提出シタルヲ以テ

同日午後三時半ヨリ翌日午前一時半迄二回ノ第一委員會第二讀會ヲ開キ右案文ニ基キ左ノ如キ審議經過ヲ經テ最終條約案ヲ確定セリ(右最終條約案ハ C. P. A. E. C/Com. 1/18 ノ通ニシテ右ハ其ノ第十三條ニ於テ二十二日ノ本會議ニ際シ變更アリタル外他ハ異議ナク可決セララルニ至リタルニ付右本會議變更ハ左記第一委員會第二讀會ノ審議經過中ニ併記スヘシ)

前文

右前文ハ第一讀會ノ原案タル C. P. A. E. C/Com. 1/5 ニ對シ單ニ條約前文タル形式ヲ整ヘタルモノナルカ尙英國代表ヨリ初メノ governments ハ條約ノ性質上不可ナリトテ C. P. A. E. C/Com. 1/38 ノ修正案提出アリ右ハ議論ナク可決シ即之ヲ削除スルコトナレリ次ニ伊太利代表ヨリ “to prevent the raising of the customs duties and the creation of fresh hindrances to trade” ナル字句ハ第一讀會ノ原案ニ無カリシノミナラス特ニ條約ノ目的ヲ制限スルニ及ハストテ之カ削除ヲ主張シ(C. P. A. E. C/Com. 1/38) 白佛之ニ贊シ削除ニ決定ス從テ英國代表ヨリ次ノ have ノ次ニ accordingly ヲ加フヘシト述ヘ右ニ決定右ニテ前文可決セラル

第一條

本條ハ本條約ノ骨子ニシテ第一讀會原案ト大體ニ同一ナリ即一九三一年四月一日前ニハ各國ハ現行通商條約ヲ廢棄セサルヲ約スルモノナルカ其ノ趣旨ハ後述ノ通り第二條ノ適用セラルル國特ニ協定稅率ヲ有スル國ノ通商條約ノ固定ヲ主タル目的トスルモノナリ本條ハ異議ナク可決セラル

本條附屬「プロトコール」

(A) 本項ハ通商條約ノ意義ニツキ第一讀會原案ヲ第一讀會討議ノ結果多少修正シタルモノナルカ右ハ尙用語不適當ナリトテ伊國修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/40)並ニ佛國修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/39(1))アリ伊國ハ佛國修正案アルニ付修正案ヲ撤回シ佛國修正案ハ異議ナク可決セラル

(B) 本項ハ特定有効期日ヲ定ムル通商條約ニ付誤解ヲ避クル爲設ケラレタルモノナリ伊國修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/40)アリ本項中ノ article VIII 及 article VII ノ誤ニ付修正可決セラル

(C) 本項ハ第一讀會ニ於テ所謂 Austrian difficulty 解決案ナルカ右ニ對シ伊國ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/40 及波蘭ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/36 ノ修正案アリ何レモ字句ノ問題ナルニ付修正案ハ可決セラル尙本項ニ關聯シテ芬蘭代表ヨリ同國ト「エストニア」通商條約改訂ニツキ同一ノ留保規定ヲ置キ度シトテ C. P. A. E. C/Com. 1/40 ノ修正案ヲ提出シタリ右ニ對シ「エストニア」ハ贊成シタルモ獨逸代表ハ右ノ留保ヲ許スニ於テハ留保増大シ本條約ノ批准ヲ獨逸議會ニ求ムルニ際シ困難ヲ感スルノミナラス現ニ獨逸カ條約改訂交渉中ノモノニ對シテモ何故留保セザリシヤトノ質問アルヘク右修正案ヲ承認シ得スト述ヘ結局芬蘭側ハ本國ニ訓令ヲ求ムルコトナリ一時撤回ニ決セリ

(D) 本項ハ前記第一讀會ニ於テ説明セルカ如ク(第十條ノ項參照)希臘代表ヨリ同國ノ通商條約中ニハ特種品目(煙草等)ニ付貿易上ノ特別保障アルニ付右保障ヲ無効タラシメサル爲メ此ノ事情ヲ認メテ條約廢棄ヲ容認シタルモノナルカ第二讀會ニ於テモ異議ナク可決セラル尤モ白國代表ノ申出ニ依リ四行目ノ its treaties 及 its commercial treaties トスルコト及佛國代表ノ申出ニ依リ英文ニナク佛文ニアル六行目ノ seriously ヲ削除スルコトトシ度シト申出アリタルモ其ノ必要モ無カルヘシトテ英文ニ加ヘテ原案通り可決セラレタリ

本項ニ關聯シテ佛國商相ハ元來第一條ハ通商條約ノ協定關稅事項ノ延長ヲ意味シ第一條附屬(A)ニハ通商條約ノ意味ヲ説明シ居ルモ右ハ單ニ協定關稅ニツキ説明シ居ルモノナルヲ以テ一般通商條約ニ規定スル關稅以外ノ事項例ヘハ右希臘ノ通商條約ノ如キ場合ニ條約ヲ廢棄スルトモ乃至通商條約締約國ノ一方カ條約ニ違反スル場合之ヲ破棄スルトモ何等第一條ニ抵觸セスト解ス右ハ誤解ヲ避クル爲記録ニ止メタシト述ヘ獨逸代表ヨリ右ハ第一條中ニ特別廢棄條項アル場合ニ限ルヘシト述ヘタルカ瑞西代表ハ本件ハ寧ろ通商條約違反ノ場合カ最モ大切ニシテ此ノ場合ト雖モ本件條約第一條ノ規定アル以上破棄シ得ストテ佛國ノ解釋ニ反對シタリ佛國代表トシテハ此ノ困難ナル問題ヲ茲ニ討議スル

意思ナク本件ヲ未解決ニ放任シ置クモ一ケ年(批准ノ時ヨリ云ヘハ五ケ月)ノ間ノ條約ニ過キサル故差支ナカランモ問題ハ依然トシテ殘ルヲ以テ第二委員會經濟協調「プログラム」ニ於テ佛國カ主張スルカ如キ經濟仲裁機關ヲ設立シテ本條約ノ規定ニ隱レテ二ヶ國間通商條約ニ違反スルモノニ對スル對策ヲ研究セシムヘシト述ヘタルカ結局佛國ノ解釋ニ對シテハ決定セス單ニ聯盟經濟機關ヲシテ研究セシムルコトヲ勸告スルニ決セリ

第二條

本條ハ所謂協定稅率國(即保護關稅主義國)カ關稅ヲ引上ケ又ハ新ニ徵收セントスル場合ニ對スル保障條項ニシテ本條約ノ中心ヲ爲スモノナルカ第一讀會ニ於テ說明セルカ如ク本條約廢棄ノ當事國ニ付議論アリタル結果關稅增徴國及全締約國ノミニ對シ廢棄シ得ルコトトシ何等關係ナキ他ノ一部ノ締約國ニ對スル廢棄ハ認メサルコトセルモノナリ而シテ本條第三項ハ前記第一讀會ニ於ケル第六條討議ニ際シ(即例外品目討議)同條削除方法考究ノ結果八ヶ國委員會ノ努力ニヨリ挿入セラレタルモノニシテ所謂 *loi de cadenas* 乃至國家經濟緊急ノ必要ヨリ例外品目ヲ要求セルニ順ミ之ヲ一般的ニ「カバール」スル條項ナリ

右ニ關シ丁抹代表ヨリ同國ハ第四條及第五條ノ適用ヲ受クル國ナルカ之カ適用ヲ受クル國ニ對シテモ特ニ緊急ノ場合ニハ關稅變更ヲ爲シ得ルカ如キ(即本第三項ノ如キ)規定ヲ設ケラレ度キ旨ヲ述ヘタルカ佛國代表ハ本條約ハ第二條適用國ト第四條適用國トノ間ニハ常ニ均衡ヲ考慮シ居リ前者ハ第一條及第二條ノ犧牲ヲ爲シタルニ對シ後者ハ第四條及第五條ノ犧牲ヲ爲シタルモノニシテ今更後者ニ右犧牲ヲ輕減スル便宜ヲ與フルヲ得スト主張シ結局原案維持ニ決定セリ次テ瑞典代表ハ目下同國議會ニ於テ農產物ニ對スル關稅改訂ヲ審議中ナルカ同國關稅ハ一九一〇年以來改訂シタルコトナク今日ノ改訂ハ二十年ヲ經過セル經濟事情ニ適應セントスルモノナル故本條ノ例外トシテ右改訂ニヨル關稅ノ增徴ヲ認メラレンコトヲ主張シタルカ瑞西、獨逸等ハ第二條ノ規定ノ範圍ニ於テ爲スヘク例外ヲ許ス能ハスト主張シ結局右ニ關シ採決ヲ採リタル結果瑞典ノ主張ハ否定セラレタリ故ニ同國代表ハ目下同國議會ニ於ケル關稅審議ノ結果關稅增徴ヲ

來ストモ其ノ態度ハ本條約ニ調印批准ノ結果何等變更セストノ宣言ヲ爲シ右本委員會提示ノ報告中ニ記錄スルコトトナレリ

第二條「プロトコール」

(A) 本項ハ佛國、洪牙利等ノ要求ニ基キ挿入セララルルニ至リタルモノナルコト第一讀會說明(第二段)ノ通りナルカ右ニ關シ括弧内ヲ生カスヤ否ヤニツキテハ敢テ三月十二日ヲ維持スル必要ナシトテ March 12th, 1930. ヲ削除シ括弧内ヲ生カスコトナレリ尙本項第二項ハ「タイプ」上ノ誤ナル故(B)項トス

(B) 右(B)項ニ關シテハ第一讀會ヨリ議論アリタルハ前述ノ通りナルカ獨逸側ヨリ第三國ノ破棄ニ依リ必シモ *non conventional tariff* トナサル場合アリ即第三國ノ破棄ニ依リ其ノ協定無クナルトモ締約國間ニ同一品目ニツキ尙協定稅率アル場合アリ得ルヲ以テ(同國ノ「オリーブ」ニ對スル對伊、對西班牙協定ヲ例示セリ但シ西班牙ヲ第三國トス)第一讀會ニ於ケル原案可ナリト述ヘタルカ英伊兩國ヨリ右ヲ認ムルニ於テハ關稅ヲ上クル虞アリト述ヘ結局白國代表ヨリノ折衷案ヲ提出シ「第三國廢棄ノ場合ハ自由關稅(國定稅率)又ハ右以外ノ國トノ協定稅率ノ何レカニ依ル」トノ案文ニ改ムルコトトシテ獨逸ノ要求認メラレタリ

(C) 第二條及第五條ニ關スル「プロトコール」

本項ハ前記第二條第三項ノ趣旨即例外品目ニ關スル自由及第五條ノ財政關稅增徴ノ自由ヲ無制限タラシメサルカ爲設ケラレタルモノニシテ異議ナク可決セラル(第一讀會ニ於テ原案第六條ヲ削除ニ決セルヨリ八ヶ國委員會ノ加ヘタルモノナリ)

第三條(豫告期間ノ設定條項)

本條第二項ノ修正モ前記第二條第三項ノ修正ト同シク第一讀會原案第六條ノ例外品目ヲ削除スル必要ヨリ修正セラレタルモノニシテ元來本條ハ協定稅率國カ關稅增徴ヲ爲ス場合一定ノ豫告期間ヲ定メタルモノナルカ右例外品目ニ對スル關

税増徴ノ場合ニ適合セシムル爲メ第二項ノ例外規定トナリタルモノナリ

本條第一項後段ニ關シ佛國側ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/39 ノ修正案提示アリ右止ムヲ得サルモノトシテ承認ス

第三條附屬「プロトコール」

(A) 本項ハ何等異議ナク其ノ儘可決

(B) 本項ニ關シテハ伊國代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/40 修正案ノ通不必要ナルノミナラス強ヒテ義務的トスルノ必要ナシトテ削除ヲ主張シ聯盟事務局側ニテモ各國關稅一々變更ヲ通知セラルルヲ要セスト述ヘタル爲本項ハ削除ニ決定セリ

第四條

本條ハ所謂自由主義關稅國(乃至ハ非協定稅率主義國)カ其ノ保護關稅ヲ増徴セサルコトヲ規定シタルモノニシテ本條ニ關シテハ葡萄牙代表ヨリ同國ノ特殊の立場ニ基キ一定ノ例外ヲ認メラレ度シトテ C. P. A. E. C/Com. 1/39 ノ如キ修正案ヲ提出セリ同國ハ第一讀會ニ於ケル説明ニ見ルカ如ク諾威トノ關係モ考慮シ *codish* ノ如キモ例外ニ加ヘス例外品目ヲ縮少セルニ付右例外ノミハ認メラレ度キ旨ヲ主張シタルカ和蘭、佛國ノ反對アリ採決ノ結果モ亦否決セラレタリ

尙本條ニ關シテハ英國代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/30 ノ如キ宣言アリタリ(即本法ハ Key industry ニ關スル關稅法ノ適用ヲ阻害セスト認ムルノ意ナリ)

第四條附屬「プロトコール」

第四條ノ適用ヲ受クル國ハ英、蘭、諾、丁、葡ナルコトニ變更ナシ

第五條

本條ハ第四條適用國ノ財政關稅増徴ニ對スル制限ヲ置キタルモノナルカ英國カ近キ將來ニ於テハ「マツケナ」關稅増徴

ノ意ナキコト煙草、石油ニ付テモ出來得ル限り増徴セサル意ナルコトヲ表明セルハ第一委員會及總會ニ於ケル一般討議ニ表明セル處ナルカ所謂財政關稅ハ國家豫算ノ關スル處ナルニ顧ミ本條ノ規定ヲ見タルモノニシテ一般ニ財政關稅ノ引上ハ各國トモ相當事情止ムヲ得スト認メ居ルカ如シ

本條ニ關シテハ別段ノ異議ヲ見ス

本條附屬「プロトコール」(A)ニ就テモ異議ヲ見ス

第五條(本會議ニ於テ第六條トナレシ)

第五條ノ討議ニ際シ瑞西代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/34 ノ修正案提出アリ即瑞西政府ニ於テハ本條約ノ效力ヲ充分ナラシムル爲ニハ輸出入禁止制限撤廢ニ對シ重要性ヲ置クヲ以テ右ハ第△條トナシ得ル様ニシ第十條ノ伊太利提案ニ基ク第二項(第一讀會第十條討議參照)ヲ削除スヘシト述ヘ右ハ異議ナク可決セラレタリ

右承認ニ際シ「チッコ、スロヴァキア」代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/37 ノ修正案ヲ提出シ一九二九年十二月二十日ノ日附ハ之ヲ署名ノ日ト爲スヘシト述ヘ右ハ他ノ各條ノ效力發生カ署名ノ日ヲ起算トスルノミナラス今日迄同國ハ小麦及小麦粉ニツキ多少法律ニ基キ輸出入禁止制限ノ取扱ヲ變更シ居ルニ右ノ場合ヲ包含スル上ニ於テ必要ナリト述ヘ各國相當異議アリタルモ佛國代表ヨリ賛成シテ可然ト述ヘ結局同日附ヲ *to-date's date* トスルニ決シタリ

第六條

一般締約國ノ本條約廢棄條項ニシテ異議ナク可決セラル

本會議ニ於テ本條ハ第七條トナレルモノナリ

第七條(本會議ニ於テハ線下ノ結果第八條トナル)

本條ハ三月十二日(前記佛國修正案提出ノ日)現行通商條約ニ對シ變更ヲ加フルモノニ對シ之カ制限規定ヲ置カントスルモノナルカ右ニ對シテハ伊國代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/40 ノ修正案ヲ提出シ意義ヲ明瞭ナラシメ度シト主張

シタルカ和蘭代表側ヨリ元來第二項ノ and specially of those referred to in article IV ナル字句ハ第四條適用ヲ受クル
 國カ第二條ノ適用ヲ受クル國トノ犧牲平衡ノ爲同國カ挿入ヲ主張シタルモノナルモ別ニ存置セサルモ差支ナシト述ヘタル
 カ「ラトビア」代表ハ之ヲ存置スヘシト述ヘ結局原案通リトナレリ尤モ第二條附屬「プロトコール」A 及第△條説
 明ノ通本條中ニアル三月十二日ナル文字ハ右ト歩ヲ一ニシテ總テ this day's date ニ改ムルコトニ決定ス

第七條附屬「プロトコール」

本條ハ通商條約更改ノ場合當然起ルヘキ現象ヲ承認シタルモノニシテ別段異存ナク其ノ儘承認セラル

第八條（本會議ニ於テ第九條トナレリ）

本條ハ原案第九條ノ前段ヲ其ノ儘字句變更ノ上採用セルモノニシテ本條約ノ有効期間ヲ規定スルモノナルカ別段異議ナ
 ク可決セラル

第九條（本會議ニ於テ第十條トナル）

本條ハ締約國ノ一國カ本條約ヨリ一定期間ヲ經テ脫退スル場合ノ善後策ヲ規定セルモノニシテ前記第一讀會ニ於テ原案
 第九條討議ニ付議論アリタル處ナリ伊國代表ハ本條ニ關シ再ヒ C. P. A. E. C/Com. 1/24 ノ修正案ノ趣旨ヲ主張シ元
 來本條約ハ暫行的ノモノニシテ十八ヶ月以上效力ノ繼續ヲ「コミット」シ能ハサルニ付右修正案ノ趣旨ヲ再ヒ主張セサ
 ルヲ得スト述ヘタルモ佛國代表ヨリ元來第八條ト第九條トヲ區別スルハ不可ナルカ何レニスルモ暗黙ニ效力繼續スルヲ
 多少認ムルコトモ又差支ナカルヘシト述ヘ伊國修正案否決セラレタリ

第十條（本會議ニ於テ第十一條トナル）

本條ハ第一讀會原案第十條ヲ字句修正ノ上大體採用シタルモノナルカ元來英國商相カ條約ハ可成嚴格ニスヘシトノ主張
 ニ依リ規定セラルルニ至レル所謂 gentlemen's agreement ナリ（第一讀會前述ノ點參照）別ニ異議ナク可決セラル第十
 條第二項ハ前記第△條トナレル結果削除トナル

第十一條（本會議ニ於テ第十二條トナル）

本條ハ第一讀會原案 C. P. A. E. C/Com. 1/9 A ノ批准規定ヲ大體其ノ儘採用セルモノナルカ和蘭代表側ヨリ正文カ
 英佛兩國語ナル以上其ノ他ノ諸國ニ於テハ多少譯文作成ニ注意ヲ要スルヲ以テ正文ノ送付ヲ爲サレ度キ旨ヲ述ヘタルノ
 ミニテ原案可決セラル尤モ第十二條ノ討議ノ結果批准寄託期日ヲ本條約中ニ規定スルコトニナレルハ後述ノ通ナリ

第十二條（本會議ニ於テ第十三條トナル）

本條ハ效力發生ニ關シ第一讀會ノ決定通り十一月一日迄ニ批准スヘキコトヲ定メ且ツ本條約ヲ有效ナラシムル爲ニハ中
 歐諸國並特別有力ナル經濟國、埃、「チエッコ、スロヴァキア」、佛、獨、英、洪、伊、蘭、波蘭、羅馬尼、瑞西、「ユーゴース
 ラビヤ」ノ十二ヶ國ノ參加ヲ不可缺ノモノト認メ以上十二ヶ國（又ハ其レ以上）カ調印スルコトニ本條約ノ效力發生ヲ
 係ラシメ然ル後調印國全部ノ批准寄託ニ依リ又ハ調印國一部ノ批准寄託ノ場合ハ其ノ寄託國ノ協議ニ依リ效力ヲ發生ス
 ルコトヲ定メ右ノ諸條件完成セサル場合ノ善後措置ヲ規定セルモノナリ

本條ノ第二項ニ關シテハ瑞典側ヨリ第十一條第二項ト同一規定ナル故不要ナリト述ヘタルモ「ラトビア」代表ヨリ削除
 ノ場合ハ意味不明トナス虞アリト述ヘタルカ然ラハ第十一條中ニ十一月一日迄ニ批准寄託ヲ爲スヘキコトヲ併記スヘシ
 トノコトニテ右ニ決定ス

本條(3)ニ對シ伊國代表ヨリ C. P. A. E. C/Com. 1/40. ノ如キ修正案ヲ提出シ今回ノ會議參加國全部ノ署名ニ依リ効
 カヲ發スル様改ムヘシト述ヘタルカ英國代表之ニ反對シ此ノ如キハ奇蹟ニ屬スト述ヘ伊國修正案撤回セラルルニ至リタ
 リ尤モ各國何レモ其ノ特定國ノ署名スルヤ否ヤヲ心中期待シ居ルヲ以テ本會議ノ終リ條約案成立ノ際ニ署名ニ關スル各
 國代表ノ意思ヲ表示セシメ其ノ結果ニ依リ效力ノ發生條項ヲ決定スルコト可然ト事務局側ヨリ注意アリ右ニ決定セリ右
 ニ關シ佛國代表ヨリ本條(3)ノ署名國名ヲ具體的ニ舉ケ居ル處白國ヲ舉ケ居ラサル故右國名ヲ再考シ可然ト述ヘ波蘭代表
 ハ「ラトビア」諸威ヲ、「ラトビア」代表ヨリ芬蘭「エストニア」「リツアニア」ヲ加フヘシト述ヘ結局本會議ニ於テ決ス

ルコトナレリ

次に英國代表ヨリ本條約ハ第十回聯盟總會ノ決議ニモ見ルカ如ク將來ノ經濟協調「階段」ナルヘキモノナルヲ以テ本條第三項ノ初ニ「第二委員會作成ノ經濟協調「プログラム」」モ等シク前記十二ヶ國ニヨリ署名セラルルニ於テハ「ト」ノ一句ヲ加ヘ條約案ト議定書トヲ不可分ノモノタラシムル修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/38)ヲ提出セリ右ニ對シ英國代表ハ右議定書ノ署名ヲ條約中ニ掲クルトモ法理上批准ニ依リ效力ヲ發スル條約ト署名ニ依リ效力ヲ發スル議定書ノ性質ニ何等差異ヲ與ヘサルニ付右修正案ヲ認メテ經濟協調ノ一體ト致シ度シト説明セルモ右修正案ヲ認ムルニ於テハ議會ニ批准ヲ求ムル場合議定書ヲモ提出スルヲ要スルノ困難アリトテ獨逸、諸威、佛國、波蘭、伊國等反對シ殊ニ二者ヲ合セストモ經濟協調トシテ兩者併行シ行キ得ルモノナリ從テ final act ニ記載スルニテ足レリト述ヘ結局聯盟法律部ニ研究セシムルコトセリ

本條ハ右ノ如ク具體的ノ決定ヲ見サリシヲ以テ聯盟法律部ハ本件本會議ニ對シ C. P. A. E. C/Com. 1/18 第十三條ノ如キ條項ヲ提出シタリ右ニ對シテハ三月二十二日ノ本會議ニ就テ佛國代表ヨリ前記國名再考ノ主張モナリ旁々同條ヲ削除シ左ノ代案ヲ爲セリ

Le Secrétaire général de la Société des Nations convoquera, entre le 1er et le 15 novembre 1930, une réunion des Etats qui auront signé la Convention avant le 1er novembre 1930, conformément aux dispositions de l'Article XIV.

Au cours de cette réunion sera fixée la date pour la mise en vigueur de la Convention, et, s'il y a lieu, seront mentionnés les Etats dont la ratification ou l'adhésion sera considérée préalablement comme nécessaire à la mise en vigueur de la Convention.

Si l'un quelconque des Etats signataires fait part, avant le 5 novembre 1930 au Secrétaire général de la Société des Nations de son désir de voir les autres Etats ayant participé à la Conférence qui a établi la présente Convention, ou certains d'entre eux, assister également à la réunion en question, le Secrétaire général adressera à ces derniers Etats une invitation à cet effet.

右ニ對シテハ伊太利及瑞西ノ贊成アリタルカ一應小委員會ニ附託シ小委員會側ヨリ左ノ如キ提案アリ右ヲ第十三條トシテ承認スルニ至レリ

Article XIII.

(adopté)

Le Secrétaire général de la Société des Nations convoquera entre le premier et le 15 novembre 1930 une réunion des Etats qui auront ratifié la Convention et de ceux qui auraient introduit une demande d'adhésion conformément aux dispositions de l'Article XIV.

Au cours de cette réunion, sera fixée la date de la mise en vigueur de la Convention et, s'il y a lieu, sera établie la liste des Etats dont l'adhésion serait considérée comme nécessaire à la mise en vigueur de ladite Convention.

Le Secrétaire général de la Société des Nations pourra convoquer à cette réunion tous les Etats signataires de la présente Convention et, sur la demande d'un des Etats ayant ratifié la dite Convention, tout autre Etat ayant participé à la présente Conférence.

第十三條 (本會議ニ於テ第十四條トナレリ)

本條ハ第一讀會原案C加入條項ヲ採用シタルモノニシテ加入セントスルモノハ本條約第二條ノ適用ヲ受クヘキヤ或ハ第四條ノ適用ヲ受クヘキヤヲ申出ツルヲ要スルコト勿論ナリ加入ハ本條約ノ適用ヲ受クル國ノ全部ノ同意ヲ要シ同意後一ヶ月ヲ經テ加入スルコトナル次第ナリ

本條ニ關シテハ別段ノ異議ナク可決セラル

第十四條 (本會議ニ於テ第十五條トナル)

本條ハ植民地ニ關スル適用ヲ規定セルモノナルカ右ニ對シテハ伊國修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/40)及佛國修正案(C. P. A. E. C/Com. 1/39)アリタル處伊國ハ佛國修正案可ナリトテ自國修正案ヲ撤回シタリ然ルニ佛國修正案ニ對シ

テハ英國代表ヨリ元來本條項タル植民地條項ハ從來ヨリ屢々問題トナレルカ故ニ注意シテ起草セラレ令ヤ斯ル場合ニ於ケル常套の條項トナリ居リ植民地ヲ有スル國ニ對シテ署名ヲ便利ナラシムル目的トナリ居ル處右佛國修正案ヲ認ムルニ於テハ一應各植民地ニ對シ本條約ノ制限ヲ受クヘキヤ否ヤニ付問合セラ爲ササルヲ得ヌ到底兩三月中ニ英國ハ署名スル能ハスト述ヘタリ右ニ對シテハ獨逸、伊國、及佛國代表側ヨリ通商條約規定中ノ植民地ニ關スル效力ヲ除外スルカ如キハ到底承認スル能ハス修正困難ナルニ於テハ本條ヲ削除スルモ一案ナリト述ヘ英國代表ヨリハ勿論通商條約締約國ト云フ締約國ノ意義ノ内ニハ植民地ヲ包含シ居ル故削除セス原案ニテ差支ナカルヘシト述ヘ結局佛伊側ニテ折レ佛國ハ修正案ヲ撤回シ原案通りトナレリ尤モ此ノ點ニ關シ佛伊ハ條約署名ニ際シ各々宣言ヲ爲ス處アリタリ

尙本條ノ「プロトコール」トシテ英國カ第一委員會第三分科會ニ提出セル案文ヲ承認セリ(第三分科會第十八條末段參照)特別議定書

本議定書ハ第一讀會案ト異ナリ特ニ(3)項ニ於テハ本條約署名ヨリ批准ニ至ル迄ノ間ニ於ケル行政手段ニシテ本條約ノ規定ニ反スルカ如キコトヲ實施セサルヘキヲ署名國間ニ約スルモノアル處元來本議定書ハ起草委員會ニ於テ議論アリタル處ニシテ批准ヲ十一月一日トセルコトノ關係上規定セラルルニ至リタルモノナリ而シテ第二讀會ニ於テハ英國提案 C. P. A. E. C/Com. 1/38 ノ修正ヲ加ヘ本議定書ヲ承認セントスルニ至リタルカ佛國代表ヨリ(3)項ノ規定ハ第十條ニ於テ既ニ述ヘ居リ之レ以上他國ノ態度ヲ不安ト考フルカ如キ條項ヲ必要トセスト述ヘ議論分レタリ結局採決ノ結果右議定書全文削除ニ決シタリ

Final Act ノ作成

本條約草案右ニテ決定審議終了セルヲ以テ三月二十一日ノ第一委員會ハ引續キ佛國ノ提案タル C. P. A. E. C/Com. 1/39 (8)ノ如キ追加ヲ審議スルコトトナリタルカ佛國代表ヨリ右提案ハ本條約中ニ挿入スル必要ナキモ之ハ別個ノ final act トシテ本條約ト將來經濟協調ニ關スル「プログラム」議定書トノ關係ヲ密接ニシ以テ全般的ニ國際貿易ノ障害ヲ除去ス

ルコトト致度シト述ヘ可決セラレタリ

而シテ右 final act 中ニハ右ノ外第二委員會關係ニ於テ伊國ノ提出セル海外諸國トノ貿易關係考慮ニ關スル勸告(C. P. A. E. C/Com. 1/13)モ加ヘ且前記第十二條討議ニ際シ英國側ノ提案タル本條約ト經濟協調「プログラム」議定書トノ關係モ一言スルコトニ決シタリ

以上述フル處ニヨリ第一委員會第二讀會事業ハ終了シタルヲ以テ以上各種ノ修正ヲ行ヒ且法理的ニ整理スル爲報告者 Jan senhove ノ外佛國代表「アナル」英國代表「シセツクル」ノ三氏ヲシテ聯盟事務局法律部ノ助力ノ下ニ本會議ニ提出スヘキ條約案竝ニ final act ヲ作成セシムルコトニ決定シタルカ右ノ結果トシテ三月二十二日本會議ニ對シ第一委員會ハ條約案ニ付テハ C. P. A. E. C/Com. 1/18 ヲ final act ニ付テハ C. P. A. E. C/Com. 1/17 ヲ提出シテ其ノ事業ヲ終レリ而シテ三月二十二日本會議ニ於テ條約案及 final act ニツキテ修正ヲ行ヒタルモ條約案ハ之ヲ commercial convention ト呼フコトニ決定シ且十三條ニツキ別ニ述ヘタルカ如キ修正アリ又 final act ニ關シテハ C. P. A. E. C/Com. 1/17 ノD項ヲ削除シ(瑞西ノ提案)前文ニ多少ノ字句上ノ修正ヲ行ヒテ可決茲ニ通商協約成立スルニ至レリ

尙第一委員會終了ニ先チ「エストニア」代表ヨリハ第一讀會原案タル第六條(例外品目)ノ削除ニ贊スルモ同國ハ目下農作物ニ對スル不況ノ爲ニ之カ對策トシテ關稅引上方面下考慮中ナルニ顧ミ本條約ニ署名スルモ右品目ニ付テハ關稅引上ヲ爲ス場合アルヘク誤解ヲ避クル爲メ右同國ノ立場ヲ明ニシ記錄ニ止ムヘシト宣言ヲ行ヒタリ(三月二十四日署名ニ際シテモ同様ノ宣言ヲ爲シタリ)

又獨逸代表ハ C. P. A. E. C/Com. 1/35 ノ通告ヲ爲セリ

更ニ洪牙利ハ三月二十二日政府ノ訓令ナリト前記第一條附屬國及「チッコ、スロヴァキア」通商條約ニ關スル「プロトコール」ノ關係上署名ヲ行ハスト宣言セリ西班牙代表モ二十二日同國現在ノ經濟事情ニ顧ミ署名スル能ハスト述ヘタリ以上ニテ第一委員會ハ終了セリ

第四款 經濟委員會作成ニ係ル關稅引上休止條約案審議要領

第一委員會カ本件會議ノ初頭ニ於テ經濟委員會作成ノ關稅引上休止條約案 (C-519, M-17-1929, V) ニツキ審議ヲ開始シタルハ第一委員會議事經過中ニ説明シ置キタル處ナルカ右第一委員會各分科會討議經過ヲ示セハ左ノ如シ右原案ハ第一委員會ノ討議ニ於テ説明セルカ如ク結局佛國新提案ノ提出ニ依リ採用セラレス放棄セラルルニ至リタリト雖モ當原案ニ示ス各條ノ規定ハ新條約ノ成立ノ基礎ヲ爲スニ至レルハ既ニ説明セル如シ

左ニ前記第一委員會ノ附託ヲ受ケタル各分科會審議ノ模様ヲ示スヘシ

第一項 第一分科會議事經過

本分科會ハ議長ヲ蘭國代表 H. Colijn 報告者 Langelove ナルカ議事經過ヲ示セハ左ノ如シ (本分科會ハ二月二十四日ヨリ審議ヲ開始シ審議事項ハ前述ノ如ク關稅休戰關係條項ナリ)

第一條ニ關シテハ

一、本條審議ニ於テハ關稅引上休止ノ基礎タルヘキ標準期日ニ付議論アリ瑞西、諾威、丁抹、白耳義、波蘭及英國等ハ本件會議開催提議ノ決定セル一九二九年十月一日ヲ主張シ獨逸、佛國及伊國等ハ同日後關稅引上アリタル關係上本件會議ノ開會日タル本年二月十七日ヲ主張シ特ニ伊太利ハ二月十七日後トシ會議ノ經過ニ從ヒテ後ニ適當ナル期日ヲ定ムヘシト主張シタルモ討議ノ結果一應討議ノ基礎トシテ十月一日ヲ暫定的ニ定ムルコト、ナレリ

二、第一條ノ products of the other contracting party ノ產品ノ意義ニ付和蘭代表ヨリ其ノ原産ノ程度ニツキ明ニスルヲ要スト述ヘ結局起草委員會ニテ決定スルコトナル又第一條及第二條ノ accessory charges ノ意義ニツキ「チラコ、スロヴァキア」及和蘭等代表ヨリ明白ニ研究スルヲ要スト述ヘ第三條及第四條ノ討議ノ時ニ譲ルコト、ナレリ

三、獨逸代表ヨリ關稅ノ意義ニツキ質問シ右ハ國定稅率ヲ指シヤ協定稅率ヲ指シヤ又優稅制度ノ國ニテハ何レヲ指シヤ問

題ナリト述ヘ右ハ十月一日實施セラレ居リシ事實ニ依ル稅率ヲ指スト論セラレタリ

第二條

二十四日「チッコ、スロヴァキア」代表ヨリ輸出管理ニ於ケル licence 制度ヲ採ルモノハ本條約ノ結果放棄スルヲ要スルヤ否ヤ又加奈陀ノ如キ聯邦組織ノ國ニ於テ組織分子タル州カ輸出品ニ課稅シ居ルモノアル處右ハ其ノ課稅權ヲ制限セラ、ヤ否ヤトノ質問アリ何レモ起草委員會ニ附託ス

第三條

二十五日「ラトビア」代表ヨリ本條ノ適用ヲ受クヘキ稅種ハ之ヲ「プロトコール」ニ於テ明記スルヲ要スト述ヘ帝國代表吉田ヨリハ特定内國品ニ課稅スル場合同様ノ外國輸入品ニ對シ本條ニ抵觸セスシテ同一額ノ課稅ヲ爲シ得ルヤヲ質問シ又白國ヨリハ第三條末ニ on the same condition ナル字句ヲ附加スヘシト主張シ蘭國代表ヨリハ「バナナ」ノ生産ハ國內ニ無ク然モ果物稅アル場合輸入「バナナ」ニ課稅シ得ルヤ又外國ヨリノ輸入郵便物ニ對シ課稅ヲナストキ内國ニハ輸入課稅物トシテ課スルモノナキトキモ課稅シ得ルヤ等質問シ諾威、丁抹等ヨリハ輸入ノ場合ニハ輸入手續輸出ノ場合ト異ルヲ以テ cost of service ヲ基準スル課稅ハ時ニ應シ高クナラサルヲ得ス、例ヘハ Boat charge statistical duty ノ如キ之ナリ右ハ許サルヘキヤ等ノ主張アリ殊ニ獨逸ハ第三條ハ tax 即輸入稅ニ限リ due ニハ自由ニ課稅得ル様スヘク due ノ内ニ賣上稅統計稅等ヲ包含セシムヘシト述ヘタルヲ以テ議長ヨリ以上第一條乃至第四條ニ關シ以上ノ諸點ヲ考慮シテ案文ヲ作成セシムルコトノ爲メニ白國代表 Janssen ヲ議長トシ佛國代表 Leenyer ヲ報告者トスル小委員會ヲ作り審議セシムルコトニ決定シ右小委員會ハ二月二十六日ヨリ二十八日迄討議ヲ重ネ C. P. A. E. C/1st Com. A/1 ヲ本分科會ニ提出セリ右ハ第一分科會ノ終リニ審議スルコト、ナレリ

第八條

本條ノ財政關稅ト保護關稅トノ區別ニ關シテハ二月二十五日、二十六日ノ兩日ニ互リ討議ヲ續ケタルカ兩者ヲ區別シ本

條ノ存置論者トシテ先ツ英國代表ハ本件關稅引上休止會議ノ目的ハ各國ノ保護主義ニ基ク關稅引上休止ヲ目的トシ大藏大臣ノ主管タル財政收入ニ對シ之ニ障害ヲ與フルカ如キ試ミハ不當ナリ內國ニ全然生産ナキ品物ニ對シ輸入稅ヲ課スル場合ハ財政關稅タルモノニシテ何等內國品ノ保護トナラス英國ニ生産ナクシテ同國ノ課スル「コーヒ」・「コ、ア」・乾果物、煙草及砂糖等ニ對スル關稅ハ財政關稅ナリ又英國ニ産スルモ全然收入ヲ目的トシ輸入品同様に內國品ニモ課スル場合ハ財政關稅ナリ例ヘハ英國ノ「ビール」・「ウイスキー」及「ワイン」等ノ課稅ハ之ナリ右ニ對シテハ兩關稅ヲ區別スルヲ要ス勿論英國ハ保護關稅引上休止ニ賛成ナルヲ以テ絹關稅 Key Industries ニ對スル關稅引上休止ニ異議ナク引上ノ意思ナキモ前記財政關稅ノ關稅限リ假令二三年ト雖モ關稅ノ固定ニヨリ財政收入ノ基礎ヲ制限シ大藏大臣ノ自由ヲ制限シ能ハス殊ニ英國ノ財政關稅ニヨリ收入ハ年八百萬磅ニ達シ居ルヲ以テ租稅原理トシテ貨物ニ對スル租稅ヲ認ムル以上財政關稅ト保護關稅トヲ區別シ後者ノミ本件會議ノ目的トセサルヘカラスト述ヘ丁抹代表モ兩者ヲ區別シ爭議アルトキハ仲裁々判ニ依ルヘク本件會議カ一國ノ財政收入ヲ拘束スルハ不當ナリト述ヘ諸威代表モ財政關稅ハ貿易ヲ阻害セス右ヲ保護關稅ト區別スルハ利益多ク財政ニ關スル各國議會ノ協賛權ヲ制限スルハ穩當ナラスト賛シタルモ洪牙利、瑞西、佛國、「リツアニア」、和蘭及波蘭等ハ保護關稅ト財政關稅トノ區別ノ到底不能ナルコト內國ニ生産ナキ貨物ニ對スル財政關稅ト雖モ代用品其ノ他ヲ保護スルモノナルコト殊ニ「ワイン」ニ對スル財政關稅ハ保護關稅トナル處アルコト兩者ノ區別ヲ爲サストモ原案第十一條ノ例外ヲ多クスルコトニ依リ差シタル困難ナカルヘキコト又協定稅率ヲ有スルコト多キ國ニ於テハ關稅引上ヲ爲シ得サルニ不拘之カ少キ國ニ於テハ財政關稅ノ名義ニヨリ引上ヲ爲ス自由アルニ至ルコト關稅引上休止ノ意義ハ財政關稅タルト保護關稅タルトヲ問ハス兎ニ角關稅引上ヲ休止スルモノタルヘキコト等ノ理由ヲ述ヘ蘭國ノ如キハ財政關稅ノ引上ハ航海ヲ害スルニ至ルコト和蘭ノ如キハ財政關稅ヲ許ストキハ第十一條ノ例外ヲモ要セス現在同國ノ總テノ關稅ハ財政關稅ノ内ニ入ルニ至ルコト等ノ理由ヲ述ヘ自由ニ生産ナキモノ即原料ニ對スル關稅ヲ財政關稅ナリトノ理由ニヨリ反對ニ低下シ之ニ基ク生産品ニ對スル課稅ヲ同一トシ置ク時ハ外國生産品ノ貿易ニ影響ヲ

與フルコト等ノ理由迄極言シテ兩關稅ノ區別ニ反對シタルヲ以テ議長及報告者並英國、佛國、諸威及瑞西ノ代表ヨリ成ル分科會ヲ作成シテ妥協案ヲ作成スルコトヲ提議シ右ニ決定セリ

第九條（及第十一條）

第九條ニ關シテハ二月二十六日ノ會議ニ於テ獨逸代表ヨリ emergency ノ關稅ヲ課スル場合ニ於テモ差別待遇ヲ爲スヲ得ストナスカ如キ一項ヲ附加スルヲ要スト述ヘ別添 C. P. A. E. C/Com. 1/1 ノ修正案ヲ提出シタリ二十七日ノ討議ニ於テ右修正案討議ニ先テ議長ヨリ本件會議ノ最モ困難ナル點ハ休戰條約案第十一條ノ例外品目ノ點ナルニ付各國代表ハ右例外ヲ二十八日中迄ニ提出セラレ度キ旨申出アリタルモ右ニ對シ佛國代表「セリウス」ハ佛國ハ現實問題トシテ關稅引上休止ノ原則ヲ認ムル能ハス目下世界ノ經濟事情ハ客年第十回聯盟總會ノ時ニ比シ法律上事實上ノ事態著シク異ルモノアリ米國ノ金融恐慌ハ歐洲ニ影響シ其ノ購買力ヲ減少セシメ生産過剩ヲ來シ他方佛國ニ於テハ小麥及葡萄栽培農業ノ不況ヲ來スアリ旁之等ノ事情ヲ考慮スルトキハ少クとも國內經濟ニ關心ヲ有スル者ハ如何ナル內閣成立スルトモ（當時 Tardieu 內閣一時瓦解セル時ナリ）現行關稅ヲ假令二年間ト雖モ固定セシムルコトヲ欲セス從テ第九條及第十條ハ之ヲ關稅引上休止ノ一部トセス關稅ニ關スル國際保障方法トシテ討議スルヲ要ス此ノ見地ヨリスレハ締約後直ニ經濟事情ニ適應セサル處アル第十一條ノ例外ヲ特定のニ提出スル能ハス關稅引上休止ヲ適當ナル方法ナリト認ムル能ハス然リト雖モ他方ニ於テ一九二七年來一國ノ關稅ハ他國ニ影響スルモノナルコトハ常ニ認メラレタル處ナルカ故ニ關稅引上休止ノ外ニ何等カ經濟協調方法ヲ發見セサルヘカラス佛國ハ此ノ點ニ關シ國際保障ヲ高調セント欲ス今日歐洲諸國間ニ協定稅率多シト雖モ其ノ協定稅率品目中ニ新關稅品目ヲ設定スルコトニ依リ或ハ協定セサル部門ノ關稅引上ニヨリ關稅戰爭繼續セラル之ノ不安定ニ對スル國際保障方法ヲ考慮セサルヘカサル處一九二八年白佛關稅條約ハ兩國輸出入貿易ノ全品目ニ互リ全關稅ヲ協定スルノ困難ヲ認メ協定稅率ノ設定ナキ部分ニ對シテハ兩國カ自由ノ手段ヲ執リ得ルモ之ヲ變更セントスル場合ハ他方ニ對シテ商議ヲ開始シ協議成立セサル場合ハ之ヲ破棄シ得ルコト、シ同規定ハ兩國間ニ有效ニ行ハレ

居ルカ右ハ一種ノ安全保障方法ニシテ現實ノ經濟事情ニ照シ單ナル關稅ノ固定ヨリハ有效ナリ(C. P. A. E. C. 7參照)今日關稅固定ヲ爲シ得サル事情アリトセハ吾人ハ各國ノ自由ヲ特定方法及條件ニ服從セシムルコトニ依リ之ヲ制限スルノ保障方法ヲ執ル外ナシ何レニシテモ佛國ハ關稅引上休止ノ原則ヲ承認スル能ハサルニ依リ第十一條ノ例外品目ヲ提出スル能ハスト述ヘ(二月二十七日特ニ配布セラレタル同氏陳述參照アリ度シ)タルヲ以テ從來關稅引上休止原案ニ付逐條審議ヲ進メ來レル本分科會ニ動搖ヲ與ヘ瑞西代表ハ右聲明ニ依リ各國ノ重要視スル佛國ノ態度明トナリタルカ佛國ニシテ右ノ態度ヲ執ル以上原案ハ死文ニ等シキモノトナレルニヨリ第一委員會又ハ總會ヲ開キテ本件會議ノ將來執ルヘキ根本方針ヲ審議シタル後ニ非ラサレハ原案ニ基ク分科會ノ事業ハ無用ナリト述ヘ總會開催ノ動議ヲ提出シ獨逸及諸威代表之ニ贊シタルカ他方英、蘭、伊及佛諸代表ハ既ニ大體豫想セラレタル佛國ノ反對ニ依リ審議ヲ中止スルノ要ナク原案審議ノ參考ニセハ可ナリト述ヘ右動議ニハ反對シタル結局議長ヨリ原案審議ハ一應之ヲ進行スルモ議長側ニ於テ必要ニ應シ總會ヲ召集シ得ルノ自由ヲ留保スルコト、致シ置キ度シト述ヘ各國之ニ贊シ瑞西代表モ前記動議ヲ撤回シタルカ二十八日ニ至リ伊國代表ヨリ締約國ハ其ノ締約國間ニ於ケル現行通商條約ヲ何年間カ延長スルコト併シ右ハ關稅ノ引下又ハ貿易狀態改善等ノ爲其ノ必要ト認ムル條約ノ締結ヲ阻害スルモノニアラサルコトヲ約ストノ案(C. P. A. E. C. 6)ヲ提出シ來リタルヲ以テ同日ノ會議ニ於テ議長側ヨリ右佛伊ノ提案アリタルニ付テハ關係國代表者間ニ於テ關稅引上休止原案ト右新案トノ關係ヲ考慮シ分科會ノ採ルヘキ方針ヲ決定スル爲數日間休會致シ度キ旨ヲ述ヘ各國之ニ贊シ散會シタル其ノ後關係國側ニ於ケル協議ニ基ク新條約案並之ニ對スル各國代表ノ意見ハ不敢取既ニ三月五日附聯本公第六號ヲ以テ報告致シ置キタル通りナルカ佛國新內閣成立ニヨリ正式佛國代表參加可能トナレルヲ以テ三月八日(土曜日)本件本會議ヲ開催シタル處新提案アルニ至リタルニ依リ第一分科會ハ流會トナルニ至レリ

第二項 第二分科會議事經過

第二分科會ノ審議ハ前述ノ如ク貿易障害事項ニ關シタルカ二月二十四日ヨリ二月二十八日ニ亙リ議長葡萄牙代表大藏次官「モンテイロー」報告者獨逸代表「ヒルファアデング」ノ下ニ討議ヲ重ネタリ其ノ要領左ノ如シ

(一) 第七條

分科會ハ先ツ第七條ノ存否如何ヲ審議シタルカ獨逸、和蘭、「ユーゴスラヴィア」、羅馬尼及英國等ハ第七條ハ關稅休戰ヲシテ最實效アラシメンカ爲ニハ最必要ナル條項ナリトシテ之カ維持ヲ主張シタルカ波蘭代表ハ輸出入禁止制限撤廢條約ノ未批准國タル關係上第七條ヲ承認シ難キノミナラス同條約實施議定書ニ依レハ右條約ハ本年七月廢棄セラレ得ル可能性アル處第七條承認ニ依リ右可能性ヲ第七條ノ關スル限り無効タラシムヘシトテ削除ヲ主張シタル尤モ同條約中ニ例外トシテ認メラル、一切ノ禁止制限ヲ撤廢セシムルニ於テハ第七條ノ削除ヲ求ムルモノニ非スト主張シタル又希臘代表ハ第七條ノ精神ニ贊成ナルモ原案ノ儘ニテハ贊成シ難ク同條ノ精神ハ第五條ニモ含マレ居ルヲ以テ削除可然ト述ヘタル右ノ如ク削除說多キニ順ミ白國及瑞典代表ハ本條ヲ削除スルカ又ハ第五條ト第七條トヲ合シテ一ヶ條ヲ作ルカ或ハ更ニ將來經濟協調「プログラム」(第二委員會經過參照)中ニ第七條ト同趣旨ノ一項ヲ設ケ將來實現ノ目標トスヘシト主張シタルモ結局本條存否ニ付贊否ヲ問ヒタル結果波蘭希臘「エストニア」「チエッコ、スロヴァキア」四ヶ國ヲ除ク外存置ニ贊成セルヲ以テ第七條ハ一應原案ノ儘維持スルコト、セリ(我方ハ之カ存置方ヲ主張シ置キタリ)

(二) 第五條

獨逸代表ハ本條ハ極メテ不明瞭ナレハ之カ内容ヲ更ニ明確ナラシムルノ要アリトシ左ノ如キ一項ヲ本條ニ關スル議定書中ニ挿入センコトヲ提案セリ

On indiquerait au Protocole à peu près ceci:

L'article 5 comprend toutes les entraves à l'importation, notamment concernant les formalités douanieres, les conditions accessoires, et taxes accessoires applicables aux marchandises importées à leur passage de la frontière, ainsi bien que toutes les discriminations à l'importation des marchandises importées après leur entrée dans la circulation libre à

l'intérieur du pays.

右ニ對シ波蘭ハ第五條ノ修正又ハ議定書中ニ解釋の規定挿入ニ反對セルカ投票ノ結果第五條ヲ明確ナラシムルコトニ決定シ先ツ前記獨逸案ヨリ審議ヲ初ム

先ツ伊國代表ハ新通商障害ノミナラス現存通商障害ヲモ之ヲ廢止スルコト、スヘシト主張セルモ獨逸代表ハ右ハ本委員會ノ權限ナリト擊退シ「リスアニア」代表ハ家畜衛生ニ關スル手段モ通商障害ヲ成スヘキ旨ヲ獨逸案ニ追加センコトヲ求メ波蘭之ヲ支持セルカ諾威代表ヨリ本問題ハ輸出入禁止制限撤廢條約第四條ニ規定セラレアレハ之ヲ除クコトヲ主張シ波蘭ハ尙「リスアニア」案ト撤廢條約第四條トハ矛盾スルモノニ非サル旨ヲ述ヘテ之カ採擇ヲ力説セリ白國代表ハ獨逸案ハ「附加税」及「一切ノ差別待遇」ノコトヲ云フモ附加税ハ第一條及第二條ニ規定セラレ「差別待遇」ハ第四條ニ禁セラル、カ故ニ右ヲ考慮シテ獨逸案ヲ修正スルノ要アリトシ左ノ如キ提案ヲナセリ

Proposition de la Délégation belge.

ad. art. 5.

Le terme "entrave" doit s'entendre des formalités, mesures ou règlements quelconques qui, indépendamment des droits et taxes visés aux articles I à IV ci-dessus et des prohibitions et restrictions visées à l'art. VII peuvent constituer un obstacle à l'importation, à la circulation, à la manipulation et à l'exportation des marchandises.

英國代表ハ右兩案何レニ依ルモ條文ノ不明瞭ナルヲ免カレサレハ第五、第七兩條ヲ合シテ一條トナスヘシトテ左ノ如キ提案ヲナセリ

Proposition de la Grande-Bretagne.

Art. VII

Les H. P. C. s'engagent à se conformer, dans leurs relations commerciales réciproques, aux stipulations de la

Convention pour l'abolition des prohibitions et restrictions à l'importation et à l'exportation, signée à Genève le 8 novembre 1927, qu'elles y soient ou non Parties.

"Les obligations assumées par les H. P. C. à cet égard s'étendent, dans les mêmes conditions et sous réserve des mêmes exceptions à toutes les mesures comportant des nouvelles entraves au commerce."

論議ノ末英、獨、白、伊、波蘭及「リスアニア」各代表ヨリ成ル起草委員會ヲ構成シ右ノ諸案ヲ參酌シ新ナル一案ヲ提出セシムルコトナレリ而シテ右起草委員會ヨリ提出セル案左ノ如シ

Texte à insérer au Protocole de signature relativement

à l'article V.

Le terme "entraves" doit s'entendre des formalités, règlements ou mesures quelconques qui, indépendamment des droits et taxes visés aux articles I à IV et des prohibitions et restrictions au sujet desquelles les obligations et droits des Parties Contractantes sont fixés par l'art. VII, peuvent constituer un obstacle à l'importation et à l'exportation des marchandises, ainsi qu'à la circulation intérieure pour autant qu'ils frappent les marchandises importées d'une manière plus lourde que les produits nationaux.

右起草委員會案ハ何等ノ論議ナク分科會ノ採擇スル處トナリ議定書中ニ入ルコト、ナレリ

然ルニ波蘭代表ハ輸出入禁止制限撤廢條約第四條ニ認メラル、例外ニ關シテハ同條約第八條ノ規定ニ依リ仲裁々判ニ附セラレサルニ休戰條約ニヨル例外ハ仲裁々判ニ附セラル、ヲ以テ或ル例外間ニ取扱ノ相違ヲ來スヲ以テ少クトモ家畜衛生ニ關スル手段ハ屢通商障害ヲ爲スコトアル旨ヲ認メラレ度キ旨ヲ述ヘ左ノ一項ヲ右起草委員會案ニ追加センコトヲ求メタリ

Il est entendu que l'application des prohibitions et des restrictions en vue d'assurer la protection des animaux ou

des plantes contre les maladies, les insectes et les parasites nuisibles de manière à constituer un moyen de discrimination arbitraire entre les pays étrangers ou à constituer une restriction déguisée des échanges internationaux peut constituer un obstacle au commerce international au sens de l'article 5.

論議投票ノ結果右波蘭提案ノ趣旨ハ多數ヲ以テ採決セラル、處トナレリ之カ爲從來輸出入禁止制限撤廢條約第八條ノ規定ニ從ヒシ事項モ本議定書ノ追加ノ爲動植物保護ニ關スル或ル種ノ手段カ第十四條ノ仲裁ニ附セラルヘキコト、ナルニ至レリ

尙諾威代表ハ原產地標記及稱呼ニ關スル閣令省令等ハ通商障害ト看做サルヘキヤ否ヤヲ質問シタルカ議長ハ本件ハ輸出入禁止制限撤廢條約第三條ニ規定セラレ居リ締約國ニシテ同條所定ノ條件ニ準據スル限り原產地標記及稱呼關係諸規定ハ必シモ通商障害ヲナスモノニ非スト説明セリ

(三) 輸出獎勵金

和蘭代表ハ輸出獎勵金ハ通商障害ヲ成ス危險アレハ之ヲ禁止スルノ一項ヲ第五條第二項トシテ規定セシコトヲ求メ多數代表ハ之ニ賛成ナリシヲ以テ當第二分科會之ヲ審議スルコト、ナレリ

本件ハ第二委員會第三分科會ニ於テモ取扱ハレツ、アル問題ナルカ故ニ之ト連絡ヲトリ草案ヲ作成セシムルタメ獨逸、瑞西、兩代表及議長ノ三名ヨリ成ル小委員會ヲ任命セリ

右小委員會ハ前記第二委員會第三分科會ト連絡セル結果第五條第二項トシテ挿入スヘキ左記草案ヲ提出スルニ至レリ

Les Hautes Parties Contractantes s'engagent à ne pas créer:

- a) des primes directes à l'exportation
- b) des primes indirectes résultant de la majoration des "draw-back", c'est-à-dire dépassant les montants effectivement payés lors de l'importation.

右ニ對シ波蘭代表ハ本案ニヨレハ新ナル輸出獎勵金ヲ設クルコトヲ禁止スルモノナリヤ或ハ現存獎勵金ヲ増加スルヲ禁

止スルモノナリヤ不明ナリト述ヘ瑞西委員ハ右兩者ヲ禁止スル目的ナル旨ヲ説明シ分科會之ヲ了承セリ

尙 draw-back ノ正當ナル場合ヲ規定スル要アルヘク別ニ議定書中ニ關係條項ヲ挿入スヘシトノ分科會ノ意見ニテ瑞蘭通商條約ノ例ニ倣ヒ左ノ一項ヲ議定書中ニ挿入スルコトニ決定セリ

Toutefois les droits de douane grévant les matières employées dans la production ou la préparation de marchandises indigènes, ainsi que les taxes intérieures grévant la production ou la préparation des mêmes marchandises ou des matières employées dans leur fabrication peuvent être restitués en tout ou en partie, lors de l'exportation des marchandises qui ont acquitté les taxes susdites ou qui ont été fabriquées avec des matières ayant payé lesdits droits de douane.

以上ノ審議ヲ經テ第二分科會報告トシテ採用セラレタルモノ C. P. A. E. C/Com. 1/2(1) ノ通りナリ

第三項 第三分科會議事經過

本分科會ハ議長丁抹代表「クラン」、報告者伊國代表「カラバー」ノ下ニ二月二十四日ヨリ三月二日ニ互リ五回ノ會合ヲ行ヒ前記第一委員會附託ノ事項ヲ審議セリ

二月二十四日議長ヨリ本分科會ノ任務ハ(一)最惠國約款(但シ關稅休戰ノミニ限り一般問題ニ觸レス)(二)條約案第十九條(條約ノ發効)(三)第十七條(加入)及(四)第十四條(仲裁條項)ノ四ナリト述ヘ右ノ順序ニ從ヒタルカ後ニ至リ英國側ヨリ十四條乃至二十條ニ關シ C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com C/2 ノ如キ修正案提出アリタルヲ以テ第一委員會議長ヨリ十四條以下二十條迄全部審議ヲ附託セラル、ニ至リタルカ本分科會トシテハ左記ノ如ク各條ニ付キ修正ヲ行ヒ結局修正案ヲシテ C. P. A. E. C/Com. 1/3(1) ノ如キ報告ヲ第一委員會ニ提出セリ第三分科會ノ各條ノ討議經過左ノ如シ

(一) 最惠國條款

二十四日聯盟事務局書記官ヨリ經濟委員會作成ノ條約案説明(C. 519. M. 177, 1929. II.)ノ當該部分(第三頁D項)ヲ朗讀シ草案中ニ最惠國條款ニ依ル利益ノ均霑ヲ制限スルコトヲ規定セサリシ所以ヲ説明シ英、伊、「ラトビア」及瑞典等諸

代表ハ右規定ヲ措クコトノ無用ヲ述ヘ本條約ハ何等第三國トノ條約ヲ變更スル力ナシ無條件最惠國條款ハ最良ナル通商條約政策ナルヲ以テ本條約中ニ最惠國條款ノ利益ヲ制限スルコトヲ勸告スルモ各國ハ之ニ違フコト困難ナリ各國若シ必要ト認メハ第三國トノ間ニ自ラ制限規定ヲ設定セハ足レリト述ヘ獨逸、佛國、波蘭、和蘭及瑞西等諸代表ハ第三委員會第二分科會ニ於ケル議論ヲ引用シ現行條約ハ當事國間ノ同意ナクシテ變更シ能ハサルハ明ナルモ現ニ和蘭、佛國、白耳義及瑞西等ノ間ノ通商條約ニ於テ多數國間ノ協約ノ利益ハ最惠國條款ノ適用範圍外ナリト定ムル例モアリ旁希望トシテハ「プロトコール」中ニ二國條約ヲ以テ多數國條約ノ利益ニ最惠國條款ニ基ク均霑ハ之ヲ制限シ得ルコト之ヲ爲ス場合ニハ經濟委員會ノ勸告セル原則ニ違フコト可然トノ旨ヲ記載シ度キ旨ヲ主張セルモ英國其ノ他ノ絶對反對アリ結局何等記載セサルコト、ナリ右ノ趣旨ヲ報告中ニ一言スルコト、ナレリ

(一) 第十四條

一、事務局法律部員ヨリ本條ノ大要ヲ説明シ調停ハ任意仲裁ハ強制且法律問題ト否トラ區別セサル點ニ於テ輸出入禁止制限撤廢條約第八條ト異ルト説明シタルカ右ノ主義ニハ異議ナカリキ
二、次ニ本條第四項中ニハ締約國間ニ爭議起レル場合當事國カ本條第一項ニ規定シ居ルカ如キ專門機關ノ意見ヲ求ムルコトニ贊成セサル場合ヲ規定セサルヲ以テ(專門機關ニ意見ヲ求メサリシ場合及求メテ從ハサル場合ハ規定スルモ)右ヲ規定スルコトニ意見一致ス(新第四項參照 C. P. A. E. C/Com. 1/3(1))
三、本條末項ニ於テ仲裁ヲ判ニ附スル場合ニハ既ニ採リタル繫爭措置ノ中止ヲ規定セサル處雙方ノ合意アル時ハ右措置ノ中止ヲ命シ得ルコト、致シ度キ旨英國提案アリ (C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/2) 之ヲ可ナリト認メ右ノ通り修正ス
四、本條ト第七條トノ關係ニ關シテハ議論アリ第七條ニ關スル問題ハ輸出入禁止制限撤廢條約ノ規定ニヨリ仲裁又ハ調停ニ附スルコト、ナル可キニ依リ「プロトコール」ニ於テ本條ノ規定ハ輸出入禁止制限撤廢條約ノ規定ヲ妨ケサルコトヲ

明ニスルヲ可トスル旨報告スルコト、ナレリ

五、本條第二項ノ意見發表期間ハ二ヶ月、第三項及第五項ノ不贊成申出期間ハ一ヶ月ニ暫定ス

六、議長ヨリ商事ニ關スル簡易手續ヲ海牙國際司法裁判所ニ設ケラレ度キ旨ノ希望ヲ申出テタルニ對シ聯盟事務局法律部員ヨリ右ノ爲ニハ裁判所規定改正ヲ要シ目下ノ處實現困難ナリト説明シタルモ白國代表ヨリ右ヲ缺クハ缺陷ナリト主張セルヲ以テ商事ニ關スル特別裁判所ノ設定ヲ勸告スルコト、セリ

(二) 第十五條

本條ハ何等變更セサルモ署名期日ハ一ヶ月ニテ足ルヘシトノ意見多ク且第十一條末項トノ關係ヲ調和セシムル爲本分科會事業ニ非サルモ同項ヲ削除スヘシト主張セラレタリ

(四) 第十六條(及第十九條)效力發生ニ關スル條項

批准ニ關スル條項ハ第十六條第十九條及第二十條第一項ニ互リ居ルヲ以テ右ヲ合シテ討議ス可シトノ前記英國提案(C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/2)アリ 依ツテ合シテ討議スルコト、ナリ第十六條ハ原案通り認メラレタルモ第十九條ハ之ヲ變更シテ左記趣旨ノ第十六A條ヲ一條作ルコト、ナレリ

第一ニ右第十六條ニ掲クヘキ原案即第十九條規定ノ發効ニ必要ナル批准數ハ後廻シトスルコトトシ

第二ニハ第十九條第三項ニ定ムル其ノ批准又ハ加入ヲ本條約發効ノ條件トナシ得ル國ノ表ナルカ右ニ關シ各國何レモ其ノ國名ヲ舉ケタルカ日本側ヨリハ米國、濠洲、支那及印度ノ四ヶ國ヲ舉ケタリ(各國ノ舉ケタル表ハ C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/1) 伊國ハ右ニ關シ參加國ノ多數ナルコトハ本條約ノ眼目ナリ又伊國輸出ノ四〇%ハ歐洲以外ニ向フトテ歐洲大國及歐洲外大國(日本、米國、「アルゼンチン」、「ブラシル」)及主要英帝國自治領並屬領(濠洲、印度、加奈陀)ノ加入ヲ條件トスト述ヘタルカ後ニ至リ態度ヲ曖昧ニシ本件會議ノ結果ヲ見タル上ニテ決スヘシトナセリ(C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/1(1) 及 C. P. A. E. C/Com. 1/3(1) 附屬參照)

英國ハ條約草案第十九條第三項ニ其ノ條件トナシ得ル國名ヲ列舉セシムルモ右ハ成ル可ク斯ル國ヲ限定シ例ヘハ會議參加國又ハ歐洲ノ國ノミトスル趣旨ニアラサルヤト此ノ原則ニ關シテ各國ノ意見ヲ求メタルカ各國代表ノ多數ハ右ハ相當複雑ナルニ付各條ノ審議ヲ終リタル上ニテ討議スルコト、ナレリ

第三ニハ第十九條ノ第四項ナルカ右第四項ノ事務總長通告ノ義務ニハ變更ナシ

第四ニハ原案第十九條ノ批准寄託期間ニ關シ議長ハ今年前半期ニハ各國トモ議會開催中ナレハ二ヶ月半モアレハ充分ナリト述ヘ白國代表ヨリ本問題ハ署名期間ト密接ナル關係アルヲ以テ本項ノ書方ヲ變更シテ「本條約署名期間後三月以內トス」ト書き改メ右……ノ期間ハ後ニ定ムルコト、ナスヘシト主張シ右ニ決ス

第五ニハ第十九條ノ最後ノ批准寄託ト效力發生トノ間ノ期間ニ關スルモノナルカ右ニ關シテハ意見分レ伊國ハ相當日數ヲ主張シタルカ大體一ヶ月トシテハ如何トノ意見多カリキ

第六ニハ第十九條及第二十條所定ノ必要批准數及加入數ヲ得スシテ本條約效力發生ニ關スル會議ヲ召集スル件ニ付テハ英國ヨリ前記 C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/2 提案ヲ起草委員會討議ノ結果修正セル案 (C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/4) ヲ提出シ本件ハ之ヲ「プロトコール」ニ移スヘク條約效力未發生ノ場合ニ會議ヲ召集スルモ拘束力發生セサルヲ以テ之ヲ「プロトコール」トシテ全權ノ調印後直チニ效力ヲ發生セシムルコト可ナリト述ヘタルカ伊國代表ヨリ英國案ノ通りニスレハ右會合ノ爲メニ新ニ委任狀ヲ要スル不便アリト説キ右ノ結果會合スル義務ハ條約附屬特別「プロトコール」トシテ直ニ效力ヲ發生セシムルコト、シ會合ニ於テ決定スヘキ事項ハ條約本文ニ記載スルコトニ決セリ尙右會合ハ條約ヲ批准シ又ハ加入セル國ノ會議ナルモ本條約ニ調印シ批准セサル國ノ代表ヲモ招請シ並ニ之ニ參加スルノ義務ヲ有セシムルコトニ意見一致シ以上ヲ特別「プロトコール」ニ規定スルコト、ナレリ

以上ノ討議ノ結果トシテ第三分科會 C. C. P. A. E. C/Com. 1/3(1) 附屬第十六A條ヲ作成スルト共ニ右附屬トシテ C. P. A. E. C/Com. 1/3(1) ノ特別「プロトコール」ヲ作成セリ尙右特別「プロトコール」中ニハ第十七條ニ關スル規定モ挿

入セリ (第十七條參照)

第十七條 (加入條項)

議長ヨリ本條ノ第一案ト第二案トハ對立スルモノニ非ス互ニ異ル場合ヲ豫想スルモノナルカ故ニ相補充ス可キモノナリト述ヘタルカ英國代表ハ本條トシテ問題トナル三箇ノ場合アリ即チ (一) 加入セントスル國カ關稅引上止休條約所定ノ期日後關稅ヲ引上ケス十一條ノ例外ヲ求メス其ノ他全然條約ノ規定ニ反セサル場合 (二) 加入希望國カ條約所定ノ期日以後關稅等ヲ引上ケ其ノ全部又ハ一部ヲ加入後モ存置センコトヲ希望スル場合 (三) 條約所定ノ期日以後關稅等ヲ引上ケサリシモ新ニ加入ニ當リ第十一條ノ所定ノ除外例ヲ求ムル場合アル處右何レノ場合ヲモ包含スヘキ樣規定スル要アリトテ英國修正案ヲ提出シタリ (C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/2 英文二頁以下) 原案第一案ニ對シテハ波蘭ノ外贊成ナク白國、伊國及羅馬尼何レモ第二案ヲ可トシ第一案ハ全テノ締約國カ加入國ヲ denounce シ得ル仕組ナルカ故不可ナリ加入ノ爲メニハ本條約ノ各條項ニ遵ヒ居ルコトヲ要スルハ明ナルカ故ニ英國案 (二) (三) 何レノ場合モ關稅ヲ引下クルカ又ハ其ノ承諾ヲ求メサルヘカラサルヲ以テ第二案ニテ充分ナリト述ヘ更ニ羅馬尼ハ第五條ノ通商障害ニ關スル規定ニ付テモ加入ノ場合考慮ヲ要スト述ヘ英國案ノ提出モアルコトナレハ羅馬尼、白國、英國及伊國四國代表ヨリ成ル起草委員會ヲシテ新案ヲ作成セシムルコトナリ右委員會ハ新第十七條 (C. P. A. E. C/Com. 1/sub. Com. C/3 三頁) ヲ提出シタリ右新條文ハ條件附加ノ場合ハ總テ承認ヲ得ルコトシ且ツ承認ノ爲ノ會合ノ場合ハ承認國ハ總テ出席スルノ義務アルコトヲ前記會議ノ關係上 (第十六條ノ六參照) 特別「プロトコール」ニ併記スルコトナレリ而シテ加入國又ハ調印國ハ右會合ニ參加シ得ルコトモ規定シタリ

同時ニ第四項ニ於テ前記加入ニ付種々ノ條件ヲ附スルコトアルヘク且條約ノ效力發生前加入スルコトモ許サルヘキモノナルヲ以テ之等ノ場合ニ付種々細目規定ヲ要スルコトアル可キニ依リ “under the terms of the present convention” ナル文句ハ之ヲ括弧内ニ入ルルコトニ決定セリ

署名締約期間迄ニ署名セザリシ國ニシテ而モ例外（第十一條）ヲ提示シ居ルモノノ加入ノ場合ニハ如何ニスルヤニ關シ
伊國ヨリ質問シタルカ條約ノ *annexe* ニ認メタル右例外ヲ活ス爲ニハ第十二條第二項ノ文句（*sur la date de jour*）
ヲ變更スルヲ要スヲ認メタリ尤モ右ハ本分科會ノ任務外ナルヲ以テ同條討議ノトキ注意ヲ爲サシムルコトナレリ

第十八條

殖民地加入條項ニ關シテハ英國ヨリ提案アリ（*G. P. A. E. C/Com. I./sub. Com. C/2*）ノ十八條ニ關スルモノ）右ハ殖民地
地加入ニ關シ其ノ殖民地カ其ノ一部ニツキ例外ヲ作ル場合ヲ規定スヘシト爲スモノナルカ右英國案ヲ認メ第十八條ノ第
三項ヲ新ニ設ケテ之ヲ規定スルコトナレリ又英國ヨリハ殖民地ノ意義ニ關シ *Channel Island* 及 *Isle of Man* ニ付キ
テハ之ヲ殖民地同様取扱フコトヲ主張シ右認メラレタリ

第十九條及第二十條

本條ノ規定ハ前述ノ如ク第十六條A及特別議定書ニ移サレタルヲ以テ削除ス特別議定書ニハ前述ノ如ク第十六條Aノ通
告ノ義務並効力發生及加入ニ關スル會合ニ付代表者ヲ派遣スル義務ヲ規定スルコトナレリ
以上分科會ノ審議ニ依リ作成セル新條文及報告（*G. P. A. E. C/Com. I/3(1)*）ノ通ナリ

第二節 第二委員會事經過及經濟協調ニ關スル將來ノ交渉ノ

「プログラム」關係議定書案ノ作成

第二委員會ハ羅馬尼大藏大臣「マシヤロ」（*Madgean*）氏議長ノ下ニ二月二十一日（金曜日）午前午後及二十二日（土曜日）午
前ノ三回本會議ヲ開催シ一般討議ヲ行ヒタル後三個ノ分科會ヲ構成シ各別ニ問題ヲ研究報告セシムルコトナレリ其ノ間本
會議ヲ中止セルカ右三分科會ノ報告出揃フ俟チ三月一日ヨリ更ニ本會議ヲ再開シ一應右報告ノ審査ヲ爲シ次イテ經濟協調

ノ爲ノ將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル議定書案ヲ討議シ三月二十二日委員會本會議ヲ終了セリ

第一款 第二委員會本會議ニ於ケル一般討議

一、二月二十一日午前開會劈頭議長ヨリ第一委員會ト本委員會トノ議事ノ連絡ヲ保ツタメ第一委員會議長「コライン」氏
（蘭）ヲ本委員會副議長ニ推舉シ右ニ決ス

一、議長ハ先ツ本委員會ノ任務ニ關シ第十回聯盟總會決議ヲ朗讀シ（一）右決議ノ字句ハ頗ル廣汎ナル處吾人ハ世界一般
ノ通商關係ノ改善ヲ目的トス可キヤ將又歐洲ニ於ケル市場ノ開發ヲ目的トシテ「將來ノ交渉」ノ「プログラム」ヲ立ツ
可キヤニ關シ吾人ノ意見ヲ定ムヘキコト（二）右兩者ノ何レヲ目的トスルモ第十回聯盟總會ハ之ヲ達スル爲一般協定ノ
方法ニ依ルヲ可トスルノ意見ナル處、從來ノ二國間條約ノ方法ト一般協定トハ何レモ一得一失アリ吾人ハ成ルヘク各國
間現存ノ通商關係及自國市場ヲ根本ヨリ變更セシテ前記ノ目的達成ニ努ム可キナリト説キ先ツ右第一點ニ關シ委員會
ノ意見ヲ求メタリ

右ニ對シ白國代表ハ聯盟總會決議ニ見ルモ吾人ノ終局目的ハ世界經濟關係ノ改善ニ在ルモ右ハ今後ノ會議ノ任務ニシテ
吾人ハ本會議ニテ差當リ歐洲市場ノ改善ヲ目的トスヘシト説キ多數ハ右ニ賛成ナリシヲ以テ會議ハ大體此ノ範圍ニ於テ
研究討議スルノ了解成レリ但シ獨、蘭及波蘭諸國ノ代表ハ差シ當リ問題ヲ歐洲ニ限ルコト可能ナルモ右ハ世界市場ノ開
發ニ寄與スルモノタルコトヲ要シ歐洲以外ノ國ニ對抗スル趣旨ヲ有ス可キニ非ラスト論シ伊國代表ハ差シ當リ一般協定
ヨリハ二國間條約ノ方法ニ依ルヲ可トスルモ或種ノ事項ニ關シテハ一般協定モ可能ナルヘク其ノ適用ハ歐洲諸國ニ限ル
可キニ非ス今回ノ會議ニ參加國ノコトヲ考慮スルヲ要スト論セリ

一、佛國代表ハ聯盟總會決議ニ所謂經濟協調ノ爲ノ將來ノ交渉（*Future negotiation*）ノ實行ハ關稅休戰條約ノ成立ヲ必要
前提條件トスルモノニ非ス吾人ハ右條約ノ成否ニ拘ラズ研究ヲ實行スヘキモノナリト論シ議長及獨逸代表等右ニ贊シ關

税休戦ハ吾人ノ目的トスル經濟の革正ノ第一歩ニシテ目的ニ非サレハ其ノ成否ハ別トシ吾人ノ將來ノ交渉ノ「プログラム」ヲ研究スヘシト説ケリ

一、斯クテ本委員會ノ研究討議ノ大體ノ範圍ヲ定メタル後諸國代表ヨリ各種ノ意見ノ陳述アリシカ其ノ主ナルモノ左ノ如シ「チエコ、スロヴァキア」代表ハ歐洲現在ノ悲境ハ（一）各國ノ極端ナル個人主義及（二）北米合衆國トノ關係ニ基クモノナリトテ歐米ノ經濟關係ヲ説明シ歐洲ハ歐洲ノ生産品ヲ以テ自給スヘク即チ歐洲ノ工業諸國ハ其ノ生産ヲ合理化スルト共ニ歐洲ノ農業國ヨリ食料品ヲ仰ク可キト東歐洲ト西歐洲トノ諸國間ノ協調ヲ説キ海外諸國トノ經濟戰ニ於テ歐洲ノ農業國ヲ援助スルノ必要ヲ述ヘ且ツ吾人ノ研究ニ當リ先ツ各問題ヲ整理分類スルノ要アリトシ（一）特ニ關稅政策ニ關スル問題（商品別ニテ關稅引下ヲ計ル方法之ハ關稅課稅品目稱呼統一問題ト連絡シ有效ニ實行シ得可キコト）（二）一般的政策ニ關スル問題（地方的協定ノ重要ナルコト）（三）歐洲各國ノ經濟組織ノ相違ヨリ生スル問題（農業國ト工業國トノ關係ヲ調節スルコト、海外諸國ノ競争ニ對抗スルコト、此ノ後者ノ爲ニハ地方的協定及實際的ナル組織ニ依ルコト）ノ三點ヲ擧ケ特ニ第三點ヲ力説シ其ノ研究項目トシテ（イ）農業信用制度ノ組織（ロ）取引上ノ組織即チ農產品ノ庫入及輸出（ハ）農產品ノ運搬ノ三點ヲ指摘シ聯盟經濟、財政及交通諸機關ノ研究ニ委スルコト可ナルモ差當リ分科會ヲ設ケ研究セシム可シト説ケリ

伊國代表ハ地方的協定ハ他國ノ或市場ヲ孤立セシムルノ結果ヲ招來シ現狀ヲ惡化スルノ虞アレハ之ヲ受諾シ得ストシ且本問題ハ本委員會ノ權限外ナリトシテ之ヲ論セザランコトヲ求メタルモ獨逸「チエコ、スロヴァキア」等ノ代表ハ關稅低下ニ關スル問題ハ凡テ本委員會ニ關係アレハ全般ニ互リ問題研究ノ要アリト論セリ洪牙利代表ハ農業國トシテ先ツ家畜衛生、植物病理及輸出獎勵金等ノ諸問題ニ關シ何等カノ解決ヲ得タル後關稅問題ヲ論スヘシトテ農業國トシテノ立場ヲ説明シ波蘭代表ハ歐洲諸國ヲ農業國ト工業國トニ大別シ「バルカン」「バルチック」諸國ハ其前者ニ屬スル處其隣邦ニ經濟組織ノ全ク異ル「ソヴィエト」聯邦存在スルヲ以テ之等農業國ハ其利益ヲ確保シ得サレハ一般協定ニ加入シ得サル旨ヲ

述ヘ（一）農業國ト工業國トノ間ノ協定ニ達スル方法（二）一般協定成立ノ場合之カ現存二國間條約ニ及ホス影響ノ二點ニ關シ分科會ヲシテ研究セシムヘシトス

芬蘭代表ハ農業危機ノ理由ヲ説キ自國ノ狀態ヲ説明シ農產品ニ新市場ヲ發見シ農產品販賣ノ爲ノ國際協調ヲ促進センタメニハ國內取引機關ノ活動ヲ發達セシメ且ツ之ヲ或中央機關ニテ統一スルノ要アリトシ

「ユーゴスラヴィア」代表ハ市場開發ノ爲ノ第一手段ハ農工業國ノ利害調節ヲ確實ナラシムルニ在リトシ其ノ手段トシテ農業信用組織ノ必要ヲ説ケリ

白國代表ハ委員會ノ研究「プログラム」トシテ（一）關稅問題（如何ニシテ一般協定ニ依ル關稅引下ニ達シ得ヘキヤ商品別ニ依ルヤ、現存關稅條約ヲ改善シテ行ヒ得ルヤ及關稅課稅目稱呼統一ヲ利用スルヤ）（二）關稅以外ノ通商障害ノ除去（家畜衛生條約、植物病理條約、關稅適用協定、輸出獎勵金及特惠稅率等ノ問題）（三）經濟的協調（Solidarity）政策ノ樹立ニ關スル一切ノ問題（最惠國條款ノ解釋、適用及地方的協定等）ノ三點ヲ擧ケ分科會設置ヲ主張セリ瑞典代表ハ關稅低下ハ經濟狀態ノ改善ヲ來ス唯一ノ手段ニ非ス先ツ各國ノ經濟政策ノ根本精神及其實行手段ヲ調査スルヲ要ストシ歐洲ノ經濟狀態ニ關スル一切ノ問題ニ付キ輿論啓發ノ必要ヲ説ケリ

諾威代表ハ東歐諸國ハ植物性農產品ヲ輸出スルニ反シ北歐諸國ハ動物性農產品ヲ輸出シ之ニ對シテハ海外ノ競争大ナラス從ツテ後者ニ屬スル諸國ハ歐洲產農產品ヲ保護セントスル特惠關稅制度ニ反對ナリ何トナレハカカル制度ハ大部分海外ニ向ケラルル動物性農產品ノ輸出ニ對シ惡影響ヲ及ホスカ爲ナリトシ又北歐諸國ハ其ノ產出スル原料ヲ以テ自國內ニテ精製品ヲ作成セント努ムル處右ニハ工業發達國ノ反對アレハ各國間ニ加工工業ノ分配ヲ爲スヲ要シ或一機關ヲシテ研究セシメ本委員會ニテ右研究案ヲ作ルヘク又關稅率ニ關シテハ諸國ノ要求ヲ表ヲ以テ提示セシメ之ヲ取捨セハ研究ニ便ナルヘク唯多數國ヲ合スル共同交渉ハ極メテ困難ニシテ二ヶ國又ハ數ヶ國ノ團體間ノ交渉カ實際的效果ヲ擧ケ得ヘシト説ケリ

英國代表「グラハム」商相ハ本委員會ノ任務タル將來ノ交渉ノ「プログラム」ヲ作成スルニ當リ（イ）一切ノ保護政策問題ト關聯スル一般關稅問題（ロ）間接保護主義（ハ）全世界ニ互ル經濟協調ノ問題ノ三點ヲ考慮セサルヘカラサル處吾人カ直ニ着手スヘキ研究題目ハ前記（イ）即チ關稅引下ノ問題ナリトシ其ノ方法トシテ成ル可ク廣汎ナル商品ノ類別ニ依ルヲ可トスヘク之カ爲各國ニ於テ自國ノ要求他國ノ主張等ヲ研究シ資料ヲ集メタル上本年六月（更ニ繰上ルモ可ナリ）頃會議ヲ開キ相互ノ經濟事情ヲ知り其後更ニ規則的ニ會議ヲ開キ稅率ノ改善ヲ行フコトニカムヘク斯クシテ各會議毎ニ或種物品ニ關シ漸進的ニ關稅引下ノ目的ヲ達成スルニ努力スヘク會議ニ於テハ他國ヨリ得ントスル利益ト他國ニ與ヘントスル利益トヲ考慮シ協調ノ精神ヲ以テ交渉スルコトヲ要ストシ同時ニ前記（ロ）（ハ）ノ各問題モ聯盟ヲシテ研究セシムヘシト主張セリ

獨逸代表ハ（一）海外諸國ニ對スル關係ニ於テ最惠國條款ノ問題研究ノ必要及（二）本會議ノ事業ハ今後モ繼續ス可キヲ以テ各國トモ聯盟經濟機關ト密接ナル連絡ヲ取ル要アル旨ヲ說ケリ

一、右一般討議ノ後二月二十二日議長ハ左記三分科會ヲ設置シ前述一般討議ニ於テ問題トナレル諸要點ヲ各別研究報告セシメンコトヲ提案シ且三分科會議長ヲ推舉セルカ委員會ハ何等論議ナク之ヲ可決セリ

（イ）第一分科會（議長「フリーリッガー」）（「チッコ、スロヴァキア」）——工業國ト農業國トノ經濟關係調節ノ爲ナスヘキ交渉ノ「プログラム」ノ作成

（ロ）第二分科會（議長「ニクル」）（「洪牙利」）——一般協定カ其締約國ト第三國トノ關係ニ及ホス影響

（ハ）第三分科會（議長「ボツセ」）（獨）——同氏退壽後ハ「トレンデレンブルグ」——聯盟經濟機關ニ於テ既ニ着手セル事業ヲ補充スルタメ探ルヘキ手段ノ研究

第二款 第二委員會分科會議事經過

第二委員會ノ三分科會ハ二月二十四日ヨリ討議ヲ始メタルカ其ノ要領左ノ如シ（分科會議事ハ非公開トス）

第一項 第一分科會議事經過

本分科會ノ任務ハ工業國ト農業國トノ經濟關係調節ニ關スル手段ノ研究討議ニ在ル處開會劈頭本分科會ハ關稅問題ヲモ論スヘキヤ否ヤニ關シ議論アリタルカ結局農業國ノ立場ヨリ見ル實際問題トシテノ關稅問題ハ之ヲ必要ニ應シ論議ス可キコトニ決定セリ尙分科會ハ其報告者トシテ「ユーゴースラヴィア」代表「ストイコヴィツチ」ヲ任命セリ、本分科會ハ二月二十四日ヨリ同二十八日迄開催セラレタルカ會議中取扱ハレタル主要問題左ノ如シ

- 一、農業國及工業國間ノ協力ノ必要
- 二、特惠關稅制度（地方的協定）ノ可否
- 三、農產物ノ取引分配組織ノ完成
- 四、農業生産ノ合理化
- 五、農業信用制度ノ必要
- 六、農產物ノ運輸ニ對スル便宜
- 七、家畜衛生條約締結ノ必要
- 八、間接保護手段ノ撤廢

（一）農業國ト工業國間ノ協力ノ必要ハ各國トモ之ヲ認メタルカ特ニ「ユーゴースラヴィア」代表ハ歐洲ノ農業ノ危機ハ一方或種工業國カ直接間接ニ實行スル農業保護主義ニ由來スルト共ニ他方海外諸國ノ競争ニ依リテ來ルモノナリトシ、先ツ工業國ニ對シテハ農產品ノ取引ノ自由、安定及保障ノ三點ヲ要求シ海外諸國ノ競争ニ對抗センカ爲ニハ工業國カ其ノ遊資ヲ農業信用ノ方法ヲ以テ農業國ニ融通センコトヲ求ムヘシ（安價ナル土地、農業機械、勞働ノ利用及運搬ノ便宜等海

外諸國ノ有スル便宜ヲ歐洲ニ求ムルコト困難ナリ。農業國ハ工業品ノ大消費者ナレハ其ノ繁榮ハ工業品市場ヲ擴張スル結果ヲ來シ工業國ニトリ有利ナルヘク從テ前記ノ諸點ヲ工業國ニ要求スルノ正當ナル權利アルモノト云フヘク斯クシテ農工業國相互ノ協力ヲ實現シ得ヘシト力説シ分科會ハ滿場右ノ主張ニ賛成セリ。

(二) 特惠關稅制度(地方的協定)ノ可否

前記農業國及工業國ノ協力ノ手段タル農業品ノ取引ノ自由、安定及保障ノ實現ニ關シ各國代表ハ關稅問題ヲ最重要視シタルカ伊國代表ハ關稅低下ト地方的協定トノ關係ヲ説キ同國ハ地方的協定ハ市場ノ擴張ヲ妨クルモノナリトシテ之ニ反對セリ。埃國代表ハ特惠制度ニ基ク地方的協定ハ其ノ不參加國ノ反對報復ヲ招來スルノ虞アリテ危險ナリトスルモ或特殊物品ニ關シ特別ナル協定ヲ締結スルコト可能ナリトテ歐洲諸國カ相互ニ歐洲產小麦ニ對スル輸入稅ヲ五割方低減センコトヲ提案シコノ種ノ制度ハ海外諸國(特ニ北米合衆國、加奈陀及亞爾然丁ノ三國)ノ同意ヲ要スヘキ處歐洲諸國ハ現ニ約千萬噸ノ小麦ヲ消費シ居ルカ歐洲ノ小麦輸出國タル「ユーゴスラヴィア」、洪牙利及羅馬尼ハ右ノ中僅ニ五十萬噸ヲ輸出スルニ止ルヲ以テ假令右三國ノ輸放量カ百萬噸ニ達セリトスルモ歐洲ハ尙海外ヨリ九百萬噸ノ小麦輸入ヲ餘儀ナクセラレ今日ノ狀態ト殆ト變ル處ナシ故ニ前記小麦輸入稅五割低減ハ海外輸出國ニ對スルモ歐洲輸入國ニ對スルモ何等ノ犧牲ヲ拂ハシメサルノミナラス歐洲ノ小麦輸出國ノ農業ヲ大ニ利スルノ效果アル旨ヲ述ヘタリ(C. P. A. E. C/Com. II/6)右ニ對シ小麦ノミニ對シ斯ル制度ヲ設クルヲ不可トシ丁抹及「エストニア」ノ如キハ動物性農產品(生肉、牛酪等)ヲ佛國及葡萄牙ハ葡萄酒ヲ忘レサランコトヲ求メテ之ニ反對シ議長(「チェッコ、スロヴァキア」代表)ハ兎モ角聯盟カ此ノ種制度ニ對スル海外諸國ノ態度如何ヲ調査スルコトヲ可シト「サゼスト」セルモ和蘭代表ハ本提案ヲ採擇シタル結果トシテ歐洲ニ於ケル小麦ノ生産條件ヲ改善セハ海外諸國ノ小麦ノ販路一部閉鎖スルコトナリ到底之等海外諸國ノ同意ヲ得ラレサル可ク假令之ヲ得タリトスルモ海外諸國ハコノ特惠の制度ヲ將來自己ノ武器トシテ利用シ歐洲ヲ苦境ニ置クコトアリ得ヘク又歐洲ノミニ付テ見ルモ本提案ハ將來歐洲ニ各種ノ地方的協定ヲ發生セシメ通商障害ヲ招來スルノ先

例ヲ開クモノナリトシ一般のニ此種人工の手段ハ現狀ヲ惡化セシムルモノナリトシテ極力反對シ佛國代表又本案ハ歐洲市場ヲ世界市場ト相對抗セシメントスルノ危險アルコトヲ警告セリ單ニ洪牙利代表ハ埃國ノ提案ヲ支持セルモ小麦ニ對スル關稅ト麥粉ニ對スル關稅トノ開キハ常ニ同一ナラサルヘカラサル旨ヲ述ヘタリ

埃國代表ハ右ノ反對ニ顧ミ洪牙利、羅馬尼及「ユーゴ」、スラヴィアノ小麦ニ對シ輸入許可分配制度(Contingent)ヲ適用セハ多ク見積ルモ歐洲ノ要求スル小麦ノ十分ノ一(約百萬噸ト見積ル)カ其恩恵ニ浴スルヲ以テ海外諸國ヨリ最惠國待遇ノ要求アリトスルモ右ト同數量ノ小麦ニ對シ之ヲ許スニ止リ残り十分ノ八ニ關シテハ歐洲諸國ハ行動ノ自由ヲ留保シ得可ク從テ本制度ニ關シ海外諸國ノ同意ヲ得ルノ要ナキ旨ヲ述ヘタルモ伊國代表ハ「コンティンゼント」制度カ差別待遇ヲ招來スル次第ヲ説明シテ反對シ右提案ハ採擇ニ至ラス

(三) 農產物ノ取引分配組織ノ完成

議長ハ今日農業ノ危機ハ農產物ノ取引分配制度ノ不完全ナルニ依ル所大ナル旨ヲ指摘シ之ヲ改良スルニ於テハ有利ニ歐洲農產物ノ賣捌ヲ確保シ得ヘキ旨ヲ述ヘ各國代表之ニ同意スル處アリ佛國代表ハ唯取引ノ機關ヲ國際的ニ有效ニ組織スルコト困難ナリトシ先ツ各國ノ國內的機關ニ依ルコトノ必要ヲ説キ波蘭代表ハ農業國ノ農業組合ト工業國ノ消費組合トノ間ニ直接ノ取引關係ヲ設クルコト必要ナリトシ又羅馬尼代表ハ庫入制度ノ必要ヲ説ケリ

(四) 農業生産ノ合理化

佛國、羅馬尼、波蘭及和蘭等ノ諸國代表ハ海外諸國ノ競争ニ對抗シ國際市場ニ於テ其ノ地位ヲ確保センカ爲ニハ農業生産ノ合理化ハ絶對的必要事項ナリトシ關稅問題ト共ニ重要視スヘキコトヲ力説セリ佛國代表ハ合理化モ一般の方法ニ依ルコト困難ナレハ各國々内機關ニ於テ個々ニ之ヲ實行シ必要ニ應シ國內機關相互ノ連絡ヲ保ツ可キ中央機關ヲ設ケ單ニ農產物販賣ノ簡易方法ノミナラス生産ヲ世界市場ノ需要ニ調節セシムル爲メ諸國ニ於ケル生産ノ規則的ナル研究ヲモ爲サシムヘシト述ヘ凡テ歐洲市場ノ改善ニハ地方的機關ヲ土台トスヘク一般のナル中央機關ノミヲ以テスルコトノ不完全ヲ

指摘セリ、右佛國代表ノ意見ニ對シ埃國代表ハ各國々内の機關ハ往々自國ノ立場ヲ基礎トシテ研究スルノ結果一般的利益ヲ忘却スル虞アル旨ヲ述ヘタルモ多數代表ハ佛國代表ノ意見ニ賛成セリ

(五) 農業信用制度ノ必要

各國代表ハ一樣ニ農業信用制度ノ組織及發達ニ關シ國際的措置實行ノ必要ヲ認メ之カ爲ニハ工業國ノ協力ヲ得ルコトヲ要ストノ意見ナリキ

(六) 農產物ノ運搬ニ對スル便宜

本件ニ關シテ各國代表ハ農產物ノ販賣、分配ト關聯シ其ノ運搬ノ合理的ナル組織實現ノ爲協定作成ノ適當ナル可キコトヲ認メ又鐵道及船舶ニヨル農產品運送問題及農產品ニ課セラルル特別運送税ノ問題ヲ專門家ヲシテ研究セシムルコトヲ勸告ス可シトセリ特ニ伊國代表ハ簡易運送ノ原產地證明書、領事ノ查證複雑ナル通關手續ヲ全廢スヘシト述ヘタリ

(七) 家畜衛生條約締結ノ必要

波蘭、羅馬尼等ノ代表ハ家畜及植物保護ノ爲ノ手段カ屢農產物ノ自由取引ニ障害ヲ及ホス旨ヲ述ヘ之ニ關スル國際協定締結ノ必要ヲ力説セリ

(八) 間接保護手段ノ撤廢

和蘭、波蘭及伊太利ノ代表ハ外國產穀類ノ製粉制限、穀物ノ專賣、移動性關稅率 (Taris mobile)、關稅率ノ細分、原產地標證等ノ實行ニ依ル間接保護手段ヲ撤廢ス可シトシ特ニ和蘭代表ハ移動性關稅ハ經濟關係ノ安定ヲ害シ自國農業者ニ利益ヲ與ヘサルノミナラス投機ヲ誘致スルモノトシテ之カ廢止ヲ力説セリ

右ノ如キ討議ノ後分科會ハ波蘭代表ノ提案 (C. P. A. E. C./Com. II/5) ヲ審議セルカ右提案所載ノ諸點ハ既ニ分科會ノ討議セル事項ニ屬スルモノ多數ナルヲ以テ格別ノ議論ナク之ヲ報告者ニ移牒シ報告作成ニ當リ考慮ニ入レシムルコトトセリ報告者ハ前記討議ノ結果及波蘭提案ヲ考慮シテ一ノ報告案 (C. P. A. E. C./Com. II/8) ヲ作成シ分科會ニ提出セリ

右報告案ハ前述ノ如キ問題トナレル諸點ニ關シ討議ノ概要ヲ述フルト共ニ五個ノ結論ヲ包含ス、結論要旨左ノ如シ

(イ) 將來ノ交渉ノ「プログラム」作成ノタメ會議參加國ハ國際聯盟カ一方歐洲ノ農產物輸出入國、他方歐洲工業國ニ對シ相互ノ經濟關係發展ニ關スル希望ヲ明示シ接近ノ有效ナル方法ヲ指示スル覺書提出方依頼センコトヲ勸告ス

(ロ) 資本ノ缺乏ハ農工業國間ノ通商關係ノ發展ヲ妨ケ之カ爲著シク農業國ノ購買力ヲ低減シ其ノ結果ハ工業國產品ノ輸出ニ影響スルノ事態ニ鑑ミ本會議ハ國際聯盟カ萬國農事協會ト協力シ特殊ノ場合ニ對シ或ハ一般的ニ實現シ得ヘキ農業信用制度ニ關スル研究ニ着手センコトヲ希望ス

(ハ) 聯盟事務局カ諸國ニ於ケル家畜衛生ノ制度並家畜及畜產業品ノ輸出入關係法規ノ適用ニ關シ豐富ナル材料ヲ有スルニ鑑ミ會議參加國ハ右ノ研究カ出來得ル限り速ニ家畜衛生國際條約ノ形式ニ於テ實質的結果ニ到達スル様相協力センコトヲ約ス右ハ家畜及其製品ノ取引ヲ容易ナラシメ一切ノ差別待遇ヲ排除スルモノナリ

尙本會議ハ各國政府ニ對シ家畜衛生及植物病理ニ關スル二國間條約ヲ締結シ以テ其ノ通商條約ヲ補完センコトヲ報告ス(ニ) 農業國ノ農業組合ト工業國ノ消費組合間ニ直接ノ通商關係ヲ樹ツルコトハ右兩國間ノ通商發展ニ資シ得ヘキニ願ミ本會議ハ國際聯盟カ其ノ機關ヲシテ本目的達成ノ爲調査ヲ實行センコトヲ希望ス

(ホ) 本會議ハ聯盟理事會カ聯盟交通機關ヲシテ農產物ノ運送及其課税問題ヲ研究セシメンコトヲ依頼ス右報告案ハ分科會ノ審議ニ附セラレタルカ主トシテ字句ノ修正補顧ニ止リ格別ノ論議ナク採擇セラレ第二委員會本會議ニ提出セララルコトナリ (C. P. A. E. C./Com. II/8(1)) 右ヲ以テ第一分科會事業ヲ終了セリ

第二項 第二分科會議事經過

本分科會ハ「ニクル」(洪牙利代表) 議長ノ下ニ二月二十四日、二十五日ノ兩回會合討議ノ上報告案ヲ作成シ二十六日二

十七日ノ兩日之ヲ審議シ最終報告ヲ作成ス(本分科會ハ報告者ヲ任命セス)

議長ヨリ先ツ分科會ノ任務ハ關稅休戰條約締結後市場開發ノ爲ニスル一般協定ノ作成ニ當リ二國間條約ニ存スル最惠國條款ノ及ホス影響即チ一般協定ニ加入セサル國ノ地位如何ヲ研究スルニ在リト述ヘ一般討議ヲ促シ先ツ本問題ニ關スル經濟委員會ノ研究(C. 138. M. 53. 1929.)ニ關シ分科會ノ注意ヲ喚起セリ

次イテ分科會ハ一般討議ニ移レルカ右討議中發表セラレタル諸説ハ之ヲ

- (一) 最惠國條款ノ適用ヲ制限ス可カラストスルモノ
- (二) 一般協定ヨリ生スル利益ニ對シ最惠國條款適用ヲ制限ス可シトスルモノ
- ノ二ニ大別シ得ヘシ

(一) 最惠國條款ノ適用ヲ制限ス可カラストスルモノ

英國、伊太利及諸威等ハ何レモ無條件最惠國待遇主義ヲ採用スルヲ以テ其ノ適用ヲ制限シ得ストシ多數國條約ヨリ生スル利益ニ對シ最惠國條款ノ適用ヲ制限スルハ國際通商關係ノ發展ヲ阻害スルコト大ナリトシ現存通商條約中ノ最惠國條款ノ變更又ハ制限ハ相手國ノ同意ヲ得サル限り不可能ナルハ勿論將來締結スヘキ通商條約中ニモ此ノ種制限規定ヲ挿入スルコト不可ナル旨ヲ主張シ特ニ伊太利代表ハ此ノ種最惠國條款ノ制限ハ同條款ノ效果ヲ變シ其ノ根本精神ヲ滅却スルモノナリト述ヘタリ

(二) 一般協定ヨリ生スル利益ニ對シ最惠國條款適用ヲ制限ス可シトスルモノ

前述ノ主張ニ對シ和蘭、佛國、白國及獨國代表等ハ最惠國條款ノ無制限且無條件適用ハ一般經濟關係改善ヲ目的トスル一般協定ノ締結ヲ困難ナラシムルヲ以テ(非締約國ヲ不當ニ利スル結果ヲ生スル虞アレハ)右適用ヲ制限スルコト可ナルヘク勿論現存通商條約ノ變更ハ相手國ノ同意ナクシテ之ヲ行フコト不可能ナルハ明カナルモ將來ノ通商條約中ニハ國際聯盟主催ノ下ニ締結セラレ一切ノ國ノ加入ヲ認メラルル一般の性質ノ多數國條約ヨリ生スル利益ハ最惠國條款適用外

ナリトスル條項ヲ挿入スルコト可ナリトシ現ニ白國和蘭間、佛國瑞西間、和蘭暹羅間及和蘭埃國間通商條約中ニハ既ニ右制限ニ關スル條項ヲ挿入スルカ又ハ公文交換ヲ以テ制限ノ目的ヲ達シ居ルモノアル旨ヲ説明シ其ノ條項又ハ交換公文ヲ提示セリ

獨逸及丁抹代表ハ右ノ説ニ贊シ最惠國條款ノ適用制限ニ關シ二國間條約中ニ挿入スヘキ條項ノ「モデル」ヲ作成スルコト有效ナリト主張シ和蘭代表等モ通商條約中ニ斯ル例外ヲ認メントスル國相互ノ間ニ之ニ關スル一般協定ヲ締結スルコトモ可ナルヘシト述ヘタリ

伊太利代表ハ如何ナル形式ヲ以テスルモ各國カ最惠國條款ヲ適用スル自由ヲ制限スルノ思想ヲ一般協定中ニ入ル可カラスト固ク主張シ佛白兩國代表ハ吾人ハ最惠國條款ノ適用制限説ヲ主張スルモ右ノ主義ヲ各國ニ強ユルモノニ非ス之ヲ採用スルトセサルトハ各國ノ自由ナルモ將來二國間條約ノ締約國カ國際經濟政策發展ニ從ヒ其ノ條約ノ存在ノ爲ニ多數國協定ノ締結ヲ困難ナラシムル事實ヲ成ル可ク減少スルニ至ランコトヲ希望スト述ヘタリ

前述ノ如キ主義上ノ論議ノ後伊國代表ハ第十回聯盟總會決議ニ依ルモ本問題ハ關稅休戰協定成立後ニ於テ考慮セラル可キモノニシテ差當リ分科會ハ意見ヲ決定ス可キモノニ非ストシ英國代表ハ問題ハ經濟問題ナルモ結局政治問題ナレハ茲ニ主義原則ヲ決定スルモ無益ナル可キ旨ヲ述ヘ瑞西、羅馬尼代表ハ本問題ノ解決ニハ時日ヲ與フ可ク差當リ何等ノ決定ヲナサズ單ニ經濟委員會ノ結論ヲ了承スルニ止ムヘシト主張セリ

右ヲ以テ討議ヲ終了シ議長ハ前述各意見ヲ基礎トシ一ノ報告案(C. P. A. E. C/Com. II/3)ヲ作成シ分科會之ヲ審査セリ

右審議ニ際シ英、伊諸國代表ヨリ報告案ハ分科會討議中表ハレタル各種ノ意見ヲ充分ニ網羅セサルヤノ觀アル處報告ハ須ラク成ル可ク正確ニ事實ヲ認定スルモノタルヘク意見ノ表示タル可カラスト主張シ字句ノ修正補綴ヲ求メ分科會之ヲ討議シ報告案ノ第一讀會ヲ了シ次イテ右ノ結果修正セラレタル報告案(C. P. A. E. C/Com. II/3(1))ニ付キ第二讀會

ヲ開キタルカ多少ノ字句ヲ修正シテ可決シ以テ最終報告 (C. P. A. E. C/Com. II/3(2)) ヲ作成シ本分科會討議ヲ終了セリ

分科會ハ右報告中ニ討議ノ結論トシテ左記趣旨ノ諸點ヲ指摘セリ

(イ) 現存二國條約中ニ存スル最惠國條款ノ效力ハ關係二當事國間ノ協定ニ依ルニ非ラサレハ變更シ得ス

(ロ) 將來ニ關シテハ或國代表ヨリ最惠國條款制限ノ方法ヲ呈示セルカ右ノ方法ヲ實行スルヤ否ヤニ關シ諸國ハ完全ナル自由ヲ留保センコトヲ欲スルカ如シ(此ノ點ニ關シ原報告案ハ「最惠國條款適用制限ハ右條款ノ無制限適用ヨリ生スル不便ヲ補ヒ得ル適當ナル方法」ナル旨記載セル處英、伊兩國代表ハ右ハ分科會全體トシテノ意見ナルヤニ解セラルル虞アリトテ大ニ反對シ結局分科會ハ之ヲ削除シ前記ノ如ク簡單ナル形式トナル)

(ハ) 最惠國條款例外規定ノ「モデル」作成ノ當否及右例外規定ヲ將來ノ條約中ニ挿入スル爲ノ一般協定締結ノ當否ニ關シ分科會中ニ意見ノ相違アリ本件ニ關スル交渉ハ現在ノ事態ニ於テハ勸告スルニ不適當ノ如ク思考セラルルモ將來ノ研究事項タリ得ヘシ

(ニ) 或國代表ハ第十回聯盟總會決議ニ豫見スル一般協定ノ締結ハ將來ノ二國間條約中ニ無制限最惠國條款ノ例外ヲ認ムルコトニ依リ容易トナリ得可キコトヲ指摘セリ

最後ニ分科會ハ聯盟經濟委員會決定ニ係ル左記ノ原則ニ贊成ナルコトヲ表明ス

「本件例外ハ多數國條約ヨリ生スル利益ヲ要求スル國カ該條約ノ非締約國ナルモ當該事項ニツキ完全ナル相互主義ヲ許與スル用意アル場合ニ於テハ適用ナシ」

第三項 第三分科會議事經過

本分科會ハ「ボツセ」(獨逸代表)議長ノ下ニ二月二十四日ヨリ二十八日迄討議ヲ重ネタリ劈頭佛國代表「エルベル」ヲ報

告者ニ任命ス

本會議ノ任務ハ國際聯盟經濟機關ノ事業完成ノ爲執ル可キ手段ニ關スル研究ニシテ一ノ議題 (C. P. A. E. C/Com. II/1) ヲ基キ討議ヲ進メタリ右議題ノ順序ニ從ヒ議論ノ大要ヲ述フレハ左ノ如シ

第一、貨物ノ流通

(イ) 輸出入禁止制限撤廢條約ノ一般の適用及其ノ例外ノ廢止

關稅休戰條約案第七條ハ休戰條約締約國ハ輸出入禁止制限撤廢條約ノ規定ニ準據スヘキ旨ヲ規定スル處右ニ關シ多少ノ議論アリタルカ結局分科會ハ右第七條ノ採擇ハ本會議ノ權限ヲ超越スルモノナリヤ否ヤニ關シ意見ヲ發表スルノ限リニ非ストシ單ニ關稅休戰ト輸出入禁止制限撤廢條約トノ關係ノ密接ナルコトヲ指摘スルニ止メタリ次キニ輸出入禁止制限撤廢條約第六條ハ一時的及永久的ノ例外ヲ認メ居ル處一時的例外ハ條約ノ規定自身ニ依リ漸次廢止セラルルニ至リ且永久的例外ハ世界通商ニ對シ重要ナラサルモノノミナルニ鑑ミ分科會ハ特ニ其ノ廢止ヲ勸告セサルコトトス又同條約第四條及第五條モ或種ノ事項ニ關スル例外規定ヲ設ケ居リ之ニ付テモ多少論議アリタルモ分科會ハ右規定ノ變更ヲ「サゼスト」スルハ其ノ權限ニ非ストシテ之ヲ差控フルコトニ決定シ單ニ同條約ノ重要性ヲ高調シ成ル可ク多數國ノ參加ヲ望ム旨ノ希望ヲ表明スルニ止マル事トス

(ロ) 稅關手續簡捷條約ノ補完

分科會ハ本條約ノ國際通商上極メテ重要ナルヲ認メ成ルヘク多數ノ國特ニ歐洲諸國カ凡テ之ニ參加センコトヲ希望スルト共ニ本條約締約國ハ稅關手續簡捷ニ關シ更ニ一層ノ進歩ヲ實現セントスル意向ヲ表明ス可キモノトシ聯盟經濟機關ニ於テ其ノ進歩實現ノ可能ナルヘキ事項ト其ノ實現方法ヲ決定ス可キモノトナセリ

尙分科會ハ稅關手續ニ關スル事項ハ極メテ廣汎ニシテ單ニ本件條約ヲ改竊スルニ止ラス關係行政官廳ヲ會合シ實際の協定ヲ以テ解決スヘキ事項多數ナルヲ認メ本會議參加國ハ一樣ニ右ノ目的達成ノ爲ニ將來ノ一切ノ事業及會合等ニ協力參加スヘキモノナリトノ意見ナリキ

(ハ) 統一的關稅課稅品目稱呼ノ採用

佛國代表ヨリ本問題ハ現ニ國際聯盟經濟委員會ノ專門分科會ニ於テ研究中ナル處右研究終了後稱呼統一案ノ一般の採用研究終了迄ハ其ノ一部採用ニ關シ又現存又ハ將來ノ二國間若ハ多數國間ノ通商關稅協定ノ解釋及適用ニ關スル一切ノ爭議解決ノ爲聯盟理事會ノ下ニ一ノ常設の仲裁機關設置等ニ關スル提案アリキ (C. P. A. E. C./Com II/2)

分科會ハ右二問題ヲ一應論議セシカ (詳細ノ討議ハ第二委員會本會議ニ讓レリ、後出參照) 結局右ノ目的ヲ有スル條約案ヲ細目ニ互リ討議スルコトハ分科會ノ任務ニ非サルモ今後ノ研究題目トシテ注意ニ値スヘキヲ以テ經濟委員會カ專門委員會ヲシテ條約案作成ニ關スル準備事業ニ着手セシメント求ムルト共ニ他方諸國カ稱呼統一事業ノ漸次終了スルニ伴ヒ之ヲ自國ノ課稅稅目トシテ採用センコトヲ希望セリ

(ニ) 間接的保護手段ノ廢止

分科會ハ一切ノ間接的保護手段ヲ廢止スヘキ意見ニ一致シ其ノ手段トシテ

一、經濟委員會ハ現ニ實行シツアル本件研究ヲ促進スルコト

二、會議參加國ハ急速救済ヲ要スヘキ間接保護手段ノ各場合及保護手段ノ禁止ヲ規定スル二國間條約ヲ聯盟事務局ニ通知スルコト

三、右ノ材料ニ基キ經濟委員會ハ二國間條約中ノ關係條項ヲ集ムル條約案ヲ作成シ一般的約定トシテ採擇スルタメ之ヲ

一ノ國際會議ノ討議ノ基礎トシテ各國共右會議ニ參加スヘキコト

ノ三點ヲ指摘セリ

(ホ) 商事仲裁ニ關スル議定書及外國ニ於テ爲サレタル仲裁判斷ノ執行ニ關スル協定ノ實施

分科會ハ一九二三年ノ商事仲裁ニ關スル議定書及一九二七年ノ外國ニ於テ爲サレタル仲裁判斷ノ執行ニ關スル協定カ出來得ル限り多數ノ國ニ依リ實施セラレンコトヲ希望シ特ニ一九二三年ノ議定書締約國カ一九二七年ノ協定ヲ批准センコ

トヲ希望セリ

(ヘ) 國內産業保護ノ爲ノ輸出獎勵金及補助金ノ廢止

分科會ハ直接間接ノ獎勵金及補助金カ關稅ニ依ラス國際市場ニ於ケル競争條件ヲ變更シ以テ國際通商關係ニ影響ヲ與フル以上成ル可ク之ヲ廢止スルヲ要ストノ意見ナリキ但シ獎勵金補助金中ニモ右ノ如キ惡結果ヲ齎ササルモノアルヲ認メ分科會ハ此等補助金カ國際通商關係ヲ亂ル性質ノモノナラス單ニ國內産業及生産ヲ保護シ國內經濟力ノ自然的發展ヲ助長スルノ範圍ニ止ルモノハ之ヲ正當ナルモノト認メ得可シトノ意見ナリキ從ツテ分科會ハ聯盟經濟機關ハ一切ノ情報ヲ蒐集シ問題ノ各方面ヲ明瞭ニシ解決方法ヲ見出スニ努力ス可キモ特ニ

A、各國政府カ獎勵金、補助金制度設置ニ至レル理由

B、右獎勵金及補助金ノ正否

C、若シ正當ナラストセハ其ノ結果ニ若シム國カ執リ得ヘキ對抗手段

D、將來締結セラルコトアル可キ一般協定ノ締約國間ニ生スル紛爭ヲ一ノ常設の仲裁機關 (前記關稅課稅品目稱呼統一問題審議ノ際討議セラレタル機關) ニ附スルコトノ當否

ヲ研究スルコトヲ要ストセリ

第二、資本ノ流通

(イ) 二重課稅及脫稅防止協定ノ一般化

會議參加國ハ二重課稅及脫稅防止ニ關スル二國間條約ヲ一般ニ普及セシムル爲成ル可ク速ニ交渉ヲナスヘク之カ爲ニハ曩ニ聯盟主催ノ下ニ各國政府專門家會合ニテ作成セラレタル協約案カ最モ有用ナルモノタル可シトノ分科會ノ意見ナリ

(ロ) 信用證券ニ關スル法制ノ統一

分科會ハ手形及小切手等ニ關スル所謂大陸法制ノ統一カ國際通商關係ノ發展ニ資スル所大ナル可キニ鑑ミ本會議參加國カ本年五月十三日ヨリ舊府ニ開催セララルヘキ本件統一會議ニ等シク參加シ實際的ナル結果ニ到達スル様努力センコトヲ

希望セリ

第三、人ノ移動及活動

(イ) 入國問題ヲモ包含スル外國人待遇ニ關スル國際條約ノ締結

分科會ハ昨年十一月巴里ニ開催セラレタル外國人待遇條約締結會議第一回會議終了議定書ヲ了承シ該會議ノ爲シタル準備の事業ノ極メテ有益ナルヲ認メ諸國カ最モ自由ナル基礎ニ於テ該條約作成ニ努力スヘキモノトナセリ
尙入國問題ニ關シテハ本會議ハ單ニ第十回聯盟總會ノ經濟關係ノ決議即チ經濟委員會ハ速ニ外國人入國問題ノ研究形式及範圍ニ關スル情報ヲ理事會ニ提出スヘキ趣旨ノ決議ヲ了承スルニ止メ且經濟委員會カ入國問題ニ關スル協定實現ノ方法ヲ審議センコトヲ「サベスト」スルニ止ムルコトトス

第四、農 業

(イ) 國際家畜衛生協定ノ締結

分科會ハ本件協定ハ其ノ協定事項ノ重要ナルノミナラス農工業國ノ利益ノ協調ヲ圖ルニ最モ重要ナル手段タルニ鑑ミ聯盟ノ招集セル専門家ノ事業及其ノ進歩ヲ了承シ且右事業ハ近ク經濟委員會ニ提出セラレ同委員會ハ之ニ基キ本年內ニテモ本件條約締結ノ爲ノ國際會議招集ヲ理事會ニ提案スルニ至ルヘキコトヲ認メタリ

(ロ) 一九二九年四月羅馬ニ於テ署名セラレタル植物病理條約ノ適用

分科會ハ本件條約カ一般ノ諸國ニ依リ速ニ批准セラレンコトヲ希望シ且經濟委員會ヲシテ植物保護問題ノ通商方面ニ關シ技術的の見地ヨリ研究セシムルコト可ナルヘシトノ意見ニ一致セリ

(ハ) 農業信用組織

初メ分科會ハ本問題ハ第一分科會所屬事項ナルコトヲ認メタルモ兎ニ角一應ノ討議ヲ爲スコトトセリ

分科會ハ農業信用組織ヲ助長スル一切ノ手段ニ賛成ニシテ本問題ニ關シ特ニ萬國農事協會ノ爲セル研究ニ満足ノ意ヲ表

スルト共ニ國際聯盟ト同協會トノ協力ニ依リ或ハ特定國ノ事態救済方法ヲ研究シ又ハ一般的ニ國際農業信用組織ノ確保方法ヲ研究シ以テ本問題ノ満足ナル解決ヲ見出サムコトヲ希望セリ

(ニ) 農產品ノ庫入及其ノ國際的販賣組織

本件ハ第一分科會ノ所管事項トシテ本分科會ニテ討議セサリキ

(ホ) 原產地稱呼

本問題ハ議題中ニ掲ケラレサル處伊國代表ノ提案ニ依リ分科會ハ或土地又ハ氣候ニ依リ特性ヲ有スル物品ノ原產地稱呼保護問題ニ關シ討議セリ分科會ハ右伊國代表ノ提案ニ基キ本問題ニ關スル「マドリッド」協定ハ不充分ナレハ聯盟經濟機關ヲシテ不正競争ノ一方面トシテ之ヲ研究セシメ「マドリッド」協定修正ノ當否又ハ特別ナル國際協定作成ノ當否ヲ審議セシムルコト可ナルヘシトノ意見ナリキ

第五、工 業

(イ) 工業協定

分科會ハ單ニ本問題ニ關スル經濟委員會ノ法律的及經濟的兩方面ニ於ケル研究力速ニ満足ナル結果ニ達センコトヲ希望スルニ止メタリ

(ロ) 合理化

分科會ハ本件ニ關シ聯盟經濟機關ト勞働科學的組織國際學院 (Institut international d'Organisation Scientifique du Travail) トノ間ノ協力繼續ヲ希望シ且ツ運送事項ニ關シテモ合理化問題ノ存スルコトヲ忘却ス可カラサルコトヲ注意セリ

第六、運 送

(イ) 運送ニ關スル國際協定ノ一般化

分科會ハ運送ニ關スル現存國際協定ノ成ル可ク多數國ニ依リ批准セラレンコトヲ希望シ且目下着手中ノ商用自動車通行

及一般的道路通行ニ關スル國際協定作成ノ研究カ速ニ到ランコトヲ希望セリ尙分科會ハ一九二一年ノ「バルセロナ」條約追加議定書ノ原則ヲ採擇スル内外航行ニ關スル國際協定作成ノ可否ヲ研究スルコト適當ナリト認メ且運送ニ關スル諸國際協定ヲ凡テ交通自由ノ原則ニ準據セシムルコトノ能否ヲ研究スルタメ右諸協定ノ主要精神ヲ審查スルコト有益ナリト認メタリ

(ロ) 鐵道運賃ノ調節

分科會ハ或種ノ輸入運送税及外國商品ニ對シ差別待遇ヲ設クルカ如キ或種ノ内國税ハ一種ノ間接的保護手段ヲナスモノニシテ之カ對抗手段トシテ曩ニ本分科會カ一般間接的保護手段對抗策トシテ推擧セルト同一ノ手段ヲ採ルコト可ナルヘシトシ又輸出ニ對スル特別運送税ハ間接的輸出獎勵金ト見做サレ得ヘキカ故ニ之ヲ研究シ前述輸出獎勵金及國內産業保護補助金ニ對スルト同一手段ニ依リ之ヲ矯正スルコト適當ナリトノ意見ナリキ

第七、統 計

分科會ハ特ニ一九二八年十二月十四日ノ國際經濟統計條約締結ニ依リ統計ニ關シ進歩ヲ見タルコトニ満足ノ意ヲ表スルト共ニ右條約補完ノ爲聯盟ト國際商業會議所トカ共同ニ爲シタル各種ノ協定ヲ了承シ右兩者ノ協力ニヨリ満足ナル結果ニ到着センコトヲ期待セリ

右ヲ以テ本分科會ノ討議ヲ終了シ報告者佛國代表「ユルベル」氏ヨリ報告案(C. P. A. E. C/Com. II/7)ノ提出アリ分科會之ヲ審議セルカ多少ノ字句ノ修正アリタルノミニテ之ヲ可決シ以テ本分科會ノ最終報告(C. P. A. E. C/Com. II/7 (二))トセリ

第三款 經濟協調ノ爲メノ將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル議定書案ノ作成

第一項 概 說

前記ノ如ク第二委員會ノ三分科會報告作成セラレタルヲ以テ委員會ハ三月一日ヨリ本會議ヲ開催シ之ヲ審查セルカ之ニ先チ本委員會報告者トシテ波蘭代表「ドレザル」、伊國代表「チャンカレリ」兩名ヲ任命セリ

右分科會報告審查ハ三月一日、三日及四日ノ三日間ヲ以テ終了シ(其ノ審查要領ハ後述ノ如ク「將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル協定案」附屬書審查ノ項ニ於テ一括シテ略述スヘシ)引續キ本委員會ハ白、埃、ルクセンブルグ」及和蘭ノ四國代表ヨリ提出ノ將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル協定案(C. P. A. E. C.)ヲ討議セルカ其ノ結果右協定案規定ノ諸點ハ三分科會所載事項ト重複又ハ矛盾スル處アルヲ以テ之ヲ調和整頓セシムルト共ニ三分科會報告ハ協定ノ附屬書トシテ之ニ添附シ以テ兩者ヲ合シ一個ノ協定案トスルコトニ決定シ右調和事務ヲ前記二報告者及協定案提出者ノ一人タル白國代表「ヴァン、ランゲンホーヴ」ニ委託セリ

委員會ハ右三名ヨリ新草案(C. P. A. E. C/Com. II/11)ノ提出ヲ待ツテ之ヲ審議シ右ヲ以テ協定案及其ノ附屬書(即チ三分科會ノ報告ナルモ協定案ノ附屬書トセラレタルヲ以テ其ノ内容モ分科會ノ意見、希望又ハ勸告タルノ形式ヲ執ラス凡テ本會議自身ノ勸告又ハ意見タルノ形式ヲ執ル但シ意見ノ一致ヲ見サリシ點ニ關シ或代表ノ意見ヲ記載スル點ハ此限ニ非ス)ノ第一讀會ヲ了シ右第一讀會ノ結果修正セラレタル案(C. P. A. E. C./8)ニ付三月二十一日及二十二日ノ兩日第二讀會ヲ開催シテ之ヲ審議決定シ以テ本會議總會ニ提出セリ

左ニ先ツ四國提案審議ノ經過ヲ記シ分科會報告ノ審查要領ハ協定案附屬書審查ノ項ニ於テ之ヲ略述スヘシ

第二項 議定書案ノ作成ニ至ル經過

第一、將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル四國提案ノ一般的討議

經濟協調ニ關スル將來ノ交渉ノ「プログラム」作成ヲ委託セラレタル第二委員會ノ討議ハ或ル具體的基礎案ニ依ルトキハ遙ニ容易ナル可シトノ目的ヲ以テ白、埃、ルクセンブルグ」及和蘭ノ四國代表ヨリ一ノ提案(C. P. A. E. C. 5)アリキ(本

案ハ既ニ二月二十五日提出セラレシモ之カ審議ハ分科會報告審査後三月四日ヨリ開始セラレタリ）右提案ノ要旨左ノ如シ
 第一條 歐洲ノ經濟復興ノ爲國際の共同措置ノ必要ナルコト右共同措置ハ主トシテ物質の利益ノ爲ナナルモ國際協調ヲ増進シ平和ノ確保ヲ忘却スルモノニ非ス又歐洲民族ノ富、幸福ノ増進ヲ目的トスルモ右ハ世界ノ各民族ノ繁榮ニ貢獻スルモノナルコト

第二條 歐洲ノ經濟復興ハ歐洲諸國間ニ於ケル人、資本、貨物ノ自由ナル移動、外國人ノ自由ナル經濟活動實行ヲ直接又ハ間接ニ制限シ又ハ妨害スル各種ノ手段ヲ漸次廢除スルニアリ右ハ廣キ經濟協調地域ヲナスモノナルコト

第三條 第六、第七、第八條ノ「プログラム」ニ準據シ國際的交渉ヲ實行スルコト

第四條 將來ノ協定ハ何等國家ノ主權、獨立及公益ヲ害スルモノナラサルコト

第五條 最惠國條款ハ或種多數國間條約ヨリ生スル恩惠ヲ要求スルノ權利ヲ與フモノナラス但シ右條約ノ非締約國カ事實上ノ對價ヲ與フル時ハ此限ニ非サルコト

第六條 第三條ノ國際的交渉ハ先ツ一般的通商條約ノ締結ヲ目的トスルコト右ハ第一條及第二條所定ノ目的ニ達スル第一歩ニシテ更ニ他ノ交渉ヲ繼續開始スルノ要アリ各國ハ先ツ他國ニ於テ蒙ル主タル輸出障害ヲ指摘スル覺書ヲ聯盟事務總長ニ提出スルコト

第七條 農產物輸出ニ關シ第六條ノ覺書ノ範圍ニ入ラサル要求ヲ爲サントスル者ハ特別説明書ヲ事務總長ニ提出シ經濟委員會之ヲ研究シ利害調節ニ關スル意見ヲ開示スルコト

第八條 人、資本、貨物ノ移動及通商障害問題ニ關スル研究事項ヲ列舉ス（前記第三分科會ノ取扱ヒタル諸點ヲ單ニ列記セルニ止ル）

右提案ニ關シ先ツ一般討議ヲナセルカ其ノ要旨左ノ如シ

（イ） 先ツ問題トナリタルハ本提案ハ單ニ之ヲ勸告ノ形式トナスヘキヤ又ハ各國政府ノ約定トナスヘキヤノ問題ナリ

伊國代表ハ吾人ノ任務ハ「プログラム」ノ細目ヲ決定セス單ニ一般的大綱ヲ示スニ止メ聯盟經濟機關ノ爲ニ活動ノ「プログラム」ヲ立ツルコトトスヘシ本案規定ノ事項ハ極メテ重大ニシテ深ク研究ノ要アリ今直ニ各條ヲ審議スルコト不能ナルノミナラス右ハ吾人ノ任務ノ範圍ヲ超越スルヤノ嫌アレハ本案ハ單純ニ聯盟經濟機關ノ審査ニ付シ同機關ヨリ將來ノ會議ノ基礎トナルヘキ「プログラム」ヲ提案セシム可シト主張セリ

波蘭代表ハ本案ノ趣旨ニ賛成ナルモ手續トシテハ右伊國代表ノ意見ヲ支持スル旨ヲ述ヘタリ

右ノ如キ意見ニ對シ佛、獨、白、丁抹及瑞西等ノ各代表ハ元來關稅休戰ハ目的ニ非スシテ手段ナリ目的ハ將來ノ交渉ニ依リ歐洲延イテ世界ノ經濟的安全ヲ確保スルニアレハ此ノ意味ニ於テ各國カ將來ノ交渉ニ參加スルノ約定ヲナスコト最緊要ナリト主張シ議長モ亦同一意見ナリキ（但シ右ハ本案ノ各條ニ對スル同意ヲ表スルモノニ非ス）

特ニ丁抹代表ハ所謂勸告ノ形式ニ止メ問題ノ研究ヲ專門家ニ一任スルハ成功ノ手段ニ非ストシ獨逸代表ハ分科會報告中ニモ聯盟經濟機關ヲシテ研究セシムヘキ問題多數アリ本案ヲ更ニ右機關ノ研究ニ附スル時ハ問題過多ニシテ結果ヲ擧ゲ得サルノ虞アレハ各問題ノ間ニ緊急着手ノ要アルモノト然ラサルモノトヲ區別ス可シト説ケリ

瑞西代表ハ將來ノ交渉實行ノ爲ニハ關稅休戰又ハ之ニ類似ノ方法ニ依リ信頼ノ精神ヲ醸成スルコト必要ナル旨及經濟的共同措置ノ問題ハ數年來聯盟經濟機關ノ研究スル處ナリシカ其ノ結果通商障害ノ除去及具體的方法ニ依リ歐洲經濟組織ノ改善ノ二點カ最も重要點トシテ論セラレ後者ニ付テハ「カルテル」ノ方法ニ依リ工業組織ノ改善等ヲ主張スル者アルモ之ハ尙時期至ラサルニ反シ前者ニ付テハ眼前ニ本委員會分科會ノ報告及四國提案アリ之ヲ利用スルコト必要ニシテ其ノ方法トシテハ勸告又ハ聯盟經濟機關附託等ノ方法アルモ或種協定ノ形式ニ依リ各國政府間ノ約定トスルコト絕對ニ必要ナリト主張セリ

英國代表ハ關稅休戰成立スルモ之ヲ以テ關稅問題ハ終結ヲ告ケタルモノニ非ス又關稅問題カ唯一ノ問題ニ非サレハ今後稅率低減其ノ他各種ノ交渉ヲ繼續實行ス可キコトヲ認メタルモ各條ニ互ル意見ノ發表ヲ差控エ大體本案ヲ承認セルニ止

(ロ) 次ニ四國提案ノ内容ニ關シ「レットニー」代表ハ第一條中ノ「歐洲ノ經濟復興ハ先ツ歐洲ノ地域の分割ヨリ生スル各種ノ困難ヲ救済スヘキコト」ヲ定ムルモ右「歐洲ノ地域の分割」ナル字句ハ誤解ヲ生スル虞アリトテ之カ修正ヲ提案セリ

佛國代表ハ第五條ノ最惠國條款ノ例外ニ付テハ歐洲諸國ノ利益ト地方の協定トノ調和ヲ考慮シ地方の協定(歐洲協定)ハ最少必要限度ニ限ルコト及一切ノ國ニ對シ右協定ニ參加スルノ可能性ヲ認メ以テ其ノ普遍性ヲ失ハシメザランコトノ二點ヲ注意ス可シトシ又第六條ハ「各國カ他國ニ於テ蒙ル主要障害ヲ指摘スル覺書提出」ヲ規定スル處右手續ニ從フ時ハ恰モ一種ノ廣汎ナル起訴狀ヲ蒐集スルコトナルヘク若シ後日ノ會議ニ於テ之ヲ審査ストセハ會議ハ各國ノ相反スル賠償請求ノ仲裁機關タルニ終リ不都合ナレハ寧ロ佛國提案ノ如キ質問集(C. P. A. E. C/Com. II/9)ヲ以テ調査ヲ實行シ相異レル經濟の利害ノ調和ニ關シ意見ヲ定ムルコト可ナル旨ヲ述ヘタリ

英國代表ハ本案中第六條ハ最重要ニシテ其ノ手續ハ極メテ事宜ニ適セルモノトシテ贊成シ蒐集セラレタル材料ハ經濟委員會ヲシテ研究セシメ以テ將來ノ交渉ノ「プログラム」ヲ作成セシム可ク速ニ第一回會議ヲ開催ス可キコトヲ主張シ瑞西委員ハ第六條ノ「一般の通商條約ノ締結」ニ關シ此ノ手段ニ依リ進歩ヲ實現スルコト可能ナリト信スルモ各利害關係者ノ要求ヲ全部網羅スルコト不可能ナレハ各物品別ニ之ヲ行フコトノ必要ヲ説ケリ

(ハ) 次ニ四國提案ノ規定事項ト分科會報告トハ重複又ハ矛盾スル處アルヲ以テ之ヲ調節スルコトノ必要ヲ説クモノ多ク原案提出者モ之ヲ承認セリ

前述ノ如キ論議ノ結果曩ニ本提案ヲ單純ニ經濟委員會ノ研究ニ附ス可シト主張セル伊國代表モ右ノ各議論及分科會報告ヲ參酌シテ四國提案ヲ修正シ更ニ審議スルコトニ贊成セルヲ以テ議長ハ本委員會兩報告者ヲシテ原案提出者ノ一人タル白國代表「ヴァン、ランゲンホーヴ」ト協力シ右修正案ヲ作成セシムルコトトセリ

第二、將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル四國提案修正案審議

前述ノ委員會決定ニ從ヒ本委員會兩報告者ヨリ四國提案ノ修正案(C. P. A. E. C/Com. II/11)提出アリタルヲ以テ委員會ハ三月七日之ヲ審議セリ

右修正案ハ本文六條及附屬書(三分科會報告ノ形式内容ヲ修正シ本文ト調和セシメタルモノ)ヨリ成リ本文第一條乃至第四條ハ前記四國提案ノ第一條乃至第四條ト同趣旨ニシテ第五條及第六條ニ於テ原案ト異ル、右兩條ノ要旨左ノ如シ

第五條 「將來ノ交渉ニ關スル手續規定」交渉ハ關稅休戰條約ヲ締結シ確實ナル基礎及信賴ノ精神ヲ醸成セル諸國間ニ於テ爲サル可キモ其ノ他ノ國ヲモ招請シ得ヘシ手續左ノ如シ

參加國政府ハ本年五月十五日迄ニ各自ノ希望特ニ農工業品ノ歐洲市場ヘノ輸出可能性ニ關スル希望ヲ要載セル覺書ヲ聯盟事務總長ニ提出スヘシ聯盟事務局ハ右覺書ヲ整理シ之ヲ經濟委員會ニ提出シ該委員會ハ解決スヘキ問題ノ間ニ前後ノ別ヲ立テ特ニ緊急解決ノ目的タリ得可キモノヲ指摘シ交渉實行ノ最モ適當ナル手段ニ關スル提案ヲ爲スヘシ右提案ハ諸國政府ノ協賛ヲ得ル爲メ今秋初政府代表者會合ヲ開催シ之ヲ提出スヘク右會議ニ於ケル各代表者ハ本年內ニ第一回交渉ヲ開始スルノ重要性ヲ考慮シ一切ノ決定ヲ爲スヘシ

第六條 人及貨物ノ國際的移動問題モ貨物交換問題ト並行シテ研究セラル可ク又通商障害ハ單ニ關稅率ノ程度ニノミ係ルモノナラサルコトヲ認メ各政府ハ特ニ(一)統一の關稅課稅品目稱呼採用ノ爲ノ國際會議ニ參加スルコト(二)本年內ニ家畜衛生條約締結ノ爲ノ國際會議開催ニ協力スルコト(三)外國人待遇會議ノ成功ノ爲ニ努力スルコト(四)間接保護手段ノ各場合及右手段ノ禁止ヲ規定スル國際協定ヲ聯盟事務局ニ通告スルコト(五)輸出獎勵金及補助金ニ關スル情報ヲ供給スルコト(六)二重課稅防止ノ爲ノ交渉ヲ開始スルコト(七)稅關手續簡捷條約ノ精神勸告ノ適用ヲ目的トスル各種會合ニ參加スルコトヲ約ス

右修正案ニ對シ先ツ伊國代表ハ一般の意見ヲ發表ス可シトテ最モ多數國ノ參加ヲ得ル爲ニハ案ノ全體ヲ緩和スルヲ要シ先

ツ第一條乃至第四條ハ哲學的意見ノ發表ニ止リ協定文タルニ適セス之ヲ本文ヨリ除クコト適當ナリトシ第五條ハ聯盟經濟機關及各國政府ニ對シ準備手續ヲ決定スルニ止リ即チ第六條所定ノ將來ノ協定ニ達スヘキ準備手續ニシテ普通聯盟事務局ノ實行スル手續ニ比シ何等改善セラレタル處ヲ見サルノミナラス却ツテ本條ハ餘リニ截然タル方法ヲ以テ手續ヲ決定シ聯盟經濟機關ノ自由ナル研究繼續ヲ害スルヤノ疑アリ加フルニ本條ハ農工業品ノ輸出ニ關スル各國ノ希望通告ヲ求メ居リ必然的ニ各國ノ經濟政策ニ付其ノ動機、主義ノ發表ヲ求メ各國カ自ラ適當ナリトスル政策ヲ採用スルノ自主權ニ觸ルルノ危險アリ從ツテ本協定ニ多數國ノ參加ヲ困難ナラシムル傾向アレハ之ヲ修正スルノ要アリトシ又第六條ニ付本條コソ將來ノ交渉ノ「プログラム」ノ基礎タルモノト認ムルモ本條ニモ一ノ缺陷アリ即チ海外諸國ヲ度外視セルコトナリ勿論第一條及第二條ニ世界的經濟復興ノコトヲ一言スルモ斯ル海外諸國ト重大關係アル問題ヲ決スルニ當リ其ノ存在ヲ無視スルハ不可ニシテ海外諸國ハ原料品食料品ノ大生産國タリ歐洲ハ其ノ消費國タル事實ヲ忘却ス可カラス右諸國ノ參加ヲ考慮セサレハ本會議最終ノ目的ヲ達シ得サル旨ヲ述ヘ聯盟經濟機關ヲシテ海外諸國ト歐洲諸國トノ緊密ナル關係ヲ立ツル方法ヲ研究セシムルコトヲ要スト主張セリ

右伊國代表ノ主張ハ要スルニ(一)第一條乃至第四條ヲ削除シ其ノ思想ヲ簡單ニ他ノ方法ヲ以テ表示スルコト(二)第五條ノ削除又ハ修正(三)第六條ノ補完ノ三點ナリ右(一)ニ關シテハ佛、和、獨、瑞西及洪牙利其ノ他ノ各代表何レモ同意見ニシテ殆ント論議ヲ見ス特ニ佛國代表ハ前文ヲ左ノ如ク修正シ第一條乃至第四條ニ代フヘシト提案セリ(C. P. A. E. C/Com. II/12)

「各國政府ハ一九二七年國際經濟會議ノ決議ノ迅速且有效ナル適用ヲ確保センコトヲ欲シ歐洲諸國ト海外諸國トノ關係ヲ簡易ナラシムル様歐洲經濟ノ復興、生産通商制度ノ改善及歐洲市場ノ擴張ヲ目的トスル共同措置ヲ實行シ以テ國家間ノ經濟的平和ヲ確立スルノ意思ヲ以テ次ノ如ク原則ヲ定ム……」

前記(二)ノ點ニ關シテハ多大ノ議論アリ英國代表ハ第五條ニ依リ各國ノ負擔スル義務ハ意見ノ通告及或會合ノ參加ニ止

リ何等決定のナル解決ヲ受諾スルノ義務アルニ非ス各國政府ハ今後事業ノ進展ニツレ隨時其意見ヲ發表シ得可ク又國家ノ自主權トハ何等關係スル所ナシ元來第六條所載ノ特別ナル事項ニ今後ノ會議ノ努力ヲ限ラントセハ關稅休戰條約ヲ締結シ所謂相互信賴ノ精神ヲ醸成スルノ要ナカルヘク第五條削除ハ本協定ノ基本分子ヲ除クコトナル可シト述ヘ協定案ヲ全般トシテ承認スル旨聲明セリ

和蘭代表モ右英國代表ノ意見ヲ支持シ本協定案ヲ國家間ノ約定ノ形式トスルモ若シ第五條所定ノ手續ナキニ於テハ一九二七年ノ國際經濟會議ノ決議實行ノ爲ノ國家ノ措置ハ遂ニ實現セラレサルヘキ旨ヲ述フ

洪牙利代表ハ第五條ハ決シテ手續問題ノミヲ規定スルモノト思考セス何トナレハ第五條所定ノ覺書ハ第六條列記ノ諸點ニ關スルモノタル可ラス第六條所載ノ事項ニ關シテハ夫々特別ノ手續カ規定セラレアルヲ以テ第五條ハ正ニ關稅問題特ニ關稅問題ニ關スル多數國間協定締結ニ關スルモノナリ然ルニ右多數國間協定ノ可否ニ付各國間ニ意見ノ相違アレハ若シ第五條ヲ削除スルニ於テハ少クモ本協定案中ニ選擇條項ヲ設ケ多數國間協定ニ依リ關稅問題ヲ解決シ得可シト考フル國カ其ノ意見ヲ發表スルコトトナス可シト述ヘタリ

又白國代表ハ第五條及第六條ハ相互ニ補足シ不可分ノモノニシテ主要精神ハ第六條ニノミ存セサル旨ヲ說ケリ佛國代表ハ第五條ノ手續ハ餘リニ繁雜ナルノミナラス辭句ノ明瞭ヲ缺キ回答ニ困難ナリトシ寧ろ第五條ニ代フルニ佛國提案ニ係ル質問集(C. P. A. E. C/Com II/9)ノ方法ニ依ランコトヲ更ニ「サゼスト」セリ

獨逸、瑞西及羅馬尼等ノ代表何レモ第五條ノ精神ハ承認スルモ其ノ手續ヲ簡單ニスルコトヲ要スヘシトシ右佛國代表提案ヲ支持シ其ノ質問集ヲ基礎トスルコトニ賛成セリ

論議ノ末結局議長ノ提案ニ依リ第一條乃至第四條ノ處置並第五條及第六條ノ修正ノ當否ヲ研究セシメ必要アラハ新「テクニスト」ヲ作成セシムル爲「サー、シドニー、チツブマン」(英)「エルヘル」(佛)「イムホフ」(獨)「ド、ミケリス」(伊)「スチュッキ」(瑞西)「ヴァン、ランゲンホーヴ」(白)「ド、ニクル」(洪牙利)(初メ議長ハ「ド、ニクル」ヲ除ク六名ヲ指名

セシカ瑞西代表ヨリ先ニ「ド、ニクル」ノ爲セル第五條ノ解釋ハ極メテ重要ナレハ同氏ヲモ小委員會ニ加ヘラレ度キ旨ヲ述ヘ之ニ決定セル次第ナリ」ノ七名ヲ以テ小委員會ヲ構成スルコト、ナレリ

第三、七人委員會提出協定案審査

前記委員會ノ決定ニ基ク小委員會ヨリ新ナル協定案 (C. P. A. E. C./Com. II/14) ノ提出アリタルカ該案ハ前回委員會ノ討議ヲ參酌シ作成セラレタルモノニシテ前文、協定本文三ヶ條、最終議定書及附屬書ノ四部ヨリ成ル
前文ハ前回委員會討議ノ結果報告者作成草案 (C. P. A. E. C./Com. II/11) ノ第一條乃至第四條ヲ削除シ之ニ包含スル大體ノ精神ヲ書キ表セルモノナリ

最終議定書ハ前記報告者作成草案審議ノ際伊國代表ヨリ第六條ノ缺陷トシテ歐洲諸國ト海外諸國トノ緊密ナル協力問題研究ノ不充分ナルヲ指摘シ之ヲ補フ爲一ノ提案 (C. P. A. E. C./Com. II/13) ヲ爲セルヲ以テ右ヲ茲ニ規定スルニ至レルモノナリ其ノ要旨左ノ如シ

本會議ハ歐洲經濟ニ對スル海外諸國市場ノ重大ナル鑑ミ一切ノ可能ナル方法ヲ以テ右市場ニ於ケル歐洲ノ地歩ヲ擴張スルコト歐洲ニ對シ大ニ有益ナルヲ思ヒ海外諸國ノ多クハ原料品及食料品ノ生産者ニシテ歐洲ハ其ノ主要ナル消費者ノ一タルニ顧ミ且本會議ノ豫定スル將來ノ交渉カ完全ナル結果ヲ得シカ爲出來得ル限リ海外諸國ヲ之ニ參加セシムルコト有益ナルヲ考慮シ聯盟經濟委員會カ至急歐洲ト海外諸國トノ間ニ緊密ナル協力ヲ確立シ得可キ方法ノ研究ヲ特ニ相互ノ利益トナル可キ兩者間ノ通商事項ヲ審査シテ實行センコトヲ勸告ス

附屬書ハ分科會報告ノ形式ヲ變更セルモノナルコト前報告者作成案 (C. P. A. E. C./Com. II/11) ニ於ケルト同様ナリ

本文第一條ハ報告者作成草案 (C. P. A. E. C./Com. II/11) 第五條ヲ修正セルモノニシテ大體之ト趣旨ヲ同ウスルモ兩者ノ異ル主要點ハ

(一) 經濟關係改善ニ達スル手段トシテ良好ナル生産組織及貨物ノ合理的ナル分配手段ト共ニ關稅問題特ニ關稅低下ノ手

段ヲ高調セルコト

(二) 報告者案ハ「參加國政府ハ本年五月十五日迄ニ各自ノ希望特ニ農工業品ノ歐洲市場ヘノ輸出可能性ニ關スル希望ヲ要載セル覺書」ヲ提出ス可キ旨規定セルニ反シ新案ハ「諮問ヲ受ケタル國ハ左記ノ如キ第一條附屬質問集ニ對スル回答ヲ本年五月十五日迄ニ提出スル様招請セラル、コト」ヲ規定ス(前述佛國提案ヲ採用セルモノナリ)

(イ) 諸國ニ於ケル剩餘農產物如何、該農產物ノ通常販路如何、通常販路及其ノ他ノ生産不足ヲ訴フル國ニ向ツテ該剩餘品ノ賣捌ヲ確保スル實用手段如何

(ロ) 消費國ノ購買力ヲ増加シ工業品賣捌ヲ容易ナラシムル實用手段如何

(ハ) 前記(イ)及(ロ)所載ノ物品ニ對シ市場擴張及國際取引改善ニ資シ得ヘキ關稅上及行政上ノ手段如何

(ニ) 各國間ニ於ケル歐洲原料品ノ流通及其ノ最善ナル利用ヲ確保スル實用手段如何

(三) 其ノ他手續ノ點ニ付些少ノ相違アルモ大體新案ハ報告者案ノ趣旨ヲ採用ス

本文第二條ハ報告者案第六條ヲ採用セルモノニシテ兩者ノ間多少字句及規定手續ノ相違アルモ其ノ趣旨ニ變ル所ナシ
本文第三條ハ今回新ニ附加セラレタルモノニシテ單ニ「將來ノ事業特ニ第一條及第二條適用ニ際シ本協定附屬書所載ノ勸告及意見ヲ參酌スルコト」ヲ規定ス

委員會ハ三月十四日及十五日ノ兩日右七人委員會提出協定案ニ對スル英、佛、獨、白、波蘭及洪牙利等ノ代表ヨリ提出ノ修正案 (C. P. A. E. C./Com. II/14(a); C. P. A. E. C./Com. II/14(b)) ヲ審議シ之ヲ以テ第一讀會ヲ終了セリ而シテ右第一讀會ノ結果修正セラレタル協定案 (C. P. A. E. C/9) 及之ニ對スル佛、獨及伊各國代表ヨリ提出ノ修正案 (C. P. A. E. C/10; C. P. A. E. C/11; C. P. A. E. C/15; C. P. A. E. C/16) ヲ付三月二十一日及二十二日兩日ニ互リ第二讀會ヲ行ヒ以テ第二委員會ニ於ケル協定案討議ヲ終了シ之ヲ會議總會ニ提出セリ

左ニ前文、各條、最終議定書及附屬書ノ各項ニ分チ第一、第二兩讀會ヲ通シ議論ノ要點ヲ述フヘシ

第一讀會ニ於テ洪牙利代表ハ本前文前段ニ署名者ハ或一定ノ目的ヲ有スル共同措置ヲ實行センコトヲ決定スル旨ト規定セラレ居ル處第二條ニ於テハ署名者ハ一定ノ事項ヲ各自政府ニ勸告センコトヲ約スル旨規定セラレ居リ調和ヲ缺クトシ前文ニモ第二條同様「實行センコトヲ勸告ス」ト修正センコトヲ求メタリ右ニ對シ英國代表ハ本會議ニ參列ノ各國代表ハ將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關シ協定スルノ全權ヲ有シ從ツテ本「プログラム」ハ直ニ各國政府ニ提出セラレ得ルモノト思考ス若シ之ヲ以テ單ニ勸告ノ形式トナスニ於テハ更ニ政府ノ回答ヲ俟タサル可カラス從テ近キ將來ニ於テ交渉ヲ開始スルコト困難ナル恐アリトシ原案ヲ支持セリ依ツテ洪牙利代表ハ其ノ提案ハ單ニ兩者間ノ調和維持ニアレハ敢テ原案ヲ固持セス第二條ヲ前文同様ニ修正センコトヲ求メ委員會之ヲ承認セリ

然ルニ第二讀會ニ於テ伊國代表ハ右「共同措置ヲ實行センコトヲ決定ス」ヲ更ニ「共同措置ノ實行セラレンコト有益ナルヲ認ム」ニ修正セラレ度ク右ハ前文第二項ニ「成ルヘク短期間ニ國際の交渉ノ實行セラレンコト適當ナルヲ認ム」ト規定スルニ調和セシメン爲且ハ原案ニ依ルトキハ署名者カ其ノ間ニ於テ共同措置ヲ實行センコトヲ決セルヤニ考ヘラルル處事實ハ非署名國モ右共同行爲ニ參加ヲ求ムルモノアルヘキヲ以テ斯ル場合ヲモ考慮シタル旨ヲ説明シ曩ニ洪牙利代表ニ反對セル英國代表モ右伊國代表ノ説明ヲ以テ満足シ修正案ヲ承諾セルヲ以テ委員會之ヲ可決ス其ノ他二、三辭句ノ修正アリタルノミニテ前文可決

(B) 第一條―本條ハ前文ニ規定スル目的ニ達スル手段ノ中就中關稅問題、特ニ關稅低下ニ至ル手段ヲ高調シ生産組織ノ改善、物品ノ合理的ナル分配ニ關スル他ノ一切ノ實際手段ト共ニ之ヲ研究ス可キコトヲ序シ其ノ手續トシテ(一)先ツ一ノ質問集ニ對シ各國政府ヨリ五月十五日迄ニ回答ヲ得(二)右回答ハ聯盟事務局ニ於テ整理シ(三)之ヲ同事務局經濟機關ノ研究ニ附託シテ一ノ提案ヲ爲サシメ(四)右提案ハ本年九月ノ諸國政府代表者會議ニ提出シ同會議ノ決定ハ之ヲ理事會ニ提出シ今後ノ手續ヲ(明年一月初第一回交渉開催ノ當否ヲモ考慮シテ)決定セシムルコトヲ規定ス

第一讀會ニ於テ波蘭代表ハ第一條第一項ハ過度ニ關稅問題ノ重要ヲ指摘スルヤニ思考セラルル處關稅問題以外ニモ之ニ對スルト同様ノ注意ヲ以テ研究セラルヘキ問題多數ナレハ此ノ意味ニ於テ本項ノ形式ヲ變更スル要アル旨ヲ述ベ(C. P. A. E. C/Com. II/4(a))タルカ英國代表ハ關稅問題ト共ニ其ノ他ノ通商障害廢除問題モ同時ニ研究スヘキコト勿論ナルモ本項ハ本條附屬質問集ト均衡ヲ保チタルモノナル旨ヲ説明シタルヲ以テ波蘭代表モ其ノ修正案ヲ撤回セリ

第一讀會ニ於テ羅馬尼亞代表ハ本條第三項ニ「諮問ヲ受ケタル國ハ質問集ニ回答スヘシ」トアル處右ハ如何ナル國ヲ指スモノナリヤ諮問セララルハ如何ナル國ナリヤ質問シタルニ對シ議長ハ本協定ノ署名國ハ勿論其ノ他ニモ聯盟事務總長カ諮問スルコトヲ適當ナリト思考スル國ヲ指スモノナリト個人的ノ解釋ヲ與ヘ羅馬尼亞代表之ヲ以テ満足セリ(然ルニ三月二十一日第二讀會ニ於テ伊國代表ヨリ第一條ノ全部削除ヲ主張セルニ引續キ小委員會ヲ構成シ第一條ノ代案(C. P. A. E. C/8(1))ヲ作成セシメタル際(本第一條審議要領後段參照)右小委員會ハ「諮問ヲ受ケタル國」ヲ「本會議ニ代表セラレタル國」ト修正セルカ右ハ會議ニ於テモ何等議論ナク承認可決セラレタリ)

然ルニ第二讀會ニ於テ伊國代表ハ第一條ヲ全ク削除シ單ニ第三條ノ次ニ「成功ノ機會ノ確實ナルニ至リ初メテ各「プログラム」ノ實現ニ着手スルコト絕對のニ必要ナルヲ考慮シ第二條ニ豫定スルカ如キ事業及附屬書所載ノ研究ヲ爲サントヲ勸告ス」ル趣旨ノ一項ヲ追加シ前文第二條第三條ト合シ全體ヲ一箇條ノ規定トナスト同時ニ附屬書ニ第四章トシテ「各國間ノ物品ノ合理的分配ニ關スル研究」ノ項ヲ設ケ「關稅問題特ニ關稅低下ニ關スル手段及良好ナル生産組織、物品ノ合理的分配ニ關スル一切ノ手段ニ就テ研究ヲ國際聯盟經濟機關ニ委託シ一ノ提案ヲ爲サシムルコト及右ノ研究着手ニ先チ曩ニ第一條ニ附屬セラレタル質問集ノ諸點ニ付成ル可ク短時間ニ情報ヲ蒐集スルコト」ヲ規定ス可シト提案シ(C. P. A. E. C/Com. II/15)其ノ理由トシテ(イ)質問集送付ノ形式ニ依ル情報蒐集ハ之ヲ聯盟經濟機關ニ委託シ其ノ結果ニ基キ適當ノ提案ヲ爲サシムルコトニ依リ經濟機關ノ行動ノ自由ヲ留保シ原案第一條所定ノ如キ一定期日迄ニ一定ノ提案ヲ爲サシムルコトヲ強制スルハ不都合ナリ(即チ情報ノ結果ニ依ツテハ具體的提案ヲ爲シ得サル場合モアル可クレハ

之ヲ考慮スルコトヲ要ス(ロ)各「プログラム」ノ實行ハ其ノ成功ノ機會確實ナルニ非サレハ之ニ着手スルコト無益ナルコトヲ擧ゲタリ

右ニ對シ英國代表ハ同國ハ原案第一條ヲ特ニ重大視スルモノニシテ伊國提案ハ受諾困難ナルカ伊國代表ノ主張ヲモ認ムルヲ以テ同代表カ總會ニ於テ一ノ聲明ヲ爲シ原案第一條記載ノ諸點ハ詳細審議後ナラテハ其ノ決定的態度ヲ表明シ得サル旨ノ留保ヲ爲シテハ如何ト「サゼスト」セリ

右ニ對シ更ニ伊國代表ハ(一)形式ノ問題即チ原案第一條ヲ協定本文トシテ存置スルヤ之ヲ附屬書第四章トシテ挿入スルヤハ大問題ナラサルモ(二)内容ノ問題即チ手續ニ關シテハ原案ノ如ク今日ヨリ聯盟經濟機關、同理事會及各國政府ヲ拘束スルカ如キ手續ヲ本會議ニ於テ決定スルコト極メテ危險ナリトシ若シ第一條ヲ存置スルニ於テハ同條第三項所定ノ手續ヲ變更シ(第一及第二項ハ原案通りトス)單ニ經濟機關ニ研究ヲ委託スルノ程度ニ止ム可シト主張セリ

佛國代表ハ英國ノ主眼トスル處ハ第一條ノ關稅問題ト第二條所定ノ他ノ問題トノ均衡ヲ得ントスルニ在ル處伊國代表カ第一條原案第一項及第二項維持ニ同意セルヲ以テ英國ハ其ノ目的ヲ達セルモノト謂フヘク又第一條ノ主要點タル質問集ヲ存置スル以上其ノ他ノ手續問題ニ至リテハ原案ト伊國案トノ間ニ大ナル差アルヲ見サルノミナラス事實一定期日ヲ定ムルハ議會其ノ他ノ關係ヨリ困難ナルコトアルヘシトテ伊國提案(第一條第三項修正)ヲ支持セリ

依ツテ英國代表モ前記ノ通り伊國代表カ第一條第一項及第二項ノ存置ニ同意セルニ鑑ミ(イ)質問集ニ對スル回答ノ期日ヲ決定スルコト及(ロ)第一條、第二條所載ノ問題研究ノ爲ノ第一次會議カ關稅休戰條約滿期前ニ開催セラル、コトノ二點ヲ留保シ伊國提案ニ同意スル旨ヲ述ヘタリ

右ノ通り大體ノ合意成レルヲ以テ之ヲ一小委員會ニ移シ新「テキスト」ヲ作成セシムルコト、ナレリ
第二委員會ハ三月二十二日右小委員會提出ノ第一條代案(C. P. A. E. C/91)ヲ審議セリ

右案ハ主トシテ(一)原案中「諮問ヲ受ケタル國」ヲ「本會議ニ代表セラレタル國」ト修正セルコト(二)聯盟事務局

カ質問集ニ對スル回答ヲ整理スルニ當リ又聯盟經濟機關ニ於テ右整理セラレタル回答ニ基キ一ノ提案ヲ爲スニ當リ他國政府專門家ノ協力ヲ要セサルコト(原案ハ右協力ヲ豫定セリ)(三)右經濟機關ノ提案ハ本年九月中各國政府ノ審査ニ附セラル、ニ止リ原案ノ如ク九月初ニ各國政府代表會議ヲ豫定セサルコト(四)聯盟理事會ノ手ヲ一切經サルコトノ四點ニ於テ原案ト異ルモ質問集ニ對スル回答期日、第一次交渉開催ノ大體ノ期日(新案ハ明年二月一日前トス)ニ關シテ原案ト異ル處ナシ

右新案ノ討議ニ際シ佛國代表ヨリ(イ)質問集ニ對スル回答期日五月十五日ヲ本年十一月十五日ト變更スルコト(ロ)新案ハ右回答ハ各問題ニ關シ將來ノ交渉ノ基礎トナルヘキ具體的提案ヲ供スルモノタランコトヲ規定スル處右ニ「若シ可能ナルニ於テハ」ヲ追加スルコト(ハ)經濟機關ノ提案ハ出來得ル限リ速ニ(新案ハ本年九月中トス)政府ノ審査ニ附スルコト(ニ)經濟機關ノ提案ニ對スル各國政府回答ニ基キ聯盟理事會カ今後ノ手續ヲ決定スルコトニ新案第四項ヲ修正スルコトノ四修正案(C. P. A. E. C/Com. II/17)ヲ提出セリ

其ノ理由トシテ前記(イ)ハ本協定ヲ議會ニ提出セサル前其ノ所定ノ手續ヲ執ルヘキ義務ヲ負フコト困難ナリトシ十一月一日議會再會ヲ俟ツテ本協定ノ提出ノ要アルコト(ロ)ハ各國ノ爲シ得ル範圍内ニ於テ之ヲ要求スルコト當然ナルコト(ハ)ハ(イ)ノ修正案ヨリ當然生シ來ル結論ナルコト(ニ)ハ新協定案ニ依レハ明年二月一日前ニ第一次交渉開始ヲ規定スル處經濟機關ノ提案ヲ各國政府ノ審査ニ附シタル結果交渉開始ハ適當ナラストノ結論ニ達スルコトアリ得ヘキニモ拘ラス即チ會議ハ成功ノ見込ナキニモ拘ラス之ヲ開催スルハ面白カラサレハ此點ニ關シ凡テ聯盟理事會ノ判斷ニ委シ餘リニ嚴格ナル手續ヲ避クルコト及若シ會議開催ニ至ラハ右ハ第一條所定ノ問題ノミナラス第二條ノ問題ヲモ審議ス可キモノナル旨ヲ明カニス可キコトヲ説明セリ

前記(イ)ノ修正案ニ對シ英國代表ハ「出來得レハ五月十五日迄ニ遅クモ十一月十五日迄ニ」ト爲ス可シト主張シ諸威代表ハ單ニ「出來得ル限リ速ニ」ト爲スヘシトシ委員會ハ右諸威案ヲ採擇シ(ロ)及(ハ)ノ修正案モ何等ノ論議ナク

可決セラレタリ

(ニ)ノ修正案ニ關シ英國代表ハ本案ニ依レハ關稅休戰條約滿期前ニ會議ヲ開催スルコトヲ勸告スル形式ニナリ居ル處右ハ極メテ意味薄弱ナレハ更ニ斷定的形式ヲ用フヘシト主張シ伊國代表ハ佛國案カ其ノ曩ニ提出セル修正案ト趣旨ヲ同ウスル旨ヲ述ヘ之ヲ支持シ寧ロ第三條ニ佛國修正案ノ趣旨ヲ挿入ス可シト述ヘ議論アリタルモ結局英國代表ハ佛國修正案ヲ簡單ニシ「聯盟經濟機關ノ提案ニ對スル諸國政府ノ回答ニ基キ聯盟理事會ハ今後ノ手續ヲ決定スヘシ右決定ニ當リテハ關稅休戰條約滿期前ニ第一條及第二條所定ノ「プログラム」ニ關スル交渉ヲ開始スルノ利益ヲ考慮スヘシ」トシテ承認スヘキ旨聲明シ委員會モ之ヲ採擇スルコトニ決セリ

斯クシテ主義上ノ一致ヲ見タルヲ以テ英、佛、伊ノ三代表ニ於テ第一條決定案(C. P. A. E. C/Com. II/18)ヲ起草シ委員會ニ提出セルカ滿場一致之ヲ可決セリ尙第一條附屬質問集ハ何等修正ヲ見ス

(C) 第二條—本條ハ第一條ニ依ル交渉ノ結果如何ニ拘ラス本條所定ノ各事項カ等シク將來ノ交渉ノ目的タルヘキコトヲ決セルモノナリ

(a) 第一讀會ニ於テ佛國及洪牙利代表ヨリ本條第一項ニ「下記ノ諸事項ハ將來ノ交渉ノ目的タリ得ヘキコトヲ認ム」トアルヲ「目的タルコトヲ決ス」ニ修正センコトヲ求メ(C. P. A. E. C/Com. II/14(a)) (前文討議參照)佛國代表ハ第一條及第二條所定ノ事項ハ同時ニ實行セラル可キモノト思考スル處第二條ハ第一條ニ比シ遙ニ曖昧ナリト説明セリ英國代表之ヲ支持シ伊國代表トノ間ニ種々議論アリタルカ結局「交渉ノ「プログラム」ノ目的タルコトヲ決ス」ニ修正スルコトトス

(b) 次ニ本項ニ「署名者ハ各自國政府ニ一定ノ措置ヲ採ル可キコトヲ勸告スルコトヲ約ス」トアルニ對シ佛國代表ハ吾人ハ政府ノ代表ニシテ法律のニ政府ト一體ナルカ故ニ政府ヲ拘束スル約定ヲ爲シ得ルモ政府ニ勸告スルコトヲ得ストシ之ヲ「一定ノ措置ニ參加スルコトヲ約ス」ト修正センコトヲ求メタルカ獨、伊等ノ代表ヨリ本會議參加國代表中

ニハ將來ノ交渉ニ政府ノ參加ヲ拘束スルコトナク單ニ交渉ノ「プログラム」作成ノミヲ委任セラレ居ルモノ多數アル可キヲ以テ佛國修正案ヲ承認スルトキハ多數國ノ署名ヲ困難ナラシム可キ旨ヲ述ヘ之ニ反對シ相當ノ議論アリタルカ結局折衷案トシテ「勸告スルコトヲ約ス」ノ文句ヲ本文ヨリ削除スルコトニ決定セリ

(c) 第二條第二項末段ニ「關稅課說品目稱呼統一專門家ノ事業ノ或部分ニシテ充分整理セラレタルモノヲ審査シ場合ニヨリテハ之ヲ實施スルタメ經濟委員會ノ是認スル手段ノ適用ヲ容易ナラシムルコト」ヲ規定セル處第一讀會ニ於テ洪牙利代表ハ各國ノ關稅率ハ一體ヲ爲スモノニシテ或部分ノミヲ切り離スコトヲ得ス故ニ關稅率ノ一部ハ統一の關稅稅目稱呼ニ依リ他ノ一部ハ現存稅目稱呼ヲ採用スルコト不可能ナルノミナラス關稅率ハ法律ニ依リ規定セラレ二國間條約ニ基礎ヲ有スルモノナルニ付其ノ變更ニハ多數ノ手續ヲ要スル次第ヲ述ヘ本項ヲ不可トシ「場合ニ依リテハ之ヲ實施スル」ノ一句ヲ削除センコトヲ求メ葡萄牙代表之ヲ支持セリ右ニ對シ佛國代表ハ本件統一の關稅々目稱呼ノ部分的實施ハ洪牙利代表ノ云フカ如キ困難ナルモノニ非ス(殊ニ絹ニ關シ然リトス)若シ「場合ニ依リテハ之ヲ實施スル」ノ句ヲ削除セハ專門家ノ全部ノ事業終了後ノ實施ヲモ豫見セサルノ結果トナル可キヲ以テ寧ロ本項中「或部分」ヲ除キ從テ「充分整理セラレタル」ノ句ヲ削除セハ可ナルヘシト主張シ委員會右佛國提案ヲ可決ス

其ノ他二、三字句ヲ修正シテ第一項ヲ可決ス

(d) 次ニ佛國代表ハ第一讀會ニ於テ國際通商ヲ容易ナラシムヘキ各種手段ヲ同時ニ研究スルコト極メテ重要ナリトシ曩ニ同國ヨリ第三分科會ニ出セル提案(C. P. A. E. C/Com. II/2)ヲ修正シタルノ覺書(C. P. A. E. C/Com. II/2(1))ヲ提出シ右ノ中殊ニ(一)關稅率ノ比較研究(二)二國間通商條約中ニ普通ニ存スル關稅率ニ關係ナキ或規定ヲ唯一ノ「テキスト」ニ作成スルノ可能性ノ研究(三)常設の仲裁和解機關ノ設置ノ研究ノ三事項ヲ聯盟ノ機關ニ委託スルコト必要ナリトシ右ノ諸點ヲ第二條第一項ト第二項トノ間ニ挿入規定センコトヲ一應求メタリ(C. P. A. E. C/Com. II/14(6))右ニ對シ伊國代表ハ本問題ヲ内容ニ亘リテ論議スルトキハ多大ノ時日ヲ要ス可キヲ以テ單ニ「佛國代

表ノ提出ノ覺書ハ聯盟ノ關係機關ニ移様シ研究セシム可キ」趣旨ノ一項ヲ設ケ本協定案ノ最終ニ佛國代表覺書ヲ附録トシテ添附シ置クニ止ム可シト「サゼスト」シ佛國代表之ヲ受諾セルヲ以テ委員會モ右ニ決定セリ

然ルニ其ノ後起草委員會ニ於テ第二讀會ニ提出ス可キ新「テクスト」(C. P. A. E. C/9)作成ニ當リ前記委員會ノ決定ヲ無視シ前記佛國提案ニ係ル三事項ヲ第二條本文中ニ其ノ儘挿入セルヲ以テ第二讀會ニ於テ佛伊兩代表ヨリ共同修正案(C. P. A. E. C/10)ヲ提出シ「右三事項ニ關スル佛國代表覺書(本協定附録トシテ添附)ヲ聯盟經濟機關ノ研究ニ委託スヘキ」趣旨ノ一項ノミヲ設ケンコトヲ求メ滿場一致右佛伊修正案ヲ可決セリ次イテ佛國代表ハ右修正案中ニハ前記ノ三事項ヲ列記セルニ止ル處佛國提出覺書第六章ハ「政府代表者ノ定期的會合開催」ヲ提案シ居リ之モ右ノ修正案列記事項中ニ並記セラレ度キ旨ヲ述ヘ委員會ハ別段ノ異議ナク之ヲ承認セリ

(e) 第一讀會案第二條第四項ハ輸出獎勵金及補助金ノ研究ニ關シ理事會カ聯盟經濟機關ヲシテ(イ)各國政府ノ獎勵金及補助金制度設定ノ理由(ロ)獎勵金及補助金制度ニ惱マサル國ノ之ニ對シ執リ得ル對抗手段ノ二點ヲ研究セシムルコトヲ規定スル處第一讀會ニ於テ白國代表ハ右二點ノ外現行ノ獎勵金等カ如何ナル範圍ニ於テ他國ノ利益ヲ害スルヤ及本問題カ多數國條約ノ目的タリ得ヘキヤ否ヤノ二點ヲモ追加スヘキコトヲ求メ(C. P. A. E. C/Com II/14(a))洪牙利代表ハ更ニ右ノ外ニ各種ノ獎勵金及補助金ノ「リスト」作成ノ件ヲ附加センコトヲ求メ委員會ハ右二提案ヲ承認セリ

(f) 次ニ佛國代表ハ第一讀會ニ於テ前記第四項ノ次ニ「不正競争問題特ニ「マドリッド」協定修正ノ當否研究ノ必要及原產地稱呼保護條約ノ基礎準備ヲ聯盟經濟機關ニ委託スルノ必要」ノ件ヲ記載センコトヲ求メ(C. P. A. E. C/Com II/14(a))瑞西代表之ヲ支持セリ

伊國代表ハ原產地稱呼保護ニ關シテハ附屬書第三章「國際經濟關係ニ關スル諸問題」ノ中ニ記載セラレアルヲ以テコ、ニ規定スルノ必要ナカルヘキモ若シ規定スルニ於テハ「原產地稱呼及特殊物品 (produits typiques) ノ保護ト修正セ

ラレタキ旨ヲ主張シ委員會ハ辭句ハ之ヲ別トシ右兩提案ヲ可決セリ

(g) 第一讀會案第五項ハ「家畜衛生條約締結ノ爲ニ成ルヘク速ニ國際會議招集セラレ得ヘキ希望ヲ以テ本問題ノ研究ニ協力スヘキ」趣旨ヲ規定スル處波蘭代表ハ右「本年度内ニ招集セラレ得可キ希望」ト修正センコトヲ求メ(C. P. A. E. C/Com. II/14(a))右ハ附屬書第一章ノ結論ノ趣旨ニモ合シ多數農業國ノ希望ナル旨ヲ述ヘタリ右ニ對シ獨逸及瑞西代表ハ或數ヶ國ニ關係アル一問題ニ付特ニ期日ヲ決定スルハ優先ノ權利ヲ認ムルヤノ觀アリテ不都合ナルノミナラス急速ニ本條約ヲ締結シ得サル地位ニアル國ヲシテ本協約ノ受諾ヲ困難ナラシムルモノナリト説明シ佛國代表ハ問題ハ時期ノ明示如何ニアラスシテ吾人ノ事業カ凡テ同時ニ遂行セラル可キコトヲ明カナラシムルニ在リ故ニ右ノ同時性 (simultaneité) ヲ表示スルコトニ依リ波蘭代表ニ満足ヲ與フ可キ旨ヲ述ヘ種々議論アリタルカ波蘭代表ハ政府ノ嚴格ナル訓令ヲ有スルヲ以テ其ノ態度ヲ變更シ得スト主張シ投票ヲ求メ其ノ結果五票對六票(他ハ棄權)ヲ以テ波蘭提案可決セラル

然ルニ第二讀會ニ於テ佛國代表ハ本項ヲ「家畜衛生專門委員會カ出來ル限リ速ニ國際條約案ヲ準備シ一ノ國際會議カ最短期間内ニ出來得レハ一九三一年末迄ニ開催セラル、ノ希望ヲ以テ」ト修正センコトヲ求メ(C. P. A. E. C/Com. II/16)獨逸代表又一ノ修正案(C. P. A. E. C/11)ヲ提出セシカ右佛國修正案ハ委員會ノ承認スル處トナリタルヲ以テ(本件ニ最モ利害關係ヲ有スル波蘭代表モ佛國修正案採擇ヲ認メタリ)獨逸代表之ヲ以テ満足シ其ノ修正案ヲ撤回セリ

(D) 第三條—何等ノ論議ナク可決サル

(E) 最終議定書—「聯盟經濟委員會」ヲ「聯盟經濟機關」ニ變更シタル外一、二ノ字句ノ修正アリテ可決セラル本議定書ハ初メ本協定案ニ附屬シ居リシ處之ヲ第一委員會ノ討議セル最終議定書ト共ニ一括シ以テ本會議全體ノ最終議定書ト爲スコトニ決定シ從ツテ本協定案中ヨリ除カル(第一委員會議事經過參照)

(F) 附屬書審查

本附屬書ハ三章ヨリ成リ本委員會三分科會報告 (C. P. A. E. C/Com. II/8(1); C. P. A. E. C/Com. II/7(1); C. P. A. E. C/Com. II/3(2)) ノ内容ヲ採擇セルモノニシテ即チ第一章ハ農工業國間ノ經濟關係ノ調節、第二章ハ多數國協定ノ參加國ト第三國トノ關係ニ對スル右多數國協定ノ影響第三章ハ國際經濟關係ニ關スル諸問題ヲ掲ケタリ

元來右三分科會報告ハ分科會ノ審查終了後直ニ第二委員會ノ審議ニ附セラレ委員會ハ一應其ノ討議ヲ終了セルカ其ノ後前記將來ノ交渉ノ「プログラム」ニ關スル協定案作成ノ運ヒトナルヤ分科會報告中ニ取扱フ諸問題ノ性質ニ鑑ミ之ヲ右協定案ノ附屬書トシテ添附スルコト、ナレル次第ハ前述ノ通りナリ

依ツテ前記第二所述ノ如ク四國提案ニ基キ本委員會報告者ニ於テ新協定案作成ニ際シ分科會報告ノ形式ヲ變更シ是迄分科會ノ報告、意見又ハ希望ノ發表タリシ形式ヲ本會議ノ報告、意見又ハ希望トシ (但分科會中ニ於テ各代表間意見ノ一致ヲ得サリシ點ニ關シテハ格別ナリ) 以テ協定案ト合シ一體ヲ爲スモノトセル次第ナリ (C. P. A. E. C/Com. II/11; C. P. A. E. C/Com. II/14; C. P. A. E. C/9) 斯ルカ故ニ附屬書審查ニ關スル討議ハ (イ) 所謂分科會ノ報告審查トシテノ討議ト (ロ) 協定案ノ附屬書審查トシテノ討議トノ二ニ分チ得ルモ便宜上之ヲ一括シテ討議ノ要領ヲ述フヘシ

(1) 農業國ノ經濟關係調節 (C. P. A. E. C/Com. II/8(1); C. P. A.

E. C/Com. II/11; C. P. A. E. C/Com. II/14; C. P. A. E. C/9 (各 annex)

第二點—本項ハ特惠待遇制度ニ關スル分科會ノ討議ノ要點ヲ述ベタルモノナル處和蘭代表ハ本項末段ハ斯ル特惠待遇制度ニ反對ナル諸國ノ態度ヲ明瞭ニ表ハササル嫌アレハ本項最末段ニ「或代表ハ特惠待遇制度ハ單ニ國際關係ヲ阻害スルノミナラス現存ノ困難ヲ更ニ惡化スル傾向アルモノナリトノ意見ニテ斯ル制度ヲ報告ス可ラサルモノト信スル」旨ヲ明瞭ニ記載セラレ度ク和蘭ハ元來人工的手段ヲ排斥スルモノナルモ特惠待遇制度ハ假令海外諸國力之ニ同意スルモ尙之ヲ以テ不可ナリトスルモノナリト説明セリ右ニ對シ議長 (羅馬尼代表「マジャロ」氏) ハ右和蘭代表ノ反對意見ハ本項中ニ明瞭ニ

ナリ居ルノミナラス歐洲ニハ九農業國アリ何レモ危機ニ惱ミ居リ特惠待遇制度ヲ設ケサルニ於テハ到底コノ危機ヲ救済シ得ストノ意見ヲ有スル次第ナレハ右兩意見共公平ニ表示スルノ要アリ反對意見ノミ強調スルコトヲ得サルヘキ旨ヲ述ベ「チニコ、スロヴァキア」波蘭等ノ代表ヨリ折衷案ヲ提出アリタルモ和蘭代表ハ他ク迄其ノ提案ヲ固持セルヲ以テ結局報告者ハ和蘭代表ト話合ヒタル上適當ナル表示方法ヲ定ムルコトトシテ本項ヲ可決セリ (右和蘭代表ノ主張ハ結局承認セラレ修正案中ニ挿入セラレタリ)

第三點—和蘭代表ヨリ本項中ニ「農業統計特ニ萬國農事協會ト協力シ生産及在庫品ニ關スル統計ヲ發達セシムルコトヲ要シ該協會ハ此等ノ統計材料ノ蒐集及研究ニ努力シ得ヘキ旨」ヲ追加センコトヲ求メ委員會之ヲ承認シテ本項ヲ可決ス
第四點—本項ニ「一家畜衛生條約ニ關スル交渉ノ重大ナルコト」ヲ指摘セラレアル處英國代表ハ將來締結セラルヘキ家畜衛生條約ハ一個ナリヤ數個ナリヤ不明ナレハ「一個若クハ數個ノ家畜衛生條約締結ノ爲ノ準備事業ノ重大ナルコト」ト修正スヘシト提案シ之ヲ承認ス

結論第一—分科會報告ハ「一方歐洲農產物ノ輸出入國ニ對シ他方工業國ニ對シ各自ノ希望ヲ表示スル覺書提出方依頼センコトヲ聯盟事務局ニ勸告」シ居ル處洪牙利代表ハ「一方農產品ノ輸出入國他方工業國」ト二分ツキハ單ニ輸出ノミスル國ハ覺書ヲ提出シ得サルヤノ嫌アリトシ之ヲ修正センコトヲ求メタルニ對シ佛國代表ハ工業品ニ對スル必要ナル調節ヲモ考慮シ「農產品ノ歐洲ニ於ケル消費ヲ容易ナラシムル爲メ聯盟事務局カ關係國間ノ意見交換ヲ促進センコトヲ勸告スル」ノ形式トナス可キコトヲ提案セルモ「レットニー」代表ヨリ單ニ「消費」ト云フトキハ本報告ノ範圍ヲ制限スル虞アリ且ツ農業者間ニハ吾人カ兎角通商問題ノミニ專心シ生産問題ヲ忘却スルトノ批評アルニ鑑ミ消費トノミニ云フコトノ危險ヲ指摘シタルヲ以テ佛國代表モ其ノ正當ナルヲ認メ本項ヲ左ノ通り修正センコトヲ提案シ委員會之ヲ承認セリ (C. P. A. E. C/Com. II/11 及 14 ノ結論ノ如シ)

「一方農業生産ヲ保護シ之ニ歐洲市場ヲ確保シ他方工業品ニ對シ適當ナル對價的調節ヲ認ムル爲歐洲諸國間ニ有效ナル意

見交換ヲ促進センコトヲ聯盟事務局ニ勸告ス」

然ルニ其ノ後委員會報告カ總會ニ提出セラル、ニ當リ (C. P. A. E. C/9) 右ノ文句中ヨリ「之ニ歐洲市場ヲ確保シ」ノ一項削除セラレアルニ對シ羅馬尼代表ヨリ之ノ辭句ノ極メテ貴重ナル次第ヲ高調シ之ナキニ於テハ同國ハ到底本協定ニ署名シ得サル旨ヲ述ヘタルヲ以テ總會ハ論議ノ結果之ヲ復活スルコトニ決定セリ

結論第二點—本項中ニ資本ノ融通性アル國ニ對シ實際のナル方法ニ依リ農業信用實現ノ爲ノ措置ヲ採ランコトヲ勸告シ居ル處英國代表ハ右ハ餘リニ嚴重ナル勸告ニシテ吾人ノ權限ヲ超越スルノ傾アリ各國政府ニ對シ困難ナル事態ヲ生ス可キヲ以テ更ニ一般的ナル形式ニ依ル可キコトヲ提案シ瑞典代表之ヲ支持シタリ議長ハ農業信用ノ爲ノ資本融通ヲ特ニ必要ト考フル旨力説セルモ結局英國代表ノ提案ヲ承認シ報告者ヲシテ適當ノ形式ヲ作ラシムルコトニ決定セリ

依テ報告者ハ右勸告ノ形式ヲ削除シ單ニ聯盟事務局ト萬國農事協會トノ協力ニ依リ本件ニ關スル満足ナル解決ノ見出サレシコトヲ希望スルニ止メタリ

結論第三點—本項末段ニハ各國ニ對シ其ノ通商條約ヲ二國間ノ家畜衛生及植物病理學條約ニ依リ補充センコトヲ勸告シ居ル處白國代表ハ右ニ依レハ宛モ植物取引ニ關スル事項ハ單ニ二國間條約ニ依リテノミ規定セラル可キモノナリトノ感ヲ與フル處既ニ本件ニ關シ多數國條約ヲ以テ解決スルコト有效ナリトノ意見多キノミナラス既ニ一九二九年四月萬國農事協會主催ノ下ニ本件關係條約締結セラレタリ但シ右協約ノ參加國ハ尙少數ナルヲ以テ本問題カ國際のニ解決セラレタリト斷スルコトモ出來サレハ本問題解決ヲ二國條約ニ限ラサルト共ニ國際の解決ヲモ豫定スル目的ヲ以テ本項中ニ植物病理學ニ言及セス別項ヲ設ケテ一九二九年四月ノ協定カ成ル可ク多數國ニ依リ實施セラレンコトヲ希望スル旨規定スルコト可ナリト主張シ伊國代表之ニ贊成シ委員會モ右白國代表ノ提案ヲ承認セリ即チ協定案附屬書第一章結論第六點ニ於テ特ニ本件ニ關シ左ノ如ク規定セリ

「會議ハ一九二九年四月羅馬ニ於テ署名セラレタル植物病理學條約カ成ル可ク多數國ニ依リ速ニ實施セラレンコトヲ希

望シ且第十回聯盟總會決議ノ一ニ準據シ經濟委員會ヲシテ既ニ其ノ實行シツ、アル本問題ノ通商方面ノ研究ヲ遂行セシムルコト適當ナリト思考ス」

其ノ後右附屬書審查ニ當リ英國代表ヨリ右形式ノ前末ニ「成ルヘク多數國ニ依リ速ニ實施セラレンコトヲ希望ス」トアルヲ「各國カ右條約加入ノ能否ヲ細心研究センコトヲ希望ス」ト修正センコトヲ求メ原案ハ單ニ署名國ニ對シ其ノ批准ヲ促スニ止ル如キ感ヲ與フルモ未署名國ノ加入ヲモ必要トスルヲ以テ其ノ意味ヲ表示センカ爲ナリト説明シ佛國代表等之ニ贊シ結局右二種ノ希望ヲ表示スル爲原案ト英國提案トヲ合シ「成ル可ク多數國ニ依リ速ニ條約ノ實施セラレンカ爲諸國カ本條約加入ノ能否ヲ細心ニ研究センコトヲ希望ス」ト修正セラレタリ

尙獨逸代表ハ原案ニ對シ「一代表ハ本條約ノ急速實施ヲ希望スルニ同意シ得サル旨聲明セリ」トノ一句ヲ挿入スヘキ修正案ヲ提出セシモ前記英國提案ノ採擇セラレタル結果右修正案ノ必要ナシトテ之ヲ撤回セリ

結論第四點—本項ハ農業國ノ農業組合ト工業國ノ消費組合間トノ直接關係ヲ立ツルコトノ必要ニ鑑ミ聯盟事務局力之ニ必要ナル調査ヲ爲サンコトヲ勸告シ居ル處伊國代表ハ本件ニ關シテハ既ニ國際勞動事務局等ノ國際的機關ニ於テ研究シ居ル處ナレハ聯盟事務局ハ調査實行ニ際シ右ノ如キ機關ト協力スルコト適當ナリト主張シ委員會之ヲ承認セリ

(11) 多數國間協定參加國ト第三國トノ關係ニ對スル右多數國協定ノ影響

(C. P. A. E. C/Com. II/3/2) 及 C. P. A. E. C/Com. II/11; C. P.

A. E. C/Com. II/14; C. P. A. E. C/9 ノ各附屬書第二章)

第二分科會報告中ニ「或代表ハ多數國條約締結ヲ容易ナラシムル目的ニ依ルモ將來ノ通商條約中ニ最惠國條款ノ制限規定ヲ挿入スルコト不可ナリト思考セルモ他ノ代表ハ一般協定ノ締結ヲ容易ナラシムル爲將來國際聯盟主權ノ下ニ締結セラレ凡テノ國ノ參加シ得ヘキ一般的性質ノ多數國條約ヨリ生スル利益ハ最惠國條款ノ適用ヨリ除外スル規定ヲ通商條約中ニ挿

入スルコト可ナリトノ意見ナル旨」記載セラレアル處和蘭代表ヨリ右ノ次ニ「多數國條約ノ恩惠ヲ要求スル國カ假令同條約ノ非締約國ナルモ當該事項ニ關シ完全ナル相互主義ヲ許與スル場合ニハ前記ノ如キ例外ハ適用セラレサル旨」ヲ追加スルノ要アリト説キ委員會之ヲ承認ス

分科會報告結論第三點及第四點「第三點ニハ「最惠國條款ノ例外規定ノ「モデル」作成ノ當否右例外規定ヲ將來ノ條約中ニ插入スル爲ノ一般協定作成ノ當否ニ關シ意見ノ相違アリ從ツテ現在ノ事態ニ於テ本件ニ關スル交渉ハ之ヲ勸告スルニ不當ノ如ク思考セラル、モ將來ノ研究事項タリ得可ヘキコト」ヲ規定スル處右ニ對シ第一讀會ニ於テ伊國代表ハ右ハ分科會ニ於ケル討議ノ實際ヲ示スモノニ非ス即チ本項ニ依ル時ハ恰モ最惠國條款適用ヲ制限スルコトニ關シテハ主義上ノ一致アリタルモ其ノ制限方法ニ關シ意見ノ相違アリタルカノ印象ヲ受クル處其ノ實方法如何ニ拘ラス制限ニ關スル主義上ノ根本的意見ノ相違從ツテ制限ノ爲ノ交渉夫レ自體ニ關スル意見ノ相違アリ次テ制限ヲ受諾スル國相互ノ間ニ於テ制限方法ニ關シ議論アリタル次第ナレハ右ノ事實ニ鑑ミ本項ヲ修正スルノ要アリトシ右ノ趣旨ニ基ク第三點及第四點修正案(C. P. A. E. C/Com. II/10)ヲ提出セリ右修正案ニ依レハ第四點トシテ「多數代表ハ此等制限方法ニ反對ナルノミナラス一般ニ無制限最惠國條款ノ除外ニ對シ反對ナリシヲ以テ斯ノ如キ現狀ニ於テハ本問題ニ關スル一切ノ交渉ハ之ヲ勸告スルニ適セサルカ如シ云々」ト規定ス、コレニ對シ羅國代表ハ「之ヲ勸告スルニ適セサルカ如シ」ハ恰モ委員會ノ到達セル結論ノ如ク見ユルモ右ニ關シテハ分科會ニ於テ意見ノ一致ヲ見ス單ニ制限ニ反對スル國ノミカ本件勸告ヲ不當トスルニ止ルヲ以テ「彼等(制限反對國)ノ意見ニ依レハ勸告ニ適セサル」旨ヲ明白ニスヘシトテ伊國提案ニ對シ修正ヲ要求セリ

右ニ就キ可ナリノ議論アリタルカ結局羅國委員カ報告者ト共ニ適當ナル起草ヲナスコトナリ結局「本問題ニ關スル交渉ハ或ル代表ノ反對意見ニモ拘ラス現狀ニ於テハ勸告ニ適セサルカ如シ」ト修正セラル

又獨逸代表ハ「本問題ニ關スル交渉」ハ「共同の交渉」ノミヲ目的トスヘシトテ「共同的」(Collective)ノ辭句追加ヲ求め委員會之ヲ承認ス

其ノ他多少ノ辭句ヲ修正補足シ前記伊國提案ヲ可決シ之ヲ以テ分科會報告結論第三點及第四點ニ代フ要點左ノ如シ

(前顯第二分科會結論參照)

三、多數ノ代表ハ第十回聯盟總會決議ニ云フ多數國協定ノ締結ハ無制限最惠國條款ノ例外ヲ將來二國間條約ニ插入スルコトニ依リ容易トナルヘキコトヲ主張セリ此等ノ代表ハ經濟委員會ノ決定セル左ノ原則ニ同意見ナル旨ヲ聲明セリ
例外ハ多數國條約ノ恩惠ヲ要求スル國カ該條約非締約國ナルモ當該事項ニ付完全ナル相互主義ヲ許與スル場合ニハ適用ナシ

但シ右代表中或ルモノ、意見ニヨレハ本件相互主義ハ多數國條約ノ全署名國ニヨリ受諾セラレサルヘカラサルモノナリトス

他方右代表中或ルモノカ例外ノ「モデル」作成ノ當否、右例外規定ヲ將來ノ條約中ニ插入スル爲ノ一般協定作成ノ當否ニ關シ各種異レル意見ヲ表示セリ

四、他方多數代表ハ此等一切ノ方法ニ反對ナルノミナラス一般的ニ無制限最惠國條款ニ對スル一切ノ例外ニ反對ナル旨ヲ聲明セリ依テ本件ニ關スル共同の交渉ハ或代表ノ反對意見ニモ拘ラス目下ノ事態ニ於テハ勸告スルニ適スルモノト思考セラレサルモ本會議ハ討議中表示セラレタル各種ノ意見ハ將來問題全體ノ研究ヲナスニ際シ有效ニ考量セラレ得ヘシト思考ス

(三) 國際經濟關係ニ關スル諸問題(C. P. A. E. C/Com. II/7(1) 及

G. P. A. E. C/Com. II/11; C. P. A. E. C/Com. II/14; C. P. A. E. C/9 各 annex)

第三分科會報告者作成ノ協定案附屬書第三章ニハ序文トシテ左ノ如キ趣旨ヲ述フ

分科會ハ先ツ第十回聯盟總會議ニ云フ將來ノ交渉ニ參加セントスル國カ目下聯盟經濟機關ノ爲シツツアル研究ヲ爲シ満足ナル結果ニ到達セシムル爲ノ最善ノ方法ヲ研究スルヲ以テ目的トセリ本問題ノ審査及討議ハ關稅休戰ノ締結セラレタ

ル假定ノ下ニ行ハレタリ分科會ノ到達セル結論左ノ如シ

トテ各種ノ問題ヲ列記セル處獨逸代表本前文ハ休戰締結ヲ假定シ居リ不可ナリトテ之カ削除ヲ求メ (C. P. A. E. C/Com. II/14(a))タルカ委員會ハ之ヲ起草委員會ニ委託スルニ決シ結局同委員會ニテ本前文ヲ削除セリ

統一的關稅品目稱呼採用—分科會報告中ニハ「經濟委員會カ本件稱呼統一專門委員會ニ統一的稱呼採用ニ關スル國際條約案作成ノ準備事業ヲ委託センコト」ヲ求メ居ル處洪牙利代表ハ專門委員會ハ條約案作成ノ權限ヲ有セス技術的基礎ヲ供給スルニ止ムルヲ以テ本項ヲ修正ス可シト提案シ委員會之ヲ承認シ本項ヲ削除ニ決定ス

尙本項最終ニ「分科會ハ各國カ其ノ現行稅率ヲシテ專門家作成ニ係ル統一の關稅稱呼ニ(漸次專門委員會ノ事業ノ終了ニ應ジテ)適應スル様直ニ事業ニ着手センコトヲ希望ス」ル旨規定スル處英國代表ハ本希望ニ添ハントスルトキハ國家ハ數度關稅稱呼ノ變更ヲ余儀ナクセラレ不都合ナリトシ斯ル急速ナル手段ヲ採ルコトヲ不可トシ之ヲ削除センコトヲ求メ委員會之ヲ承認ス

曩ニ第三分科會ニ於テ佛國代表ヨリ關稅品目稱呼問題ニ關シ一ノ提案 (C. P. A. E. C/Com. II/2)アリシ處同分科會ハ之ヲ一應審議シタル後詳細ノコトハ第二委員會本會議ニ讓ルコトト爲セルヲ以テ議長ヨリ右提案審議方ヲ求メタリ右ニ對シ瑞西代表ハ佛國提案ノ有用ナルヲ認ムルモ同提案ハ具體的ナル約定ヲ含ムヲ以テ單ニ將來ノ交渉ノ「プログラム」作成ノ任務ヲ有スル第二委員會ノ權限ヲ越ユルヤノ嫌アリ且ツ多數代表ハ本案ニ對シ直ニ態度ヲ決シ得サル可キノミナラス分科會ニ於ケル討議ノ際佛國代表モ敢テ本案ヲ強調セス分科會報告中ニ該案所載ノ思想ヲ取入レルヲ以テ満足セルニ願ミ茲ニ之ヲ論議セサルコトヲ主張シ英國委員亦佛國提案ハ聯盟經濟機關ノ審查ニ附スルニ止ムヘシト主張シ結局佛國提案ハ之ヲ審議セサルコトニ決定セリ

國內生産保護ノ爲ノ輸出獎勵金及補助金廢止—分科會ノ報告ハ本項中ニ輸出獎勵金及補助金ノ正當ナルト否トニ關シ意見ヲ發表シ居ル處(前顯第三分科會討議參照)第一讀會ニ於テ伊國代表ハ或制度ノ正當不正當ニ關シ意見ヲ表示スルハ第

三分科會ノ權限ニアラサリ旨ヲ述ヘ此ノ點ヲ凡テ削除スルコト及本項中ニハ聯盟經濟機關ノ特ニ研究スヘキ事項トシテ(一)獎勵金又ハ補助金設定ノ理由(二)獎勵金又ハ補助金ノ正當ナルヤ否ヤ(三)不正ナル獎勵金補助金ニ對抗スルノ手段(四)一般條約國間ノ紛爭解決ノ爲ノ常設ノ仲裁機關設置ノ四點ヲ列舉シ居ル處斯クスルトキハ聯盟經濟機關ノ研究事項ノ間ニ價值ヲ定ムルヤノ嫌アリ且ツ凡テ經濟機關ノ行動ニ對スル一切ノ指示ヲ差控フ可シトテ右四點ノ列記ヲ削除センコトヲ求メタリ

英國、瑞西、洪牙利等ノ代表何レモ右伊國代表提案ノ前段ヲ支持シ委員會モ亦之ヲ承認シ削除ト決定ス又伊國提案後段ニ關シテハ瑞西委員ハ右四事項ハ假ニ一九二七年來聯盟ノ係ハリ來レル問題ナレハ寧ロ之ヲ記載スルコト可ナリト主張シ伊國代表モ右カ之ニ依リテ經濟機關ノ行動ヲ制限スルヤノ印象ヲ與ヘサル限り之ヲ記載スルニ敢テ反對ナラサル旨ヲ述ヘタルヲ以テ此ノ問題ハ起草委員會ニ移サレタルカ結局之ヲ分科會報告從テ協定案附屬書ヨリ除キ協定案第二條中ニ規定スルコトナレリ

外國人待遇條約ノ締結—本項中ニ「外國人待遇會議ハ極メテ複雜困難ナル本問題ノ一切ノ方面ヲ最モ慎重ニ審議シ有益ナル第一次事業ヲ終了シ最モ貴重ナル部分的結果ニ達セルコトヲ認ムル」旨記載セル處第二讀會ニ於テ獨逸代表ヨリ本「パラグラフ」ノ削除ヲ求メ異議ナク可決セララル

國際家畜衛生條約ノ締結

一九二九年四月ノ植物病理學條約適用ノ改善及擴張

農業信用機關

農業品ノ庫入及農業品販賣ノ國際的機關

第一讀會ニ於テ第三分科會報告中ノ右各項ハ第一分科會ノ報告ト重複スルモノアレハ之ヲ然ルヘク調和シ必要ノ削除又ハ補足ヲ爲スコトセリ即チ之等ノ諸點ハ協定案附屬書ニ於テハ第一章農工業國ノ經濟關係調節ノ部ニ入ル

唯前記一九二九年四月植物病理學條約ノ項ニ於テ「經濟委員會ヲシテ植物保護問題ノ通商方面ニ關シ技術の見地ヨリ研究セシムルコト可ナルヘキ」趣旨ノ記載アル處第一讀會ニ於テ伊國代表ハ前記「技術の見地」ト云フトキハ通商關係以外ノ技術問題ヲ指サシニ解セラルル虞アリトシ之カ削除ヲ主張シ委員會之ヲ承認ス

原產地稱呼—分科會報告ハ本項ニ於テ「土地又ハ氣候ニ依リ特性ヲ有スル物品ノ原產地稱呼保護ニ關シ「マドリッド」協定ハ不充分ナレハ聯盟經濟機關ヲシテ不正競争ノ一方面トシテ本問題ヲ研究セシメント」ヲ記載スル處第一讀會ニ於テ伊國代表ヨリ產地ノ如何ニ依リ稱呼ヲ異ニスル外ニ物品ノ固有ノ品質又ハ其ノ生産方法ノ理由ニ依リ至ク特殊ナル物品 (products typiques) アリスル物品ニ對スル稱呼モ前者同様ニ保護スル要アリト主張シ其ノ趣旨ヲ本項中ニ挿入セシコトヲ求メ本件ハ既ニ專門家ノ研究シ居ル處ナルモ不正競争ニ對シ之等ノ物品ヲ保護スル爲更ニ慎重研究ノ要アル旨ヲ述ヘタルヲ以テ委員會之ヲ承認セリ

運送ニ關スル國際協定ノ一般化—本項末段「運送ニ關スル諸國際協定ヲ凡テ交通自由ノ原則ニ準據セシムルコトノ能否ヲ研究スルタメ右諸協定ノ主要精神ヲ審查スルコト有益ナル」旨記述スル處第一讀會ニ於テ伊國代表ハ元來本項ニ規定スル處ハ既ニ專門家ニ周知ノ技術の問題ニ關スルヲ以テ斯クモ詳細ニ記述スルヲ要セス更ニ一般の辭句ヲ用フ可シトテ之ヲ各國代表カ各自國ノ鐵道當局ニ對シ前記ノ研究ヲ委託スルコトニ修正スヘシト提案シ右ハ專門家ニ廣キ自由ヲ與ヘ自主的の見地ヨリ問題ヲ研究セシメントスルモノナリト説明セリ委員會ハ辭句ハ別トシテ前記伊國提案ヲ可決セリ

鐵道運賃ノ調節—本項ハ或ル種輸入運送税及輸出ニ對スル特別運送税ハ一種ノ間接保護手段、輸出獎勵金又ハ國內産業補助金ト見做シ得可キカ故ニ之等間接保護手段又ハ獎勵金ニ對スルト同一手段ニ依リ之ヲ矯正スルコト適當ナリト記載スル處第一讀會ニ於テ伊國代表ハ前同様ノ理由ニ依リ輸出運送税ト輸入運送税トノ區別ヲ廢シ之ヲ單簡ニ爲ス可シト提案シ又洪牙利代表ハ或種輸出入運送税カ間接ノ輸出獎勵金又ハ保護手段ト見做サレ得ルコト勿論ナルモ後者ニ對シテハ夫々特殊ノ調査方法ヲ規定シアリコノ方法ハ必スシモ輸出入運送税關係ノ調査ニ應用スルコトヲ得サルノミナラス鐵道管

理ハ目下多數國ニ於テ商業化セラレ居ルカ又ハ私的ノ營業ニシテ政府ノ與フル輸出獎勵金、補助金トハ性質ヲ異ニス故ニ鐵道運賃調節問題研究ニ當リ間接保護手段又ハ輸出獎勵金ノ對抗手段ニ觸レサルコトヲ要ストシ本項ヲ左ノ如ク修正セムコトヲ求メタリ

「或種ノ輸入運送税及外國商品ニ對シ差別待遇ヲ設クルカ如キ或種ノ內國税ハ一種ノ間接的保護手段ヲ爲スモノナリ又他方輸出ニ對スル特別運送税ハ間接的輸出獎勵金ト見做サレ得ヘシ故ニ此等ノ問題カ間接的保護手段及輸出獎勵金ノ研究ヲ委託セラレタル機關ニ依リ等シク研究セラレンコトヲ勸告ス」

伊國代表ハ其ノ提案ヲ撤回シ右洪牙利代表ノ提案ヲ支持シ委員會モ之ヲ承認セリ

第四、協定案ノ名稱

伊國代表ハ凡テ協定 (arrangement) トハ一定ノ具體的ナル義務ヲ國家ニ負ハシムル約定ヲ指シ然ラサル場合例ヘハ本約定ノ如ク國家ヲ拘束スル具體的規定ヲ存セサルモノハ協定書ト稱スルヲ普通トスルヲ以テ本約定モ協定書ト命名ス可シト主張シ投票ノ結果右伊國代表提案採擇ニ決ス

尙第二委員會議長ハ本議定書ハ代表者ノ署名ニ依リ直チニ效力ヲ生ス可ク特別ニ批准ヲ要セサル旨ヲ述ヘ委員會之ヲ了承セリ

第三項 總會ニ於ケル議定書案審查

右ヲ以テ第二委員會ニ於ケル議定書案討議ヲ終了セルヲ以テ三月二十二日以後總會ハ本議定書案(第一案ハC. P. A. E. C/Com. II/18. 第一條附屬質問集、第二條及第三條ハC. P. A. E. C/9(1). 附屬書及佛國代表提出ノ附錄ハC. P. A. E. C/9ニ依ル)ヲ審議セルカ羅馬尼及「ラトヴィア」代表ヨリ修正案(C. P. A. E. C/12; C. P. A. E. C/16)ハ提出ヘンニ基キ二三字句ヲ修正シタルノミニテ滿場一致之ヲ可決セリ「ラトヴィア」代表提出ノ他ノ修正案C. P. A. E. C/14; C. P. A.

E. C/15 ハ右代表之ヲ撤回セリ)

尙總會ニ於テ本議定書ノ署名期間ニ關シ論議アリタルカ遠隔ノ地ニアル國ノ事情ヲ考慮シ通商協約ト同様四月十五日迄署名シ得ルコトニ決定セリ

本議定書ハ單ナル勸告ニ非サルコト勿論ナルモサリトテ普通一般ノ條約トハ其ノ形式ヲ異ニス從テ本議定書カ義務的ナリヤ否ヤニ關シ會議ニ於テモ多少ノ疑アリ寧ロ國家ヲ拘束スル具體的義務ヲ包含スルモノナラストスル傾向ナリキ(前記「協定案ノ名稱」ノ項參照)

議定書ニハ前記署名期間ニ關スル特別規定ヲ存セサルモ右ハ議定書ノ内容カ義務的ナリヤ否ヤニ付疑アリシカ爲特ニ之ヲ規定セサリシ由ナリ從テ總會ノ決定ニ依リ四月十五日迄之ニ署名シ得ルコト勿論ナルモ同日以後ノ署名ノ能否ニ關シテハ確タル意見ノ決定ナキカ如シ

第四款 議定書ノ署名

三月二十四日午后六時通商協約及本議定書ノ調印式ヲ行ヒタルカ同日議定書ニ署名セルハ英、佛、獨、伊、白、奧、和蘭、瑞西、芬蘭、希臘、葡萄牙、「ルクセンブルグ」、「エストニア」、「ラトヴィア」及「リツアニア」ノ十五ヶ國ナリキ

五 関税引上げ休止會議

2 「經濟協調第二回會議經過報告書」